

第八十二回帝國議會  
衆議院

朝鮮食糧管理特別會計法案外二件委員會會議錄(速記)第二回

昭和十八年六月十七日(木曜日)午前九時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高橋 守平君

理事馬岡 次郎君 理事越智太兵衛君

理事中村 梅吉君 理事西川 貞一君

理事馬場 元治君 理事山本 桑吉君

安孫子孝次君 大石 齊治君

岡本馬太郎君 勝田 永吉君

木村寅太郎君 楠美 省吾君

小平 權一君 坂口平兵衛君

杉山元治郎君 高田 稔平君

土屋 源市君 土屋 寛君

恒松於菟二君 東郷 實君

中瀬 拙夫君 成島 勇君

樋口善右衛門君 深澤 吉平君

松原五百藏君 三宅 正一君

三善 信房君 村上 國吉君

村澤義二郎君 村松 久義君

森口 淳三君 森部 隆輔君

山口左右平君 山田 六郎君

吉植 庄亮君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 岸 信介君

內務大臣 安藤紀三郎君

大東亞大臣 青木 一男君

農林大臣 山崎達之輔君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院部長 梶原 茂嘉君

內務次官 唐澤 俊樹君

朝鮮總督府財政總監 竹內 德治君

朝鮮總督府財政局長 田中 武雄君

臺灣總督府總務局長 水田 直昌君

臺灣總督府財務局長 齋藤 樹君

大藏書記官 中嶋 一郎君

農林次官 河野 一之君

農林省農政局長 石黑 武重君

農林省水產局長 石井英之助君

農林省食品局長 井出 正孝君

食糧管理局長 田中 啓一君

大東亞次官 湯河 元威君

大東亞省滿洲事務局長 山本 熊一君

大東亞省南方事務局長 今吉 敏雄君

水野伊太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

朝鮮食糧管理特別會計法案(政府提出)

朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ

補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源

ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政

府提出)

臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ

補給金ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關ス

ル法律案(政府提出)

○高橋委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、政

府ノ方カラ御説明ガアル筈デアリマスカラ、  
此ノ際御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○山本(熊)政府委員 デハ私カラ大東亞圈

內ニ於キマス食糧事情ニ付キマシテ御説明

中上ゲタイト思ヒマス、影響モアリマスノ

速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○高橋委員長 承知シマシタ、速記ヲ止メ

テ下サイ

(速記中止)

○高橋委員長 速記ヲ始めマス、政府ノ方

カラノ御説明ハ此ノ程度デスカ——ソレデ

ハ是カラ質疑ニ入りタイト存ジマス、樋口

善右衛門君

○樋口委員 供出ノ今後ノ對策ヲ如何ニセ

ラレルカト云フコトニ付テ御尋ネマスルノ

デアリマスガ、先程來色々政府ノ御説明ヲ

承リマシテ、如何ニモ此ノ食糧ニ對シテ御

苦心ヲシテ戴キマスル所ノ御勞苦ニ對シテ

厚ク感謝ヲスルノデゴザイマス、然ルニ此

ノ食糧ノ事情ハ年々窮迫ノ狀態ニナツテ參

リマシテ、殊ニ現在ニ至リマシテハ、一般

國民モ亦大イニ將來ニ不安ヲ持ツヤウナ狀

態ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、只今管

理局長官ノ御説明ニ依リマス、大體配給

等ニ於テモ稍、緩和セラレタカノヤウニ御説

明デアリマスガ、オ互ヒ國民ハ時局ノ深刻

ニナリマスルニ付テ、極メテ自肅ノ程度モ

付託議案  
朝鮮食糧管理特別會計法案(政府提出)(第三號)  
朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第四號)  
臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第五號)

高クナツテ參ツテ居ルノデ、或ハ計畫ガ一  
般ヲ緩和シタト云フ風ニ御推察ニナルヤウ  
ナコトモアルカト思フノデアリマスケレド  
モ、實際上流階級ニ於キマシテハ兎ニ角デ  
アリマスガ、現在ノ消費者大衆ノ側カラ見  
マスレバ、現在ノ配給ノ狀態ヲ以テ、是デ  
不足ヲシテ居ラスト云フヤウナコトハ決シ  
テ言ヘマセヌノデ、先ヅ月ニ二日ノ公休日  
ヲ利用シテ、サウシテ父ハ「リユクサック」  
ヲ背負ツテ東ニ行キ、家内ハ買出袋ヲ風呂  
敷ヲ持ツテ西ニ行キ或ハ北ニ南ニ分レ、  
サウシテ當途モナイ生産地ヘ明日ノ不足ヲ  
補フ爲ニ出掛ケテ買出シニ行クノハ御承知  
ノ通りデゴザイマス、之ニ付キマシテハ一  
部兎角ノ非難ハアリマスケレドモ、是等勤  
勞大衆ガ、纔カニ與ヘラレタ月ニ二日ノ公  
休日モ食ヲ求メ、飢エヲ懇ヘル所ノ我ガ子  
ヲ思フ親心トシテ、全ク茲ニ何ト言ハレテ  
モ、此ノミスボラシキ狀態デ生産地ヘ參ツ  
テ泣キ倒シ、拜ミ倒シ、サウシテ僅カナ量  
ヲ集メテ歸ル現狀ヲ見マスル時ニ、之ニ對  
スル所ノソレトノ方法ハ講ジテアルケレ  
ドモ、恐ラクハ是ハ政府ノ想像以上ナルモ  
ノガアルト思フノデアリマス、之ヲ見マス  
ル時ニ、政府ハ常ニ増産ト云フコトニ付テ  
最モ熱心ニ確保ヲ叫ンデ居ラレル、然ルニ  
斯ウ云フ風ニ段々窮屈ニナツタト云フコト

ハ、此ノ増産計畫ト云フコトニ付テハ萬遺憾ナク對策ハ出來テ居ルノデアリマスルガ、其ノ實行ニ於テ何處カニ缺陷ガアル、斯ウ見ルコトハ皆サンモ御同意デアラウト思ヒマス、何處カニ缺陷ガナケレバ、此ノ事變始マツテ以來増産計畫ヲ立テラレテ、骨身ヲ削ル苦心ヲ政府ハ致サナクテモ宜イノデアリマス、然ルニ現在ノヤウナ狀態ニ段々追込メラレテ來ルニ付テハ、其ノ間ニ何カノ缺陷ガナケレバナラナイノデアルガ、其ノ缺陷ノ大ナルモノハ何デアアルカト申シマス、之ニハ大小種々ナル原因モアリマスルケレドモ、大ナル缺陷ト云フモノハ此ノ供出ト云フモノヲ確實ニシ、サウシテ之ヲ圓滑ニ順調ニ計ラウト云フコトニ付テノ此ノ方法ガ、第一需給關係ヲ誤リ、生産ヲ阻碍シ、延イテ配給ヲ窮屈ナラシメル結果ニ陥ツテ行クモノダト思フ、是等ノ事柄ハドウカト申シマス、先ヅ以テ此ノ二、三年間ニ於テ、大體生産者ガ米ヲ食ツテシマツタ量ト云フモノハ莫大ナモノデアリマス、常ニ古米、古々米ヲ持ツテ居ツタ生産者モ、價格其ノ他ノ原因ノ爲ニ、先ヅ農家一戸デ五合ヲ粗末ニスルト云フコトニナリマスレバ、優ニ二千万石ト云フモノガ違フノデゴザイマス、縦シンバ其ノ半額ト致シマシテモ、外地カラ輸入スル量ニモ匹敵スルモノガ、僅カニ二合カラソコラ農家一戸ガ粗末ニスルト云フコトニ因ツテ違ツテ來ルノガ、恐ラクハ私共ハ其ノ五合以上ノ影響ヲ此ノ三箇月間ニ來シタモノダト思フ、ソレガ今日ノ行詰リヲ來シタル大ナル原因デア、ソレニ付テハ先ヅ以テ供出ト云フコトヲ、如何ニシタナラバ農家ガ喜ンデ出スカ、斯ウ云フコトデア、之ヲ喜ンデ出サ

ス、供出ヲ嫌フ、從來生産ノ目的ハ、獨立自營自分ノ食フ物ヲ自分デ作ルトハ言フケレドモ、成ルベク賣ツテ、以テ一家ノ經濟ヲ立テルトシテ、茲ニ需給ノ關係ガ圖ラレテ參ツタノデア、自分ノ穫ツタ米位貴イモノハナイノヲ、何ノ爲ニ粗末ニシテ、何ノ爲ニ自己自ラ之ヲ消費スルカト云フ所ニ問題ガアル、非常ナル價格ノ差ト云フモノモアリマセウシ、又取扱ノ方法等ニモ何等ノ考慮ヲ拂ツテ居ナイ、ソコ段々行詰ツタ結果ガ、本年ノ米穀計畫、食糧計畫トシテ、今度ハ強制的ニ農家ニ向ツテ供出ヲ強ヒラレタ、只今長官ノ御説明ニハ、各地方トモ協力シテ順調ナル出方ヲシタト云フ、或ハ又一部ニ兎角ハアツテモ、大體トシテ順調ニ出タト云フコトハ、一般指導者ノ協力ニ依ツタ賜モノデアルト云フヤウニ聞エマシタガ、本年ノ米ノ供出ノ狀態ト云フモノハ、最早此處デ吾々ノ言フマデモナク、全國何レノ地方ト雖モ、是位農村ノ思想上ニ衝動ヲ與ヘタコトハナイノデゴザイマス、斯様ナ供出ヲ以テ進メラレル場合ニ於テハ、一方ニ如何ニ増産計畫ヲ立テ、増産獎勵ヲシ、技術ノ指導ヲ致シマシテモ、其ノ供出ノ爲ニ誤ラレテ、思想上所謂生産ノ心構ヘガ大體弛緩ヲ致シテ參ルノミナラズ、農家自體ニ於ケル生産心理デアアル所ノ我ノ食フ米スラニモ不安ヲ持ツ、農家ガ今日慾得デヤリマスナラバ、一石五圓ノ獎勵金ヲ貰ヒマシテ、出シタル保有米ニ還元セラレルト云フコトナラバ、一石出シテ五圓ノ利益ヲ得ルト云フコトガ若シ是レ商賣根性デアリマスナラバ、確カニ保有米ヲ出シテ還元ヲ受ケ、五圓ノ補償金ヲ貰ツテ利潤ヲ得ル位ノコトハ分ツテ居リマスガ、自己ノ作ツタ米ハ五圓ガ十圓デモ、

我ノ食フ米ニ不安ガアルト云フコトデハ、ソシナ金錢ノ利潤デハ動カスノデゴザイマス、斯様ニ貴イと思フ自分ノ收穫シタル米ヲ、假令橫流レナリ何ガアルニシテモ、兎ニ角泣イテ我ガ米ニ別レテ出シタモノガ、只今ノ集マツタ數字ト見テ宜シイノデゴザイマス、斯様ニ思ヒマスニ付テハ、要求セラレタ政府ノ上ノ方デハ如何ニモ是ガ順調ニ來タヤウダガ、末端ニ於ケル所ノ接觸スル検査員、供出員ハ心ヲ鬼ニシテ、家内中泣イテ涙デ訴ヘルノヲ退ケテ行ク、ノミナラズ場合ニ依レバ國賊ト罵リ、非認識ト叱責ヲシテ、中ニハ警察官マデ出掛ケテ行ツテ、サウシテ動トモスレバ引張ルゾト云フヤウニ、一面ニ繩ヲ持チ、一面ニ供出ヲ強フルト云フヤウナコトデハ、ドウモ順調ニ出タトカ何トカ云フヤウナコトナドハアリサウニナイ、唯府縣廳ノ報告ダケハ知事其ノ人ノ成績如何ニ關ヘルカラ、政府ノ意圖セラレル所ニ迎合スルト云フコトハ、是ハアリ勝チノコトデゴザイマスガ、私共モ町長ヲ致シテ居リマスケレドモ、毎朝二人ヤ三人ハ泣イテ來ルノデアリマス、併シナガラ國策トシテ一旦決ツタ以上ニ於テハ、吾々ハ飽クマデ之ヲ出サネバナラスニ依ツテ出サセタケレドモ、決シテハ出サシタノガ順調デアルト云フヤウナコトデハナイ、中ニハ順調ナ一部モアツタト云フ程度ナラ兎モ角デアリマスガ、甚ダシイノハ是ガ爲ニ首ヲ縊ツテ死ニ、精神ニ異狀ヲ起シタヤウナ者ガ隨所ニアルノデアリマス、仍テ今年ノ強制的ニ出サレタ供出ト云フモノガ、一部ニハ時局ノ急迫ノ心ヲ刺戟スル上ニモ役立ツタカモ知レマセケレドモ、ソレヨリモ大ナルモノハ生産者ノ心理ヲ害シテ參リマシ

タコトガ、思想上ニ大ナル不平ヲ持タセルコトニナツテ居ルノデゴザイマス、其ノ結果ハ種々ナル形ヲ以テ現ハレテ居リマスケレドモ、併シナガラ何トシテデモ戰爭ニハ勝タナケレバイカス、サウ云フ氣持ヲ持ツテ居リマスノデ、マダ此ノ程度デアリマスケレドモ、併シナガラ背ニ腹ハ代ヘラレス、一方錢儲ケニ參リマシタモノハ産業戰士ト言ハレテ歡迎セラレル、一方米ヲ作リマシテモ非國民ト言ツテ罵ラレル、オ前ドウスルカト親トシテ言ハナケレバナラス、斯様ナコトマデシテ出サネバナラスト云フ供出ヲ今日セラレテ、是モマア乘リ掛ラレタ船ダカラ已ムヲ得ストシタトコロガ、今年モ亦サウ云フコトヲナサルト云フコトデアラナラバ、是ハ實ニ我が國食糧事情ニドレ程應急對策、増産計畫ヲ立テラレデモ——肥料不足、勞力不足ハ之ヲ補フニハ心構ヘガシツカリスレバ克服ガ出來ルケレドモ、ドレ程肥料ヲ勞力ヲ補給シテモ、生産ノ心構ヘヲ鈍ラカシタ場合ニ於テハ、如何トモスルコトガ出來ヌ、其ノ鈍ラカス一番大キナ原因ハ強制的供出デア、之ヲヤラレタノデハ到底イカス、私ハ此ノ點ニ付テハ政府モ重々無理ガアツタコトヲ、十分御認識ニナツテ居ルト思ツテ居リマシタガ、無理ヲシタト云フヨリモ、順調ニ出タ方ガ多イヤウナ説明デアルト、本年モ亦コシナヤウナ供出ノ方法ヲ執リハシナイカ、只今米トカ、芋トカ云フモノニ付キマシテハ、成程適切ナ方法ヲ講ズルト云フ御話デアリマシタ、勿論サウデゴザイマス、今米デ供出ニ不安ヲ持チ、又芋デ脅カサレ、又麥デ突込ンデ行ツタナラバ、此ノ米ノ生産ノ上ニ十八年度作付ケハ致シマシテモ、

力癩ヲ入レルコトガ出來ヌ、價格ヲ上ゲテ戴イタコトハ結構デアリマスガ、茲ニ問題ハ、農村ノ生産心理、サウシテ保有米ノ如キニ於キマシテモ、大イニ考慮ヲ願ハナケレバナラス、況ンヤ消費地ノ中心ニ持チマス周圍ノ農村デ、親兄弟トカ兄トカニ持ツテ行ツテヤリタイ、持ツテ行ケト云フコトハ、親心トシテハ我ガ食フ物ヲ抑ヘテデモヤラネバナラス、ソレヤレヤ思フ時ニ、茲ニ今年ノ供出ノ方法ニ付テハ、餘程政府ハ今後之ニ對スル對策トシテ、能ク生産者ニ今カラ安堵セシメルヤウナ方法ヲ立テテ貫ハネバ相成ラヌト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ政府ノ御所見ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○山崎國務大臣 只今樋口君ノ縷々御述ベニナリマシタ次第ニ付キマシテハ、十分謹聴致シタ譯デアリマス、本年ノ米ノ供出ニ付キマシテ樋口君ノ御觀測ハ、無論樋口君トシテ地方ノ事情ニ御精通ニナツテ居リマスカラ、御間達ヒガアラウトハ存ジマセヌケレドモ、農林省ト致シマシテモ必ズシモ地方長官其ノ他ノ話ノミニ依ツテ判斷ハ致シテ居リマセヌド、色々ノ方面カラ實情ニ付キマシテハソレノ聽取致シテ居ルノデアリマス、本年ノ四千百万石ト云フ割當ノ結果、地方ニ依リ或ハ村ニ依リ、或ハ特定ノ農家ソレ自體ニ、色々ノ無理ガアツタラウト云フコトハ想像ガ出來ルノデアリマス、唯何分ニモ全體ノ食糧事情ガ先刻來長官其ノ他カラ申上ゲマサヤウナ事情デアリマシテ、同時ニ又樋口君モ御指摘ニナリマシタヤウニ、消費ノ方面モ決シテ樂ダナク、出來レバ殖ヤシタイ位ノモノデアリマスガ、少クトモ現在ノ配給程度ハドウシテモ維持セナケ

レバナラス、斯ウ云フ事情ニナツテ居リマスノデ、米ノ供出ニ付キマシテ相當農家ニ御養發ヲ願ハナケレバ、食糧ノ全體ノ計畫ガ成立タヌ、是ガ實情デアリマス、此ノ點ハ農村ニ於テモ十分御理解ヲ願ツテ居ルコトハ思ヒマスケレドモ、部局々々或ハ行違ヒ、或ハ無理等ガアリマシテ、其ノ邊ニ事情ノ疏通セザル點モ多クアラウカト思フノデアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハ殊ニ農村ニ御接觸ニナツテ居リマスル皆サンガ、絶エズ農村ノ方ニ十分其ノ氣持ガ徹底致シマスヤウニ御盡力ヲ願ツテ置キタイト思フノデアリマス、ソコデ供出ノ方法デアリマスガ、之ニ付キマシテハ相當改善セナケレバナラスト考ヘテ居リマス、マダ具體的ニドウ變ヘルト云フコトハハツキリ申上ゲル時期ニハ達シテ居リマセヌケレドモ、本年ノ經驗ニ鑑ミマシテ、相當改ムベキ點ガアラウト思ヒマス、ソレヲ改メ、例ヘバ割當テノ時期ガ非常ニ本年ハ遅レタ、二月或ハ三月ニナツタ、又一且割當テタモノハ絕對ニ修正ヲ認メナカツタト云フヤウナ點ハ、是ハ相當ドウモ考ヘナケレバナラヌノデヤナイカ、或ル程度假定ノ數ニ基イテデモ、成ベク早く割當テヤルト云フコトガ必要デアラウシ、早くヤレバ無論實收ニ依リマシテ、多少ノソコニ裕リヲ考ヘルト云フコトモ必要デアラウト云フヤウナコトガ、大キナ狙ヒト致シテ居ル點デアリマスガ、出來得ル限り農村ノ實情ニ副ヒマサヤウナ具合ニ、多少ノ裕リト云ヒマスカ、含ミヲ持ツタ考ヘ方ヲ以テ、供出ノ方法ニ付テハ改善ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

ソレカラ全體ノ現在ノ管理制度ノコトデア

リマスガ、現在ノ管理制度ハ御承知ノヤウニ、保有米以外ノモノハ全部政府ノ買上ニ應ズル言ヒ換ヘテ見レバ自家用保有米以外ノモノハ全部政府ガ買上ゲルト云フノガ今ノ管理制度ノ建前デアリマス、ソコデ能ク伺フコトデアリマスガ、何ボ働イテモ働イテモ餘計作レバ作ルダケ全部持ツテ行カレテシマフ、ソレデヤドウモ農家トシテハ働イタ樂シミガナイ、ソコニ何トカ裕リヲ考ヘルコトハ出來ナイカト云フコトヲ能ク伺フノデアリマス、其ノ點ハ農村ノ心理ト言ヒマスカ、農民ノ氣持ト言ヒマスカ、ソコニドウモ棄テ難イ所ガアルト私モ考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ邊ラドウ云フ工合ニ採リ入レテ考ヘテ行キマスカ、マダ結論ニハ達シテ居リマセヌケレドモ、少シ考ヘテ見タイ、斯ウ只今存ジテ居ルヤウナ次第デアリマス、何レソレ等ノ點ニ付キマシテハ、皆サンノ御教ヘヲ仰グヤウナ場合ガアラウカト思ヒマス、一言申添ヘテ置キマス

○樋口委員 大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、色々御研究ニナツテ居ルコトヲ大體伺ツタ譯デアリマスガ、何レニシテモ本年ノ割當ノ時期ガ遅レタト云フコトモサウデアリマスガ、如何ナル時ニ割當テマシテモ、植付以來ノ肥培管理等ニ十分身ヲ入レサセルコトカラ言ヘバ、ソレハ俗ニ年貢デゴザイマス、良イ田ハ年貢ガ高イ、仍テ年貢ノ高イ所程身ヲ入レテ作ルヤウニモナツテ居ル、又地質ニモ依リマスガ、是ハドウシテモ出來上リデ確定ハシテ戴クノダケレドモ、何トカ現在ノ狀態デ割當ヲ確實ニ近イヤウニスルニハ、權威アル調査ヲ町村單位位ニ置カレマシテ、サウシテ責任ハ生産ト消費、集荷ヲ一ツノ手デヤルヤウニ願ヒタイト私共思

フ、先程申サヤウニ、生産獎勵ヲ致シマシテモ、集荷ノ方ノ検査員ガ行ツテ、自分ノ職責サヘ盡セバ宜イト云フ理窟デ、其ノ場限リデ方便ヲ取ツテ來ルノガ増産ノ指導ノ方ニ影響致スノデアリマスカラ、是ノ供出ヲ致シマス元ハ個人、實行組合デアリマスガ、出來ルダケ小單位ナモノニ責任ヲ負ハセテ戴キマシテ、是ガ其ノ基本ヲ定メル、サウシテソレヲ今度天候其ノ他出來上リノ結果ニ依ツテ決定スル、サウ致シマス今度ハ共吟味ニナリマスノデ、横流レヲスルトカ、或ハドウトカ言ヒマシテモ、其ノ程度タルヤ必ズ検査官ヤ警察官ヤ役場デハナイ、共吟味ニナルニ依ツテ餘リ間違フコトハ少イ、又ソコ間違ヒガアレバ隣保共助補フコトモ出來ルノデハナイカ、デアリマスカラ、ドウカハ色々方法ガアリマセウガ、主トシテハ割當ノ基礎ヲ成ルベク確立サセテ貫ヒマシテ、サウシテ只今御話ノアリマシタ時期ノ如キニ於テモサウダシ、尙更ニ進ンデ自分ガ食フダケノ保有米ト云フヤウナコトデ——農家ハ今大臣ノ御説ノヤウニ、是デ安心ガ出來ルト云フモノデハナイ、單ニ是ハ經濟的デ言ヘバ兎モ角、農村ノ生産スル者ノ氣持ト云フモノハ無論自分ノ保有米更ニ之ニ對シテ何カノ時ニ要ル米ト云フモノヲ或ル程度マデ餘裕ヲ持チタイ、コ、ニ増産ヲ勵ム所以ガアリマスカラ、ドウカ反當割當ヲ決定セラレテ、其ノ割當ヲ遲滞ナク完納シタ場合ニハ、其ノ殘餘ノモノノ處置ニ付テハ生産者ニ裕リヲツケテ戴クト云フコトガ、是ガ私ハ何ヨリ良イ方法デアラウト思フノデアリマス、色規則ノ都合モアリマセウケレドモ、事實ハ今日デモ、縣ニ依ツテハサウ云フ方法ヲ

執ツテ居ル所モアリマス、本年ノ如キ、一方ニハ不足シテ泣イテ居ル所ガアルカト思ヘバ、一方ニハ白イ米ヲ食ツテ居ル、或ハ七分搗ノ米ヲ食ツテ居ル、マダ残ツテ居ル所ニハ残ツテ居ルノデアリマス、是ハ即チ割當ノ基礎ガ不確實デアツタト云フコトデアリマスカラ、ドウカ此ノ點ニ付キマシテハ色々調査サレタ結果ニ基キマシテ、今年ノヤウニアア云フ不安ナ衝動ヲ與ヘズ、喜ンデ出スヤウニ御願ヒ致シタイ、農村デハ何分ニモ常ニ食糧部面ヲ擔當シテ居リマシテ、三千年來國ノ本トシテ食糧生産ノ使命ヲ帶ビテ居ル、況ヤ事變急迫シテ戰時食糧ヲ確保スルト云フ重大ナル使命ヲ果シ、以テ上 聖恩ニ應フベキ心持ハ皆農村ニアル、此ノ精神ヲ一ツドウゾ發揮昂揚セシメテ行クヤウニ、食糧政策所謂生産對策ト云フモノヲ、政府ニ於テ十分實地適切ナル方法デ以テ御考慮ニナリマシテ、此ノ職域奉公ノ出來ルヤウニ、而モ進ンデ此ノ増産ヲシ、喜ンデ節米ヲシ、サウシテ供出ヲスル、斯ウ云フ風ニ仕向ケテ戴キタイコトヲ私ハ切ニ御願ヒスル次第デアリマス、供出ヲ喜ンデスルト云フコトニナレバ増産ニモ勵ミマシ、又節米モ粥ヲ食ツテモヤツテ行クノデアリマス、是ガ反對ニコ、デ二合節米ヲシマスレバ、四百万石ト云フ莫大ナ節米ニナリマスカラ、現在マデノヤリ方ヲ根本カラ變ヘテ戴ク、農村ヲシテ非國民デアルトカ、時局不認識デアルト云フコトヲ言ハナイデ、ドウカ彼等ノ忠誠ヲ活カシ、サウシテ食糧確保ヲ彼等ノ双肩ニ背負ハシテ、上聖旨ニ應ヘ奉ルヤウニ御願ヒシタイノデアリマス、是ヲ以テ私ノ質問ハ終リマス

○西川委員 私ハ國民ノ食糧中、主トシテ蛋白質ノ給源トシテノ水産及ビ畜産ヲ中心トシマシテ、此ノ委員會ノ委員諸君ノ御意向ヲ體シマシテ、大臣ニ御尋ネテ致シタイト思ヒマス、先ヅ水産ニ於キマシテ最も必要ナコトハ、此ノ際漁民ノ士氣ヲ鼓舞スルコトデアラウト思フノデアリマス、即チ水産ハ時局以來、燃料其ノ他資材ノ非常ナ制約ヲ受ケマシテ、極メテ重要ナル産業デアヘテ、此ノ臨時議會ニモ御提案ニナツテ居リマスルヤウニ、特殊ノ損害ガアルノデゴザイマシテ、此ノ特殊ノ損害ヲ漁業者ガ蒙ルト云フコト、之ニ依ツテ漁業者ノ士氣ガ萎微スルヤウナコトガアツテハ斷ジテナラナイ、此ノコトヲ以テ寧ロ大イニ漁業者ノ士氣ヲ鼓舞スルト云フ方面ニ用ヒラレナクテハナラヌト思フノデアリマス、大體日本ノ國民ハ尙武ノ國民デアリ、極メテ勇敢ナル國民デゴザイマスルガ、就中漁業者ハ勇敢ナルデアリマス、板子一枚下ハ地獄ノ生活ヲシテ、舊式ノ捕鯨ニ於キマシテハ單身海中ニ飛込ンデ行ツテ、鯨ノ組打チモヤツテ居ルデアリマシテ、敵ノ潛航艇ノ如キハ、彼等ノ意氣ヲ以テシマスレバ物ノ數デハナイノデアリマス、即チ此ノ際漁業者ガ敵ノ潛航艇ノ難ヲ避ケルヤウナ消極的、退嬰的ナ氣分デナクシテ、自ら敵ヲ求メテ之ヲヤツツケテヤルト云フヤウナ積極的ナ氣分デ、四本ノ重要ナ國防ノ一翼ニ貢獻スルト云フ氣分デ、漁業者ガ突掛ツテ行クト云フ方面ニ漁業者ヲ導イテ行カクテハナラヌト思フノデアリマス、ソレニハ漁業者ニ對スル特殊ノ訓練モ必要デゴザイマスシ、特別ノ體制ヲ編成スルコトモ必要デアリマスルガ、特ニ必

要ナコトハ、漁船ニ對シマシテ相當ノ武裝ヲセシメルコトガ必要デアルト思ヒマス、此ノコトハ海軍ノ關係ニナルカト思ヒマスガ、國務大臣トシテ、農林大臣ノ責任ニ於テ此ノ場合御答ヘテ願ヒ、又御考ヘテ願ヒタイノデアリマス、即チ漁船ニ重機關銃位ハ悉ク裝備セシメル、更ニ爆雷ヲ搭載セシメル、サウシテ漁船ヲ武裝シテ自ラ敵ヲ求メテ之ヲ撃滅スルト云フ積極敢爲ノ體制ニ此ノ點ヲ指導スル、所謂戰漁兩全、漁業ト戰爭ト兩方ヲ全ウシテ行クト云フ方面ニ指導シテ行ク爲ニ、特殊ノ訓練ヲナシ、特別ノ編成ヲナスト同時ニ、漁船ノ裝備ヲスルト云フコトガ第一點デアリマス

次ニ是等漁業者ノ身分デゴザイマスガ、是ハ戰闘員ト同ジヤウナ危險ニ遭遇致シマス船員ニ對シマシテモ、身分上特別ノ取扱ヒガアルカノヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、漁船モ斯ウ云フ場合ニ差掛リマシテナラバ、准戰闘員トシテノ身分ヲ考ヘル必要ハナイカ、更ニ是等ノ爲ニ殉難致シマシタ者ニ對シマシテハ、其ノ者ヲシテ後顧ノ憂ナカラシムル爲ニ、戰時ニ於ケル特別ナ保險制度ノ如キヲ實施スル必要ハナイカ、現在漁船保險ト云フモノガゴザイマスガ、是ハ平時ニ於ケル漁船ノ遭難ノ危險ヲ保險スルノデゴザイマスガ、斯ウ云フ時局ニ於キマシテ、特ニ戰時ニ於ケル是等ノ漁業者ニ特別ナ保險制度ヲ實施スル、斯ウ云フヤウナ制度ヲ實施シ、裝備ヲスル、更ニ農林大臣ガ陣頭ニ御立チナリマシテ大イニ漁業者ノ士氣ヲ鼓舞シ、其ノ編成ニ付テモ考ヘ、鍊成ニ付テ御考ヘ下サイマスナラバ、此ノ際漁業者ノ士氣ヲ大イニ鼓舞シ得ルト同時ニ、國防ニ貢獻スルト云フ大キナ誇ヲ持ツテ、本

來ノ積極敢爲ナ傳統的精神ヲ發揮シテ御奉公スルニ違ヒナイト思フノデゴザイマス、先ヅ之ニ對シマシテ御意見ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○山崎國務大臣 只今西川代議士ノ御述ベニナリマシタ通り、今日ノ我が國ノ食糧政策ノ上カラ考ヘマシテモ、漁業ニハ特ニ重點ヲ置イテ考ヘテ參リタイト存ジテ居ルノデアリマス、出來得ル限り漁獲高ヲ確保致シマシテ、サウシテ國民ノ保健衛生ノ上ニ甚ダシキ缺陷ヲ生ゼナイヤウニ努メテ參ルコトハ、非常ニ大切ナルコトデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、左様ナ見地カラ今回ノ臨時應急對策ノ中ニモ、水産ニ關シマシテ相當程度ノ計畫ヲ立デマシタ譯デアリマス、西川君ノ御話ノ漁民ノ志氣ヲ鼓舞スル、是ハ非常ニ大切ナコトデアリマシテ、御承知ノヤウニ、昨今ノ情勢カラ致シマシテ、可ナリ漁船ノ遭難等モアルノデアリマスガ、之ニ對シマシテ政府トシテ出來ルダケノ保護、或ハ又鼓舞獎勵ノ施設ヲ講ズルコトガ必要ト存ジマシテ、特ニ海軍省其ノ他トモ十分連絡ヲ致シ、又色々御配慮ヲ實ハ願ツテ居リマシテ、或ル程度ノ施設ハ講ジツツアルノデアリマス、ソレニ關シマシテ今回ノ豫算ニモ、多少ノ經費ヲ計上致シタカト思ヒマス、ソレカラ漁船ノ船員ノ待遇ノコトデアリマスガ、是モ全く御話ノ通り、此ノ戰時下ニ於キマシテハ漁業者ノ遭難ニ對スル一ツノ救済ノ方途ヲ講ズルコトガ非常ニ必要デアリマスカラ、今回普通ノ船員ト同程度ノ救済施設ヲ講ズルコト致シマシテ、追加豫算ヲ計上致シマシテ御協賛ヲ仰グ、斯ウナツタノデアリマス、救済施設ノ細カイコトハ政府委員カラ御説明申上ゲルコトニ

致シマス

○石黒政府委員

漁船遭難ノ場合ニ於ケル  
漁夫ニ對スル手當ト致シマシテハ、一般ニ  
戰爭ニ因リ災害ヲ被ツタ場合ニ於ケル戰時  
災害保護法ニ基ク支給ト云フモノハ此ノ際  
勿論ゴザイマス、例ヘバ死亡ノ場合ニ於ケ  
ル五百圓トカ、或ハ又傷害ノ場合ニ於ケル  
ソレハ七百五十圓、五百圓、三百五十圓  
ト云フヤウナモノノ支給、更ニ又戰時死亡  
傷害保險ト云フヤウナモノガ御承知ノヤウ  
ニゴザイマス、是等モ利用出來マスガ、是  
等以外ニ只今大臣カラ御話ノアリマシタ通  
リ一般船員ト同様ナ取扱デアリマスガ、死  
亡ノ場合ニ於キマシテハ、獨身者ハ月給ノ  
三十倍ノ金額ノ四分ノ三、妻ノアル者ハ月  
給ノ三十四倍ノ金額ノ四分ノ三、妻子ノア  
ル者ハ月給ノ四十倍ノ金額ノ四分ノ三、傷  
害ノ場合ニ付キマシテモ、ソレニ應ジマシ  
テ終身自用ヲ辨ズルコト能ハザル者ニ對シ  
マシテハ死亡ノ場合ノ五割増シ、或ハ終身  
勞務ニ服スルコトノ出來ナイ者ニ付キマシ  
テハ、死亡ノ場合ト同様ト云フヤウナ風ニ、  
ソレハ救済ヲ致シタイト云フヤウニ考ヘ  
マシテ、今般追加豫算ノ御計上ヲ願ツタノ  
デアリマス

○西川委員

大臣カラ食糧蛋白質ノ給源ト  
シテノ水産ニ付テ重點的ニ御考ヘヲ戴クト  
云フ御言明ヲ得マシタコトハ、非常ニ水産  
業者ノ意ヲ強ウスル所デアルト思フノデア  
リマス、然ルニドウ致シマシテモ燃油、資  
材等ナイモノハナイノデアリマシテ、之ニ  
對スル十分ノ施設ハ中々困難デアルト思フ  
ノデアリマスガ、是等ノ困難ナ點ハ別ニ致  
シマシテモ、現在魚類ガ家庭ニ十分ニ廻ラ  
ナイノハ、非常ニ漁獲高ガ減ツテ居ルト云

フノミデハナクシテ、價格ノ關係トカ、或ハ  
配給ノ關係ニ於テ多クノ缺陷ガ存スルト思  
フノデアリマス、先刻ノ政府委員ノ御説明ニ依  
リマス、大體戰前ノ五六%位ノモノハ獲レ  
テ居ル、サウシテ從來食糧以外ニ廻サレテ居  
ツタモノガ食用ニ廻ツテ來テ居ルカラ、食用  
ニナツテ居ルモノガソレダケ減ツテ居ル管ハナ  
イ、斯ウ云フ御話デゴザイマシタ、其ノ通りデ  
アリマス、然ルニ一般國民ノ家庭ニ於テハ  
ドウデゴザイマセウカ、果シテ戰前ノ六割  
ヤ七割位ノモノガ入ツテ居ルデゴザイマセ  
ウカ、政府委員ハ、東京アタリニ對シテハ  
一日一人二十匁ヲ目標トシテ居ルガ、實績  
ハ其ノ二割位減ツテ居ルヤウデアルト仰シ  
ヤイマシタガ、實ハ其ノ二割位シカ實績ハ  
入ツテ居ナイノデヤナイカ、吾々ノ家庭ニ  
於テモ五日毎ニ一人二十匁ノ配給ノ番ガ廻  
ツテ來マスガ、其ノ番ガ何時モ三度ニ一度  
位、又其ノ日ニモ廻ラナイコトモアリ、一  
週間ニ一度位二十匁入ツテ來ルト云フコト  
モアリマス、是等ハ確カニ配給機構等ノ  
色々ナ缺陷ガアリマセウガ、此ノ機構ノ  
根本ヲナスノハヤハリ價格ノ關係ニナツ  
テ來ルノデアリマス、先ツ鮮魚ノ公定價格  
ニ於テ非常ニ矛盾ガアリマス、概括的ニ言  
ヘバ大衆向キノ蔬菜用ノモノガ甚ダシク安  
クシテ、高級品ガ著シク高い、其ノ爲ニ漁  
獲ガ其ノ方ニダケ主ニ向ツテ、大衆ノモ  
ノニハ向ハナイ、是ハモウ何度モ一言ウ  
テ來テ居ルノデゴザイマスガ、一向根本的  
ナ是正ガ試ミラレナイノハ洵ニ遺憾千萬デ  
アリマス、ソレカラ又公定價格ノナイ物ガ  
今日相當アリマス、此ノ公定價格ノナイ物ト  
公定價格ノアル物トノ間ニ著シイ矛盾ヲ生  
ジテ居リマスルノハ、一例ヲ舉グマスレバ

アノ海豚デアリマス、海豚ハ此ノ頃ハ皆様  
モ御上リニナツテ居ルデゴザイマセウガ、  
臭クテ洵ニマヅクテ食ヘナイ、是ハ今日公  
定價格ガアリマセヌノデ、十貫ガ六十圓モシ  
テ居ルラシイ、然ルニ鯨ハ一番オイシイ所  
ガ十貫ガ二十七圓位ニナツテ居ル、其ノ他  
斯ウ云フ風ナ物ガ幾ラモアリマス、是等ノ  
物ハ詰ラナイカラ公定價格ガナイ、マヅク  
テ役ニ立タヌカラ公定價格ガナイ、公定價  
格ガナイカラ高い、高イカラ漁師ガソレヲ  
追掛ケルコトニナルノデス、結局有用ナ鰻  
トカ鯖トカ云フモノヲ措イテ置イテ、鰻ヤ何  
カト同ジヤウナ漁場デ獲レル梭魚子トカ其ノ  
他ノ煮テモ焼イテモ食ヘナイヤウナ物ヲ追掛  
ケテ、鰻トカ其ノ他ノ物ヲ獲ラナイ、是ハ  
前々カラ常ニ私ハ言ウテ居ルノデアリマス  
ガ、今以テ其ノ解決ガ付カナイ製造品價格  
トノ矛盾ガアル、是モ先般來北代議士ニ依  
ツテ痛烈ニ御話ガアツタヤウデゴザイマス  
ガ、何デモ彼デモオ化ノヤウナ加工品ヲ造  
ツテ少シバカリ味噌ヲ塗ツテ高く賣ル、斯  
ウ云フヤウナ矛盾ガアリ、又地方ノ產地ト  
消費地ニ於ケル價格トノ間ニ矛盾ガアル、  
是等ノ矛盾ヲ是正致シマスコトガ根本問題  
デゴザイマス

〔委員長退席、馬岡委員長代理着席〕

併シ是等ノ現象ヲ一ツノ指摘シテ責メ  
マシテモ、當局ニナラレト一ツノ矛盾ヲ  
是正シタイ思ヘバ、直グ次ノ矛盾ガ起ツ  
テ來ル、是ハ泥棒ト追駈ケツコスルヤウナ  
モノデアツテ、次カラ次ヘト新テノ矛盾ガ  
起ルカラ、其ノ根本的ノ解決ハ百年河清ヲ  
待ツ如キモノデアラウト私ハ思フノデアリ  
マス、ソレデモ吾々ハ此ノ矛盾ノ現象ニ對シ  
テ、中央ダケデナク、其ノ根本ヲ衝カナケ

レバナラヌト思フノデアリマス、要スルニ  
大體魚ノ價格ト云フモノハ朝ト晩トデハ同  
ジモノデモ價格ガ違フノデス、是ハ魚デモ  
蔬菜類デモサウデゴザイマスルガ、サウ云  
フモノヲ二年モ三年モ大體價格ノ安定シテ  
居ル他ノ物品ト同ジヤウナ價格ノ統制機構  
デ行カウト云フ所ニ無理ガアルノデハナイ  
カ、例ヘバ「キヤラメル」ニシテモ私共ノ子  
供ノ時モ今日モ十粒五錢デアリマス、サウ  
云フ風ナノガ農林省ノ扱ツテ居リマス食糧  
ノ價格ナノデアリマス、サウ云フヤウニ變  
ラナイ物ト、一時間スレバ直グ價格ノ變ル  
ヤウナ物ト同ジ考ヘ方デ、同ジ機構ノ下  
ニ取扱ハウト云フ所ニ私ハ根本的ナ缺陷ガ  
アルノデハナイカト思フ、例ヘバ農林省內  
ノ機構ニ於テモ、魚ヲ獲ル方ノコトハ水産  
局ガ世話ヲ燒キ、配給ノ方ハ食品局、價格  
ノ方ハ總務局ガ握ツテ居ツテ、鰻ノ價格ヲ  
百匁ニ付テ一錢カ五厘カ動かサスト云フノニ  
半年モ一年モ掛ルト云フヤウナ狀態デハ、  
斯ウ云フ矛盾ガ次カラ次ヘト起リマシテ、  
配給ガ旨ク行カナイノハ當然デゴザイマシ  
テ、私ハ此ノ際大臣ノ一大英斷ニ依リマシ  
テ、是等ノ機構ヲ統一シテ、責任ヲ持ツ  
テ居ル官吏ガ、ソレヲ自由ニ處置シ得ル  
ヤウニ相當廣範圍ノ權能ヲ御與ヘニナリ  
マシテ、迅速果敢ニ北海道ノ鰻ガ澤山獲  
レタラ其ノ鰻ノ豐漁ニ即應スルヤウナ價  
格ヲ定メ、加工品ノ價格ヲ定メル、或ハ  
銚子ノ方面デ鰻ガ澤山獲レタラ、ソレニ  
即應スル價格ヲ定メテ行クト云フ風ニ御  
扱ヒニナルヨリ外ニ解決ノ仕樣ガナイト  
思フノデアリマス、先般モ銚子ノ方面デ非常  
ニ澤山ノ鰻ガ獲レタノデアリマスガ、其ノ  
輸送ガ旨ク行カナイ、又處置ヲシヨウニモ

仕樣ガナイト云フヤウナ關係上、一貫目ガ二圓位マデ下ツテ、漁業者ハ折角獲レタモノガ非常ニ暴落シテ泣イテ居ルト云フ事實ガアリマス、此ノ頃毎日築地ノ市場ニ鮭ガ一パイ入ツテ來マスガ、家庭ヘハ一向入ツテ來マセス、此處ノ食堂ノ鮭屋ニ聽イテ見マスト鮭ハ市場ニ幾ラデモ入ツテ居リマスヨ、ソレヲ運ブコトガ出來ナイカラ、鮭ガ市場ニ腐リツツアルノデアリマス、新聞ニハ築地ノ市場ニジヤンノ入ルト云ツテ書立テマスアレドモ、市民ノロニハ一向入ラナイ、斯ウ云フ問題ハ價格ノ面ニ於テ迅速ニ處置スルト同時ニ、一ツノ大キナ機構ヲ設ケテ、サウシテ鮭ヲ生デ輸送スルニハ是ダケシカ出來ナイ、是ダケノモノハ斯ウ云フ處置ヲスルト云フ風ニ其ノ處置ヲ付ケルコトガ必要デハナイカ、私思ヒマスニ、帝國水產統制株式會社ノ如キモ、從來既ニ水產業者ガヤツテ居ル仕事ノ所ヘ手ヲ突込シデ、色々混ゼ返サウトスルトソコニ色々矛盾ガ起リ摩擦ガ起リマシテ、是ハ水產ノ生産力ノ上ニ多大ノ影響ヲ來ス、此ノ會社ノコトハ私ハマダ論議シマセス、併シナガラハ將來大キナ水產界ノ痛ニナリハシナイカ、吾々ガ默ツテ居ラレナイコトニナリハシナイカト云フコトヲ、私ハ非常ニ心配シテ居ルノデゴザイマスガ、今マデ既ニ業者ノヤツテ居ル所ヘ手ヲ突込シデ摩擦ヲ起シテ水產生産力ニ逆作用ヲ起サユウナコトニ指導シテ持ツテ行カズニ、新シイ是等ノ事態ニ對應スルヤウナ方向ニ之ヲ引張ツテ行ツテ、サウシテ其ノ爲ニ損害ヲスルノナラバ、折角國庫ノ補償ガ附イテ居ルノデアリマスカラ補填ヲスル斯ウ云フ方面ニ是等ハ運用シテ行ク外ナイ、殊ニ漁獲高ハ六割位ニ

減ツテ居ルト言ハレマスガ、從來ノ魚ノ食ヒ方ハ非常ニ不經濟ナ食ヒ方デ、恐ラク購入シマシタモノノ六割位シカ人間ノロニハ入ツテ居ナイ、捨テテ居ル四割ハドウ云フモノカ、骨、頭、臟腑ト云フ一番人體ノ榮養ニ必要ナ部分デアアル、是等ヲ完全ニ利用致シマスルナラバ、現在程漁獲高ガ減ツテモ國民ノ榮養ニハ差支ヘナイ、ソレニハ成ルベク是等ヲ魚粉ニシテシマフノガ宜イと思フ、魚粉ニシテ、頭、骨、鱗、臟腑モ全部ノ物ヲ完全ニ利用サセル、サウシテ此ノ魚粉ヲ一人ニ對シテ一日三匁ナリ五匁ナリト云フヤウニシテ全國國民ニ普遍的ニ配給サセルサウシテ生魚ハハエトリノアル分量ダケヲ配給シテ、魚粉本位ニシテ榮養確保ト云フ點ヲ御考ヘニナル必要ガアルノデアリカ、特ニ加工品ノ如キハ此ノ際規格ヲ徹底ノニ單純化シテ鹽魚ト干魚以外ニハ作ラセナイ味噴漬トカ味淋漬ノヤウナ變ナモノハ此ノ際作ラセヌヤウニシテ、極度ニ規格ヲ單純化スル、是等ヲ總括ノニ取扱フ機關ハ前ニ申シタ帝國水產ノ如キガ之ヲ統轄スルヤウナ機關ニナルト云フコトニナリマス、ソコデ初メテ現在ノ資材燃料等ノ制約ヲ受ケナガラモ、尙ホ國民ノ榮養ニ餘リ大シタ差支ヘラ生ジナイト云フ結論ガ茲デ初メテ出テ來ルト思ヒマス、之ヲ斷乎トシテ着眼ヲ變ヘテオヤリニナリマシタナラバ必ズ出來ルト思フノデアリマス、小サイ技術的ノ問題ハ他ノ機會ニ事務當局ノ方々ニユツクリ御話ヲショウト思ヒマス、唯其ノ大キナ見地ニ於テ大臣ノ御考ヘ方ニ付テ此ノ際承ツテ置キタイ

トハ事實ダラウト思ヒマス、之ニ付キマシテハ種々實ハ苦心ヲ致シテ居リマスガ、段段ト役所ノ實情ヲ聽イテ見マスルト、中々其處ニ難カシイコトモアルヤウニ思フノデアリマス、併シ困難ダカラト云ツテソレヲ是正シナイデ何時マデモ放ツテ置ク譯ニハ無論參リマセス、私ハ片端カラ出直スベキモノハ出直シマス、サウ云フコトデ價格問題ハ進ンデ行ツタラドウカ、斯ウ云フ考ヘデ事務當局ヲ督勵致シテ居ルノデアリマスガ、尙ホ全體ノ農林省ノ機構ノコトニモ御觸レニナツテ、成程御話ノ通りニナツテ居リマス、其ノ邊ノ工合ニ付キマシテハ十分考ヘテ見タイト思ツテ居リマス

ソレカラ水產會社ノ問題ニモ御觸レニナリマシタガ、此ノ問題ハ前大臣ノ計畫ニ依リマシテ、既ニ會社ガ成立ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、出來ルダケ設立ノ目的ニ副ウテ十分一ツ整ツテ行クヤウニ指導ヲ致シタイト思フノデアリマス、色々今後ノコトニ付テハ必要ナコトハ必要ニ應ジテ考ヘテ行キタイト云フ考ヘデアリマス

テハ消極的ノ意見ヲ持ツ向キガアルノデアリマスガ、ドウ云フ漁業ニ付テ全國ノ地域トスル漁業會ヲ認メルト云フ御意向デゴザイマスガ、其ノ點承リタイ

次ハ前回ノ議會ニ於キマシテ、此ノ團體法協賛ニ當リマシテ吾々ガ附帶條件ノ決議ヲ附シテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ團體成立後ニ於ケル水產關係ノ統制機關、是ト類似ノ業務ヲ營ミマスル統制團體、統制會社等ハ此ノ際徹底ノニ整理ラシテ、サウシテ新團體ノ營業業務ヲ一元化シテ、水產業ノ統制ニ遺憾ナカラシムルト云フコトガ附帶決議トシテ要望サレテ居ルノデゴザイマスガ、是等ニ對シテ其ノ後ドウ云フ風ニ進メラレテ居リマスルカ、此ノ三點ヲ御伺ヒシタイ

○山崎國務大臣 新團體ノ成立ノ時期ニ付テ私カラ御答ヘ申上ゲヨウト思ヒマス、農業團體、水產團體、大體同様ニ進行シテ居リマス、最初ハ七月一日カラ實施ヲスル意味ヲ以テ勅令ノ起草ヲ致シマシテ、關係各省ト協議ヲ進行中デアアルノデアリマスガ、丁度臨時議會ガ開ニ挾マリマシタ關係デ、ソレ等ノ進行ガ少シ遅レルカト思ヒマスノデ、或ハ多少豫定ヨリモ若干遅延スルカモ知レマセスガ、併シ成べく遅レマセヌヤウニ努力ハ致シマス

尙ホ其ノ勅令等デ規定致シマス實施ニ關スル主ナル點ニ付キマシテハ、是ハ農林省ダケデ決メテ掛カルコトモドウカト存ジマシテ、農業デアレバ農會デアルトカ、産業組合ノ中央機關デアルトカ、漁業ニ付キマシテモソレノ中樞機關ニハ一ツ非公式ニ御意見ヲ求メマシテ、サウシテ實施上餘リ獨善ノ誤リニ陷ラヌヤウニ致シテ參リ

タイト考ヘテ居リマス

〔馬岡委員長代理退席、委員長着席〕

○石黒政府委員 特別漁業會ノ制度ニ付キマシテノ御尋ネデゴザイマスガ、今具體的ニドウ云フ漁業ヲドウスルト云フ所マデ、マダ決メテ居リマセヌガ、御承知ノヤウニ大體ニ於テ道府縣ノ中ニ於ケル一般ノ沿岸漁業等ハ多少規模、經營形態等ノ異ルヤウナモノニ付キマシテハ、必ズシモ之ヲソレゾレノ地域内ニ於ケル漁業會ニハ入レマセヌデ、道府縣ヲ地區トスルモノヲ作リマシテヤツテ參リタイト考ヘテ居リマス、斯ウ云フ制度ハ是非之ヲ使ツテ參リタイト思ツテ居リマスケレドモ、今ノ所別ニ具體的ニドウ云フモノトドウ云フモノトハ必ズドウスルト云フ所マデハツキリ——係官ノ方デハ或ハ考ヘテ居ルカモ知レマセヌガ、省ト致シマシテハソコマデ考ヘテ居リマセヌソレカラ第三ノ點ハ、是ハ御承知ノヤウニ、獨リ水産關係ノミナラズ、他ノ關係ニ於キマシテモ、時ニ依リマスト最初カラ全部ガ計畫通りニ進ンデ參ラスト云フコトノ爲ニ一部重複ヲ致シマシタリ、或ハ其ノ他種々ノコトガアリマスノデ、之ニ付キマシテハ或ハ一度ニ凡ユル方面ノコトヲドウスルスト云フ所マデ手ガ廻ラスカモ知レマセヌガ、出來得ル限り簡單ニ致スト共ニ、成ルベク無用ノ重複ヲ起スコトノナイヤウニ努メテ參リタイト考ヘテ居リマス

スコトハ東亞全體ノ食糧關係ヲ見マシテ、吾々ハ長ク外米ニ依存シテ行クト云フ安逸ナ氣分デアツテナラヌコトハ勿論デアリマス、特ニ本年度ノ需給計畫、從來其ノ計數ノ中ニ入レテ居リナカッタ麥ヲ入レルトカ、或ハ早食ヒト云フコトハ是ハ當局自體ノ氣休メダケデアツテ、數字ノ上ダケノ言譯デアツテ、絕對對策デアリマセヌ、是ハ困難ヲ將來ニ繰越スモノデアツテ、非常ナ困難ガ將來ニ横ハツテ來ルノデアリマス、年々戰爭ヲシテ行クカラニハ生産ノ惡條件ガ加ハリ來ル譯デアリマスカラ、此ノ際大ナル決心ヲ以テ其ノ根本ヲ解決シナケレバナラスト思ヒマス、或ハ滿洲ニ於テ非常ニ廣大ナル耕地ヲ獲得シテ大量ノ食糧増産ヲスルト云フヤウナ大理想ヲ説ク人モアルノデアリマスガ、私ハサウ云フコトハ必ズシモ原則的デナイ、現實ニ於テハ飽クマデ地道ナ一ツ——ガ效果ノ舉ル確實性ノアル所ヲ抑ヘテ行カケレバナラスノデアリマシテ、私共ノ考ヘトシテハ、是ニハ三本アルノデハナイカ、其ノ一ツハ現ニ利用シテ居リマス耕地ノ比較的重要度ノ低い方面ニ主要食糧ニ對スル徹底的轉用デアリマス、是ハ現在土地ヲ既ニ耕耘シテ使ツテ居ル、勞力モソレヲ作ル爲ニ用ヒラレテ居リマス、例ヘバ果樹園、是ハ間伐致シマシテ半分位ニ減ス、煙草ノ如キハ蓬ヤ松葉ヲ半分位混用シテモ宜イト思フ、何モ「ニコチン」バカリデハナイ、蓬ヤ松葉ヲ半分位入レテモ宜イト思フ、此ノ轉用ノ考ヘヲ進メルコトト、第二ハ後デ他ノ方カラ専門的ニソレニ關スル御質問ガアルト思ヒマスガ、ソレハ新技術運動デアリマス、其ノ新技術運動ガ良イ惡イニ拘ラズ、新シイ看板ヲ一ツ立

テナケレバ農民ノ熱情ヲ起スコトガ出來ナイ、農民ガ自ラノ熱情ニ依ツテ、之ニ依ツテ二割餘計獲ツタゾ、俺ハ倍獲ツタゾト云フ一ツノ熱情ヲ持ツテ全般的ナ増産ヲ起スノニハ、ヤハリ新技術運動ニ俟ツノ外ハナイト思ヒマス

第三ハ今日ノ食糧増産ノ難點ガ何處ニアルカト云フト、勞力ト肥料ノ點デアリマシテ、是ハ爭フコトガ出來ナイト思フノデアリマス、勞力ト肥料ノ點ガ根本的ナ難點デアリマスレバ、其ノ勞力ニ寄與シ、肥料ニ寄與スル所ノモノヲ以テ補ハナケレバナラス、是ハ畜産デアルト思ヒマス、私共中國地方ノ相當畜産ノ盛ンナ地方ニ住ンデ居ツテ、其ノ方面ノ農村ノ實情ヲ知ツテ居ル者ハ、關東ヤ此ノ方面ノ家畜ノ極メテ少イ地方ノ農業ガ實ハ常識的ニ考ヘラレナカッタ、其ノ實情ヲ見テ實ニ驚イタ、家畜ガナイ爲ニ如何ニ勞力ガ無駄デアルカ、是ハドウシテモ畜力ニ依ル外ハナイ、而モ其ノ家畜ガナイ爲ニ肥料ガナイ、自給肥料ハ、幾ラ草ヲ刈レ草ヲ刈レト言ツテモ、肥料ヲ造ルタメノミデハ草ヲ刈リマセヌ、家畜ガアレバ家畜ヲ飼エサセルコトガ出來ナイカラ草ヲ刈ル、一旦自分ノ家畜ヲ飼フト自分ノ家ノ家族ノ一人デアリマス、吾々ノ家庭デハ今デモ犬ヲ飼ツテ居ル、此ノ食糧困難ノ時ニ犬ヲ飼フコトハ怪シカラヌ譯デアリマスカラ、其ノ犬ヲ警察ニ渡サウトスレバ子供ガワイ——泣クノデス、仕方ガナイカラ前達ノ食糧ヲ減シテモ宜ケレバ飼ツテモ宜イト云フコトニナラザルヲ得ナイ、犬デスラサウデアリマス、況ンヤ牛ヲ一頭飼ツテ置ケバドウシテモ朝モ早く起キナケレバナラス、遅ク歸ツテモ其ノ晩牛ニ食ハセ

ルダケノモノハ獲得シナケレバナラスノデアリマス、私共ノ方デハ嫁ヲ貰ヘバ牛ヲ一頭殖ヤセト云フコトガアル、サウシテ其ノ牛ヲ嫁ニ預ケル、サウスルト嫁ガ實家ヘ行ツテブラ——シテ中々歸ツテ來ナイト云フヤウナコトハナイ、晩牛ニ草ヲキラナケレバナラスノデ早く歸ツテ來ル、朝モ早起キシテ草刈リヲスル、ソレデ嫁ニハ必ラズ牛一頭預ケルト云フコトガ——一ツノ諺ニナツテ居リマスガ、牛ヲ持タセルコトガ農家ヲ働カシ、特ニ自給肥料ヲ造ル原動力ニナルト思フノデアリマス、ソレニハ此ノ際官民一體ノ強力ナル運動トシテ、無畜農家ノ解消運動ヲ起サレテハドウカ、何年カノ計畫ヲ以テ有畜農家ヲ作ル、農家ニ牛ガ居リ、馬ガ居リ、豚ガ居ル、特ニ鶏ノ如キハ一家ニ五羽ヤ十羽位飼ツテアツテモ別ニ購入飼料ハ要ラナイノデアリマシテ、又ソレ等ノ家畜ガ居リサヘスレバドンナニシテモ肥料ハ造レルノデアリマス、若シ家畜ガ居レバ、主要食糧ヲ食ヒ込ムデアラウカラ供出ガ少クナル、ソレデ家畜ヲ持ツコトヲ餘リ獎勵シナイト云フヤウナ考ヘガ若シ當局ニアリトシマシタナラバ、ソレハ亡國農業デアルト思フ、家畜ヲ養フコトニ依ツテ肥料ヲ得テ、其ノ肥料ニ依ツテ大イニ食糧ヲ増産シテ行クト云フ積極的ナヤリ方ニ依ツテノミ、此ノ食糧難ハ打開サレルノデアリマシテ、家畜ガ居レバ若シ食料ヲ食フカラ減ラスト云フ御考ヘヲ持ツテ居ルト云フコトニナリマシタナラバ、是ハ退嬰衰退ノ一路ヲ辿リマスカラ、斷ジテ左様ナ御方針ハ容認サレルベキデハゴザイマセヌ、特ニ今日デハ牛馬ノ價格ハ相當ニ高イノデゴザイマシテ、之ヲ俄カニ飼養スルコトハ中々困難デゴザイマセウカラ、斯ウ云

フ事柄ニ對シテコソ國家資本ニ依ル國策會社デモ御作りニナリマシテ、牛ノ仔ヲ無料デ配給スル、サウシテ一年カ二年デソレガ成牛ニナリマシタ時ニ又仔牛ニ替ヘテヤル、其ノ間ノ差額ヲ拂ウテヤル、農家ハ牛ヲ預ケテ貰ツテ、ソレデ肥料ヲ作ツテ其ノ肥料ヲ使ウタ上ニ、其ノ牛ガ又仔牛ニ替ハル時ニハ何百圓カノ收入ガアルノデゴザイマスカラ、是ハ喜ンデヤルノデゴザイマス、此ノ種ノ機關ハ現在民間デモサウ云フ事業ヲシテ居ル者ガゴザイマシテ、サウ云フ事業ヲシテ居ル機關ノアル所デハ、家畜ガ非常ニ普及シテ居リマス、吾々ノ地方ニ於キマシテモ畜産ガ非常ニ發達シテ居ル所ハ優秀ナ博勞ノ居ル所デアル、神奈川縣ノ養豚事業ガ發達シ、アソコデ「ハム」ナドガ生産サレマスノモ豚ヲ飼ヒマス機構ガ發達シテ居ル爲デアリ、又其ノ必要ガ是等ノ機構ヲ發達セシメタト思フノデアリマス、斯ウ云フ機構ヲ此ノ際國家的ノ背景デオヤリニナツテハドウカ、一面官民一體ノ無畜農業ノ解消運動ヲヤリ、一面國家ハ強力ニ是等ヲ助成シテ行ク、特ニ養鶏ノ如キハ一家ガ五羽十羽必ズ飼フ、之ニ依ツテ今最モ缺乏シテ居ル燐酸ヲ主成分トスル肥料ヲ配給スルト云フ計畫ガ、私ハ今後進ムベキ一ツノ大キナ方向デアラウト思フノデゴザイマス、此ノ際更ニ申シタイノデゴザイマスガ、サウ云フ運動ヲヤル場合ニ於キマシテ、農林省ガ多年ニ亙ツテ造成サレマシタ所ノ、日本ノ畜産技術ノ上ニ於ケル誇リ一ツデアアル無角牛ヲ此ノ際大イニ普及サレル必要ガアルト思ヒマス、是ハ肉質モ優良デアリ、又勞役モ非常ニ強イノデゴザイマシテ、勞役ニモ非常ニ適スルノデゴザイマス、而モ粗飼

料ヲ以テ之ヲ飼育スルコトガ出來ル、飼料ノ效率ガ非常ニ高イ上ニ、普通ノ牛ガ三年デ成育致シマスモノヲ、無角牛ハ二年デ成育致スノデゴザイマシテ、非常ニ早熟早成デゴザイマス、隨テ假ニ百萬頭ノ牛ヲ飼ツテ置イテ、年々四十萬頭ヲ屠殺スルコトガ普通ノ牛デ出來ルナラバ、此ノ牛ナラバ六十萬頭ヲ屠殺シテ、循環率モ五割高クナルノデゴザイマスカラ、此ノ品種種ノ普及スル、ソレガ現在山口縣ノ阿武郡ト云フ唯一郡ノミシカ蕃殖ハシナイノデゴザイマス、此ノ蕃殖地ヲ二三箇所作ルト云フコトハ是非トモ必要ナノデス、蕃殖地ガ同ジ所ダケデゴザイマスト年々退化スル、同ジ牛ヲ交配シマシタノデハ、年々品種ガ退化スル虞ガゴザイマスノデ、今ノ内ニ新シイ蕃殖地ヲ強力ニ一ツ御設定ニナリマシテ、是ガ普及ヲ圖ラレルコトガ、戰時畜産ニ於ケル大キナ問題デアラウト思フノデゴザイマス、特ニ牛ノ問題ニ付テモウ一點御尋ネシテ置キタイノハ、現在屠殺ガ少過ギルト云フノガ畜産専門家ノ話デアリマス、現在ノ保有牛ニ於キマシテハ、モウ少シ餘計ニ屠殺シナイト牛ノ値段ガ非常ニ下リマシテ、牛ノ値段ニ影響致シマシテ、減産ニナル傾向ガアルコトヲ専門家カラ指摘サレテ居リマス、現在ノ保有數デ毎年五十萬頭位ヲ屠殺サレル必要ガアルコトヲ専門家ハ指摘シテ居ルノデゴザイマス、サウスレバ皆ガ肉ニ饑エテ居ル時ニ、モツト餘計ニ屠殺スル必要ガアルト云フコトデアリマスカラ、御調査ノ上デ善處サレタイノデアリマス

ソレカラ都市ノ廚芥ヲ利用致シマスコトニ依ツテ養豚モナシ、自給肥料モ得ラレマス、我國ノ都市ニ於ケル廚芥ヲ完全ニ利用スレバ、百萬頭ノ豚ヲ飼フコトガ出來ルト言ハレテ居ル、都市ノ廚芥ヲ利用ダケデ現在ノ二倍以上ノ豚ヲ飼フコトガ出來ル、是ハ民間ニ非常ナ熱心家モアリ、大政翼賛會アタリデモ大イニ之ニ協力サレ、農林省ニ於テモ其ノ必要ヲ御認メニナリマシテ、前ニ百七八十萬圓カ補助金ガ出テ各都市トモ意氣込シテ此ノ施設ヲ進メツツアツタノデアリマスガ、俄カニ本年度ニ於キマシテハ、其ノ補助金ガ打切ラレ、其ノ爲ニ此ノ事業ガ頓挫シタノデアリマス、今日飼料ガナイカラ畜産ガ減退スルト云ハレテ居ル時ニ、廚芥利用ノ如キモ折角政府ノ補助ヲ得テ大イニ意氣込シテヤラウトシテ居ルノヲ俄カニ止メテシマツテ、其ノ勢ヒヲ殺グト云フコトハ洵ニマズイ、百萬圓又二百萬圓ノ金ニ代ヘラルベキコトデハナイト思フノデアリマス、之ニ對シマシテ、ドウ云フ譯デサウ云フコトニナルノデアルカ、之ヲ復活シテ大イニオヤリニナル御意思ハナイカ、此ノ點ニ付キマシテ、御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○山崎國務大臣 畜産ニ關シマスル西川君ノ大體ノ御意見ハ全然御同感デアリマス、所謂農業ニ融ケ込シタ畜産ノ行キ方ヲ十分發達サセルト云フコトハ食糧増産ノ上カラモ非常ニ大切ナコトデアルト思ヒマス、從來モ農林省ハ相當ニ力ヲ入レテ居ルヤウデアリマスガ、尙ホ引續キマシテ、畜産ノ増強ニ付キマシテ計畫ヲ立テル考ヘデアリマス、既ニ事務當局ニハ之ヲ命ジテアルノデアリマス、今回ノ追加豫算ニハ其ノ全體ヲ現ハスダケノ準備ガ整ヒマセヌノデ、取敢ヘテ肥料ニ付テ「サイロ」普及ノ點ダケヲ計上致シテアリマスルガ、是ハ必ズ續イテ立案致シマシテ、相當ノコトハ實行致シテ行ク考ヘデアリマス、是ダケノコトヲ私カラ申上ゲテ置キマス、尙ホ細カイコトハ政府委員カラ申上ゲマス

○石井政府委員 只今無角牛ノ獎勵ニ付テノ御話ガゴザイマシタガ、此ノ無角牛ハ御話ノ通り粗食ニ耐ヘ早熟早成デアリマス、此ノ際ノ牛ト致シマシテ洵ニ適當デアアルコトヲ吾々モ認メテ居リマス、現在ハ山口縣ニ於テ飼育サレテ居リマスガ、私ノ方トシテハ之ヲ漸次各地方ニ廣ク致シタイト云フノデ幹旋ニ努メテ居ルノデアリマス、現ニ愛知縣、靜岡縣、茨城縣等ノ地方ニモ漸次此ハ無角種ノ飼養ヲ見ルニ至ツテ居ル譯デアリマス、尙ホ又昭和十二年カラ役肉食牛ノ登録制度ヲ實施致シテ居リマスガ、此ノ中ニモ無角和種ト云フモノヲ指定致シテ居ル譯デアリマス、尙ホ廚芥養豚ニ付キマシテハ、御承知ノ通り昨年ハ七十萬圓バカリノ助成金ヲ出シマシテ、此ノ事業ノ擴充ヲ圖ツタノデアリマスガ、之ニ依リマシテ廚芥ヲ運搬スル樽ノ設備モ出來、ソレカラ養豚組合ト都市ノ仲介者トノ間ニ於テ連絡ヲ確立サレ、更ニ加フルニ、各種ノ當局ガ此ノ事業ニ對シテ非常ニ熱心ニ施設スル情勢ニ相成リ、翼賛會ノ事業トモ關聯ヲ致シテ、國ノ助成ナシデモ健全ニ發達シ得ルノデハナイカト云フ見込モゴザイマシタノデ、今年ハ之ヲ停止致シ、暫ク推移ヲ見タイ、尙ホ情勢ニ依リマシテ十分考慮致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○西川委員 時間ノ關係ガアリマスカラ、念ヲ押シタイ點ガ多クアリマスガ、之ヲ以テ終リマス

○高橋委員長 ソレデハモウ時間デアリマ

スカラ、一旦休憩致シマシテ、午後一時カラ再開致シマス

午後零時十一分休憩

午後一時十一分開議

○高橋委員長 ソレデハ休憩前ニ引續イテ

○杉山委員 杉山元治郎君 委員会ヲ開會致シマス

○杉山委員 杉山元治郎君 委員会ニ付テ質疑ヲ試ミタイト存ジ

テ居リマス、先ヅ第一ニ臺灣ニ於キマス

米ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金ノ財源ニ充

ツル爲公債發行ニ關スル法律案ノ方カラ伺

ツテ見タイト思ヒマス、第一條ニ「臺灣ニ

於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金ノ

財源ニ充ツル爲」トアリマスガ、此ノ補給

金ヲ十八年度産ノ第一期ニ付テハ從來ノ獎

勵金二圓ノ外ニ四圓二十錢、二期米ニ對シ

マシテハ獎勵金ノ外ニ七圓二十錢ノ補給金

ヲ與ヘルト云フコトニナツテ居ルヤウデア

リマスガ、此ノ補給金ヲ算定致シマシタ所

ノ基準ト云フモノハ何處カラ出テ來タノデ

アリマスガ、例ヘバ内地ノ五圓ノ獎勵金ノ

外ニ十圓五十錢ノ補給金ヲ出サレマスルニ

付テハ、各種ノ所謂經濟事情ヲ參酌致シマ

シテ、之ヲ決定シタヤウニ承ツテ居ルノデ

アリマス、例ヘテ中シマスナラバ、十七年

ノ生産費ヲ基礎ニ勞賃或ハ肥料代ノ今日

ノ事情ニ即應スルヤウニ考ヘルトカ、或ハ

十七年ノ生産費ヲ調査シテ調査農家ノ中デ

七五%マデ赤字ヲ出サナイヤウニスル、

斯ウ云フヤウナ方法デヤツテ見ルトカ、或

ハ物價指數ノ傾向ヲ見テ、サウシテ今日ノ

米價トノ比較ヲ見ルトカ、ソレノ此ノ米

恐ラク臺灣ニ於キマシテモ同様ノ方法ヲ採

ラレタコトデアラウト思フノデアリマス

ガ、若シサウ云フ點ニ付テ一應此ノ際御示

シヲ戴クコトガ出來マスルナラバ、大變幸

ヒダト思フノデアリマス

○中島政府委員 大體臺灣ニ於キマシテ

ハ、只今御言葉ノ如ク昨年ノ二期作米ニ比

較シマシテ、十八年ノ二期作米ハ、値上及

ビ補給金ヲ合セマシテ十圓ノ事實上ノ値

上ヲスルト云フコトニ決定致シタノデゴザ

イマスガ、只今御言葉ノ如ク内地ニ於ケル

色々御計算ト同ジク、臺灣ト致シマシテ

モ生産費ノ昂騰其ノ他各種ノ經濟事情ヲ考

慮致シマシテ、大體十圓ト定メマシタ次第

デアリマスガ、大體十圓ト云フコトニ致シ

マスルト、内地ニ於ケル現在ノ米價ト補給

金並ニ値上金ヲ合計致シマシタ金額ノ割合

ト、臺灣ニ於ケル現在ノ米價ト、今度ノ事

實上ノ値上ヲシマシタ金額トノ割合ガ大體

同ジヤウナコトニ相成ツテ居リマス、第一

期作米ニ付キマシテハ、是ハ臺灣特殊ノ事

情モゴザイマスノデ、特ニ此ノ一期作米ノ

供出ヲ出來得ルダケ圓滑ニ致シタイ、農民

ニ對シテモ、唯單ニ一期作ナルガ故ニ全

然從來通りノ價格デアリ、二期作ナルガ故

ニ十圓ノ實質上ノ値上ガ見ルト云フヤウ

ナ急激ノ變化ヲ避ケマシテ、出來得ルダケ

供出ヲ圓滑ニ致スト云フ意味カラ大體其ノ

半額ニ相當致シマスル五圓ノ實質上ノ値上

ヲ企圖致シマシタヤウナ次第デアリマス、其

ノ中獎勵金ト致シマシテハ四圓二十錢デア

ケル實質上ノ値上ノ約半額ヲ供出米ニ對シ

テ見テヤリタイ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマ

ス

○杉山委員 今ノ御説明デハ、内地ノ補給

金ノ増額ト大體歩合ニ於テ同一ダト云フヤ

ウナ御話デゴザイマシタガ、私ハ多少臺灣

ノ方ニ於テハ宜クナイノカ——詳シイ計算

ハ致シテ居リマセヌケレドモ、サウ云フ感

ジガ致シテ居ツタノデアリマスガ、同一デ

アルト云フコトナラバ、是ハモウ當然公平

ニ參リマスコトデ、結構ナコトダト思フノ

デアリマス

ソコデ尙ホ御伺ヒ致シタイコトハ、生産

ヲ確保致シマスノニ、所謂生産費ニ充タナ

イト申シマスコトハ、是ハ生産者ノ生産意

識ト云フモノニ對スル色々ノ障礙ニナリマ

スコトハ當然デアリマシテ、生産費ニ充タ

ス爲ニ色々ナ方法ヲ以テ之ヲ充タスト云フ

コトハ當然ノコトト思フノデアリマス、サ

ウ云フ意味合カラ致シマシテ、内地、外地

ヲ通ジテ今回ノ補給金制度ト云フモノガ出

テ來タト存ズルノデアリマス、私ハ此ノ補給

金制度ノ制定サレタコトヲ非常ニ喜ブノデ

アリマスガ、ソレト共ニ米穀ノ生産ヲ確保

スルト云フニハ唯單ナル補給金制度ガデ

ハナシニ、尙ホ他ニ多クノ方法ガアルノデ

ハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘルモノデア

リマス、今朝政務總監ノ御説明デハ、十八

年カラ二十七年度マデノ間ニ、基本數量ニ

加ヘテ百五十九萬石ノ増産ヲスルノダト云

フ計畫ノ御話ガアツタノデアリマスガ、此

アルト思フノデアリマス、例ヘバ勞力、肥

料等、生産資材ノ不足ニ對シテドウ云フ方

法ヲ執ラレテ居ルカ、或ハ積極的ニ斯クス

ルナラバ増産確保ヲスルコトガ出來ル、斯

ウ云フ幾多ノ方法ガ臺灣ニモアラウト存ズ

ルノデアリマス、例ヘテ申シマスナラバ

臺灣デハ正條密植ヲスルナラバ一割ヤ二割

ノ増産ガ出來ルト、臺灣總督府ノ試驗場デ

ハ申シテ居ツタコトヲ私ハ聞キ及ンダノデ

アリマス、若シ試驗場ノ技師ノ御話ノヤウ

ニ密植ダケデモ一割ヤ二割ノ増産ガ出來ル

ト云フコトデアリマスナラバ、茲ニ示サレテ

居リマスル百五十九萬石ノ増産ハ斯ウ長イ

十年ヲ期セズシテ私ハ出來得ルノデハナイ

カト存ズルノデアリマス、此ノ十年間ヲ期シ

テ百五十九萬石ノ増産計畫ト云フモノハ、

一體ドコニ基本ヲ置イテ居ルノデアリマス

カ、單ナル所謂土地改良デアルトカ、耕種

改善デアルト云フボシヤリトシタ話ダケヲ

シテ居ルノデハナク、モツト重點的ニ臺灣

デハ斯クスレバ増産ガ確實ニ出來ルノダ、

斯ウ云フ點ガアリマスナラバ此ノ際ニ生産

確保ノ意味カラ一ツ御伺ヒ出來レバ大變幸

ヒダト思フノデアリマス

○中島政府委員 臺灣ニ於ケル米穀ノ生産

ヲ確保致シマスル爲ニ各種ノ障礙ガアルト

云フ御話、洵ニ御尤モデアリマシテ、或ハ

肥料ノ點、或ハ勞力ノ點、其ノ他内地ニ於

ケル事情、臺灣ニ於ケル特殊ノ事情、各種

ノ點ニ付キマシテ總督府トシテ鋭意努力致

シテ居ルノハ勿論デゴザイマスルガ、例ヘ

バ只今御言葉ノゴザイマシタ正條密植ト云

フ點ニ付キマシテモ、既ニ數年前ヨリ總督

府ト致シマシテハ極力之ヲ實施助長スルコ

トニ努メテ居ルノデゴザイマス、既ニ臺灣

全島ニ互リマシテ正條密植ハ殆ど大部分ニ付テ行ハレテ居ル、殊ニ西部ニ付キマシテハ行ハレテ居ルト申上ゲテモ宜イ位デアルト思フノデアリマス、尙ホ其ノ他或ハ水利ノ施設ノ擴充デアルトカ、或ハ害蟲驅除ノ徹底デアルトカ、或ハ農具ノ改善デアルトカ、或ハ作付ノ轉換デアルトカ、或ハ荒蕪地ノ利用デアルトカ云フヤウナ點ニ極力總督府ト致シマシテハ努力致シテ居ルノデアリマス、現ニ水利施設ニ付キマシテモ相當大キナ計畫ノモノハ勿論多數ゴザイマシテ、既ニ多クハ豫算化セラレテ總督府ノ補助ノ下ニ實行致シテ居ルノデゴザイマスルガ、是ハ中々大キナモノガ多ウゴザイマシテ、色々々資材ノ關係、其ノ他カラ見マシテ、其ノ進行狀況ハ、餘リ急激ニ是ガ進行ヲ見ルト云フコトハ少イヤウニ思ハレマスノデ、既ニ二、三年前ヨリ、毎年極メテ卑近ニ、極メテ簡單ニ、物資ヲ要シ努力ヲ要スルコトノ少イヤウナ、其ノ代リ面積ト致シマシテモ、小サイ所ハ何十甲歩、多イ所デモ何百甲歩、千甲歩マデ位ノ程度ノ、所謂中小面積ニ互リマス簡單ナ水利施設ノ助成ヲヤリマシテ、是ハ大體計畫通り——勿論多少ヅツハ遅レテ居リマスルガ、計畫通り毎年々々繰返シ施行致シテ居リマス、大體豫定致シタモノガ多少ハ遅レマシテモ實現致シテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス

ソレカラ今度ノ追加豫算トシテ特ニ本年度ノ生産確保ノ爲ニ御協賛ヲ願ツテ居リマスノハ、大體作付ノ轉換、ソレカラ堆肥舍ノ増築ノ助成及ビ荒蕪地ノ特殊ノ利用促進、此ノ三ツヲ追加豫算ヲ以テ御協賛ヲ御願ヒ致シテ居リマスルガ、作付轉換ニ付キマシテハ特ニ豫算ヲ以テ御願ヒ致シテ居リマ

スノハ「バナナ」ノ平地ニ於ケル植栽ヲ米其ノ他ニ轉用スル、米、主トシテ甘藷、或ハ「キツサバ」類デゴザイマス、之ニ付キマシテハ、「バナナ」ヲ出來得ル限リ平地カラ轉換シマシテ、平地ニ付テハ米其ノ他ノ食糧作物ヲ植エサセルト云フ方針ヲ年々執リ來ツテ居ルノデアリマスケレドモ、尙ホ相當數量ノ面積ノ平地ニ「バナナ」ガ植ハツテ居リマスノデ、大體本年ニ於キマシテハ二千甲歩程度ノモノヲ轉換サセルト云フ計畫ヲ立テテ居リマス、ソレカラ「パイナップル」ニ付キマシテハ、是ハ本年度ニ於キマシテ平地ノモノハ全部廢メ、サウシテ全部山間部ノ方ニ移スト云フコトヲ豫算ニ計上致シテ居リマス、併シ是ハ米ノ増產ト云フコトニハナリマセヌノデ、御承知ノ通り「パイナップル」ノ出來マ土地ハ極メテ高イ、地味ノ惡イ處ニ作ツテ居リマス關係上、米ノ方ニハ殆ど向ク所ハゴザイマセヌガ、甘藷其ノ他ノ食糧増產ニ向ケルト云フコトニ考ヘテ居リマス

ソレカラ肥料ノ不足ニ付キマシテハ、堆肥舍ノ建設ニ對シマシテ、總督府ノ方デ極力助成ヲ致スト云フコトヲ考ヘテ居リマ

ス

ソレカラモウ一ツハ、今年度ニ於キマシテハ荒蕪地ノ利用ヲ是非進メタイ、ヤハリ内地デモ御計畫ガゴザイマセヌ、各種農業團體デゴザイマセヌ、或ハ勞働報國挺身隊、或ハ學徒奉公隊ト云フヤウナモノヲ利用致シマシテ、臺灣ニ於キマシテハ相當マダ所謂荒地ノ利用シナイモノガアルヤウニ思ハレマスノデ、例ヘバ保安林ト云フコトニナツテ居リマシテ、實ハソレヲ開墾致シマシテモ支障ガナク、又現ニ樹木ナドモ大シテナイト云フ所ガ全島ニ致シマスレバ千甲歩以上ノモノガアルト思ヒマス

○杉山委員 米ノ生産確保ノ爲ニ凡ユル手ヲ打ツコトハ必要デアリマスノデ、今ノ御説明ノヤウニ、色々トオヤリニナルコトモ結構ダト存ズルノデアリマスガ、併シ餘リニ平凡ニアリ觸レタコトノミヲヤツテ、増產ハ餘リ成績ガ上ラナイヤウナコトデアツテハ相成ラスト存ジマスノデ、凡ユル手ヲ打チマスト同時ニ、是非臺灣ニ於ケル特殊ナ増產ノ面ガアリマスナラバ、其ノ點ニ極力集中シテ戴ク、斯ウ云フ風ニ御願ヒシテ置キマシテ、其ノ質問ハソレ位ニ止メテ置キマス

私ガ見テ居リマス、色々御努力ニナツテ居ルニ拘ラズ、臺灣ニ於ケル米穀ノ生産狀況ハ餘リ著シイ進歩ガナイヤウニ存ズルノデアリマス、是ハ祕密デアラナラバ速記ヲ止メテモ結構ダト思ヒマスガ、事變前ト今日ノ生産狀況ヲ知ラセテ戴キタイコトト、尙ホ生産ノ増加シナイ割ニ拘ラズ、ヤハリ臺灣ニ於テモ消費ハ相當増加シテ居ルコトト存ジマスノデ、其ノ消費ノ増加ノ狀況、此ノ點ヲ並行的ニ御示シ願フコトガ出來マスナラバ、生産確保ノ點ニ付テ吾々ガ考慮スルノニ非常ニ參考ニナラウト存ズルノデアリマス、御示シ願フコトガ出來マ

○竹内(德)政府委員 今御尋ネノ生産ノ方ハ、御承知ノ如ク一期ハ四百五十萬石ヲ超エ、二期米ニ至ツテハ五萬石以上生産ノ年モアツタヤウデアリマス、ドウモ考ヘマ

スニ、一番大キナ原因ハ肥料ノ點モゴザイマスシ、努力ノ點モゴザイマスガ、天氣ノ工合ガコトニ、三年臺灣ニ取ツテ隨分惡イノデハナイカ、暴風雨ガアリマストカ旱魃ガアリマストカ、マア害蟲ノ方ハ防除ノ方法モ考ヘラレル問題デアラウト思ヒマスガ、兎ニ角斯ウ云フヤウナモノガ何カシラ出テ參リマシテ、コトニ、三年ドウモ從來ノ平均生産額ダケニ達シテ居ラスヤウデアリマス、是ハ生産統計ニモ發表サレテ居リマスガ、例ヘバ一期ハ三百八十萬石、二期モ四百三十萬石デ、從前ハ殆ど一千万石ニ近イ平均生産量ガ約二百万石減ツテ參ツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、ドウモ是ハヤハリ天候ガ一番大キイ原因ノヤウナ氣ガ致スノデアリマス、一面消費ノ方ハ、是モ御話ノ如ク昭和十一、二年ニ比ベマスト米ノ消費ガ確カ

ニ殖エテ參ツテ居リマス、此ノ原因ハ又色々考ヘラレルノデアリマシテ、民度ノ向上ト云フコトガ一般ニ言ハレテ居リマスガ、其ノ他ノ原因トシテ、薩摩芋ノ食用ニ對スル消費ガ減ツテ居ルノデアリマス、是ハナゼカト申スト、御承知ノ如ク從前ハ臺灣ノ家畜ノ飼料ハ滿洲或ハ南米ノ雜穀ガ相當入ツテ居ツタ、是ガ殆ド輸入ガ止ツタ爲ニ、薩摩芋ヲ家畜ノ飼料ニ廻サナケレバナラス、一面家畜ハ隨分減ツテ居リマシテ、其ノ爲ニ食用ニ向ケラレル部分ガ減ツテ來テ居ル、又家畜自身ガ減ツタ爲ニ蛋白給源ガ減ツテ米ナリ芋ナリノ澱粉デ之ヲ補フト云フコトモ行ツテ居ルヤウデアリマス、彼此レ致シマシテ從來ニ比ベテ内地移出量ガ減ツテ居ルト云フ事實ハ洵ニ遺憾ナコトデアリマスガ、原因トシテ今考ヘテ居ルノハ大體ソシナコトデアリマス

○中島政府委員 大體ノ數量ニ付テト云フ御話デアリマシタガ、事變ノ始マリマシタ昭和十三年穀年度ニ於ケル實績ハ約九百七十萬石程度ノ生産ニナツテ居リマシテ、最近ハ只今内務省ノ政府委員ヨリモ色々御話ノゴザイマシタ通り、天候其ノ他ノ點ニ於テ非常ニ惠マレナイ年ガ續キマシタ爲ニ、大體八百萬石ヲ少シ超エル程度ノ生産ニ相成ツテ居リマス、消費ノ方ニ付キマシテハ、事變前ノ消費ハ、ハツキリシタ數字ハ分リマセヌガ、内地ヘ出マシタモノ其ノ他カラ逆算シテ大體四百七、八十萬石位ノ見當ニ相成ツテ居リ、一人當リ八斗何升ト云フ程度ノ消費デゴザイマシタガ、其ノ後民度ノ向上モゴザイマスシ、殊ニ數年米穀過剰ノ時代ガ續キマシタ頃、極力米食ノ獎勵ヲヤリマシタ等ノ事情モ關聯シテ、最近ニ於テ

ハ約六百萬石ヲ超エ、一人當リ一石ヲ少シ超エル程度ニ相成ツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○杉山委員 今ノ御説明ヲ伺フト、生産ノ方ハ天候ノ關係モアリマセウガ、遺憾ナガラ減退ノ方デアリ、而モ消費ハ二百萬石近ク殖エテ行ク、斯ウ云フコトニ相成リ、此ノ情勢ヲ以テ推移致シマス、今内地ニ戴イテ居ル米モ或ハ早晚戴クコトガ出來ナイヤウナ狀態ニナルノデハナイカ、斯ウ云フコトモ俱レルノデアリマスガ、ドウカ總督府ハ今後一層生産確保ノ爲ニ先程申述ベタヤウナ凡ユル手ヲ打ツテ戴キタイト存ズルノデアリマス

ソコデ尙ホ御伺ヒシタイ點ハ、此ノ補給金ノ總督府ノ特別會計ノ負擔ニナルノハ、島内デ消費スル管理米ダケニナル譯デアリマス、ナゼカト申スト、内地ヘ移出スル米ニ對シテハ十圓附加ヘテ來ルコトニ相成ツテ居リマスカラ、結局特別會計ノ公債發行ニ關スル眞ノ負擔部分ハ島内消費ノ米ノミニナル、斯ウ云フコトニナルノデゴザイマセウカ

○中島政府委員 御言葉ノ通りデゴザイマセウカ

○杉山委員 臺灣ニ於ケル米穀管理ニ於キマシテハ、從來モ業者カラ受入レテ内地ニ移出スル關係デ、其ノ間ニ相當ノ開キガアツタト存ジマスガ、其ノ金ノ蓄積ガ相當出來テ居ツテ、ソレ等ノ金ハ米管案ヲ拵ヘル時ニ出來ルナラバ農民ニ還元シテ農業上ノ改良ニ資スルト云フ御話デアツタノデアリマスガ、今度ノ内地移出米ニ對シテハ十圓引上ゲルヤウデスガ、其ノ點ニ付テハ、別ニ何モナイヤウデアリマスアレドモ、尙ホ

此ノ間ニヤハリ米管法ニ依ツテ相當ノ剩餘金ガ出テ來ルノデアリマセウカドウカト云フコトト、從來ノサウ云フ金ノ餘裕ガ多少デモ今日尙ホアルノデアリマセウカ、ソレ等ノ點ニ付テ若シ分レバ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○中島政府委員 米穀管理制度ノ實施ノ趣旨ニ基キマシテ、昭和十六年度カラ米管實施ニ依リ生ジマシタ過剩金ヲ年々農業ノ調整開發助長ノ爲ニ使ツテ居リマシタコトハ御言葉ノ通りデゴザイマスガ、其ノ過剩金ノ金額モ最近ニ於キマシテ八年々減少ノ狀況デゴザイマシテ、昭和十四年度、十五年度ニ於キマシテハ相當ノ過剩金モゴザイマシタガ、昭和十六年度ノ決算ニ於キマシテハ過剩金ハ百萬圓ヲ割ルヤウナ實情デゴザイマシタ、詰リソレダケ米管ニ依ル差益ト云フモノハ殆ドナクナツテ來タト云フ狀況ニアルノデゴザイマス、一方農業ノ調整ナリ開發、或ハ助長ノ爲ニ使ツテ居リマス金額八年々飛躍的ニ増加致シマシテ、只今過剩金デハホソノ其ノ一小部分ヲ賄フノ過ギナイヤウナ狀況ニナツテ居リマス、前昭和十七年度ノ米管特別會計ノ決算ハマダ完了致シテ居リマセヌアレドモ、大體ニ於キマシテ過剩金トシテ米ヨリ生ジマスモノハ約二百萬圓程度デゴザイマシテ、總取扱高ガ五百萬石ヲ遙カニ超エテ居リマスルノニ比較致シマスレバ、金額ト致シマシテハ僅カデゴザイマス、併シナガラ總督府ノ施設ト致シマシテハ、米管實施ノ年ニ比較致シマシテ農業ノ調整開發助長ニ使ツテ居リマス金ハ、數千萬圓ニ上ツテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、大體米管制度ニ依ル一石當リノ轄ハ、最近ニ於テハ極メテ微

微タルモノニナツテ居ルト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○杉山委員 臺灣ニ關シマスル質問ハ是デ打切リタイト思ヒマス、次ニ朝鮮ニ於キマスル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ニ關シテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、是モ先ニ臺灣ニ付テ伺ヒマシタ同様デアリマスガ、補給金ヲ朝鮮ニ於テモ今回石十二圓ニスル、斯ウ云フコトデアリマスガ、若シ臺灣ト同ジヤウニ此ノ根據ガゴザイマスナラバ、極ク簡單デ結構デゴザイマスカラ御伺ヒシタイト思ヒマス

○水田政府委員 御質問ノ點ハヤハリ臺灣ト同ジデアリマシテ、朝鮮ニ於キマスル推定生産費トシテ調査農家ノ七五%ヲ「カバ」スルト云フコトニシタラドウデアラウカ、ソレノ利潤ヲヤハリ内地ト同ジヤウニ六分——一割ト云フヤウニ認メタラドウカト云フ計數ヲ見マシテ、ソレノ平均ト云フモノヲ求メマシテ大體十二圓ト云フモノガヤハリ値上ニナツタラ宜カラウト云フノデ決メラレタ譯デアリマス

○杉山委員 其ノ次ノ企業ノ整備ニ要スル經費デアリマスガ、戴イタ參考書ニ依リマスト三百三十萬圓ト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ轉廢業ノ共助金ト説明シテ居ルヤウデアリマス、ソコデ恐ラク朝鮮米穀市場會社ガ營團化サレテ來ル關係デ企業整備ガ行ハレルノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ企業整備ハサウシタ米穀ノ所謂營團化ニ依ル結果起ル企業整備デアアルカドウカ、又此ノ企業整備ニ依ル三百三十萬圓ノ共助金ト云フモノガ、ドウ云フ割合ト申シマスカ、見込

ヲ以テ此ノ數ガ出サレテ居ルノデアアルカ、轉廢業者ノ數ガ大體御見透シガ付イテ居ルダラウト思ヒマスカラ、此ノ點御示シ戴キタイト思ヒマス

○水田政府委員 計數ニ互リマスノデ私ヨリ御答ヘ致シマス、御質問ノ第一ノ企業ノ整備ト云フコトハ朝鮮デ此ノ度食糧營團ト云フモノヲ設置スルト云フコトニ致シタ關係上生ズルモノデハナイト思フテ居リマス、此處ニ全然説明シテアリマセヌノデ、御疑問尤モト思ヒマスガ、食糧營團ノ關係ハ實ハ只今朝鮮ニ於ケル集荷配給ヲ扱ツテ居リマスノハ中央ニ中央朝鮮穀物市場株式會社ト云フノガアリマス、ソレカラ十三道ノ各道ニ一ツツ道ノ糧穀會社ト云フノガアリ、是ハ共ニ株式會社組織デアリマス、中央ニ一ツト、各道ニ一ツツ十三ノ株式組織ノ會社デ以テ集荷配給ト云フコトヲヤツテ居リマスルガ、國家管理ニ致シマスコト、竝ニ中央ト地方トニソレ／＼分レテ居ルコト、是ハ種々短所モアリマスルノデ、此ノ際中央ト地方ノ株式會社組織ノ集荷配給機關ヲ全部打ツテ一丸ト致シマシテ、食糧營團ヲ作ルト云フコトニ計畫ヲ致シタノデアリマス、今度ノ食糧管理制度ニ於キマシテハ、役人ヲ餘リ殖ヤシマセズニ、營團ノ組織ヲ使ツテ集荷配給ヲヤラウト云フ計畫ヲ致シテ居リマス關係上、食糧營團ヲ作ル爲ニ失業者ヲ生ズルト云フコトニハ相成ラヌノデアリマス、此ノ議會デ御協賛ヲ願フコトニ致シテ居リマスル企業整備ノ關係ハ、朝鮮ニ於キマスル企業整備ハ内地トハ稍、趣キヲ異ニ致シマシテ、内地デハ相當大掛リノ轉廢業ト云フコトヲ考ヘラレテ居ルヤウデアリマスルガ、朝鮮ニ於キマシテハ、マダ朝

鮮ノ産業發達ノ現狀カラ致シマシテ、必ズシモ内地ト揆フニ一致シマセヌ、中小ノ商工業者ニ付キマシテ、從來ハ維持育成ヲスルト云フ方針ヲ執ツテ參ツタノデアリマスルガ、最近資材ナリ物資ナリガ非常ニ窮屈ニナツテ參リマシタ、而モ朝鮮ノ中小商業者ノ扱フ品物ハ、メリヤス、トカ其ノ他ノ品物ニ致シマシテモ、内地カラ來テ居ル品物ガ多イノデアリマス、ソレガ非常ニ窮屈ニナツテ參リマシタ關係上、勢ヒ或ル程度ノ中小商工業者ニ付キマシテラ整備シナケレバナラヌト云フコトニ相成ツテ參ツタノデアリマス、其ノ意味ノ轉廢業者ノ共助金ノ問題デアリマス、朝鮮ニ於キマスル所謂中小商人ト云フモノノ最近ノ數字ガ十九萬九千七百二十八人、約二十萬人デアリマス、中小工業者ノ數ガ三萬一千四百六十人、約三萬一千人、所謂中小商工業者ヲ合ハセたら二十三萬餘ト云フコトニ相成ツテ居リマスルガ、此ノ内ノドノ程度ガ所謂整備統合ヲ要スルカト云フコトハ、尙ホ實情ニ應ジテ十分調査ヲ要スル譯デアリマスガ、十八年度ト致シマシテハ、其ノ中ノ五分程度ノ一萬二千人——商業者ノ方カラ一萬人、工業者ヲ二千人、此ノ程度ノ者ノ轉廢業ヲ計畫致シテ居ル譯デアリマス、此處デ豫算デ御願ヒ致シマシタノハ之ニ對スル共助金、是ハヤハリ内地及ビ臺灣デ支出シテ居ラレルト同ジ性質ノモノデアリマス、共助金一人當リ——圓ト云フコトニ計畫致シテ居リマス、ソレニ對スル政府ノ補助金、低イノガ——圓位、最も高イノヲ——圓ト云フコトニ致シマシテ、——人分算出致シマシタノガ丁度三百三十萬圓ト云フコトニ相成ル譯デアリマス

○杉山委員 能ク解リマシタ、ソコデ先ノ御話ノ米ノ集荷配給デアリマスガ、中央ニ朝鮮米穀市場株式會社ガアツテ、各道ニ糧穀會社ガアル、ソレニ依ツテヤル、併シ今度ハ道内ノ消費ヲ除イテアト全部ヲ中央ニ集メテ來ル、斯ウ云フ機構ニナルヤウニ新聞ナドデ拜見致シテ居ルノデアリマス、私ハ中央集權デサウ云フ風ニヤルト云フコトハ、配給機構ノ上ニ於テ非常ニ必要ダトハ一面存ズルノデアリマスガ、今日ノヤウナ輸送ノ非常ニ困ツテ居ル時ニ、道カラ中央ニ持ツテ來テ、又地方ノ方ニ還シテ行クト云フ、其ノ間ニ輸送ノ無駄ガ出來ハシナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付テハドウ云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマスカ

○田中(武)政府委員 只今ノ御質問ニ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス、先刻政府委員カラ申上ゲマシタ如クニ、只今ノ所、全鮮ニ糧穀會社ガゴザイマシテ、大體各道ノ關係ヲヤツテ居リマシテ、中央ニ米穀市場株式會社ト云フモノガ一ツアルノデアリマス、ソレヲ段々配給ヲ政府ノ手ニ收メマシテ、各道ノ凹凸ヲ出來ルダケナガラカニヤツテ參リマスル爲ニハ、各道々ニ於キマシテモソレ／＼ノ事情ハアルノデアリマスケレドモ、ヤハリ之ヲ中央ノ方デ統轄ヲ致シマシテ、サウシテ朝鮮全體ノ睨ミヲ以チマシテ、各道知事ヲ指揮シテ、サウシテ配給集荷ノ機構モ一本ニ致シマシテ、之ヲ按配ヲシテ行クト云フコトガ極メテ必要ニナツテ參ツタモノデアリマスカラ、強化ノ爲ニ左様ナ機構ニ致シタイト云フノガ趣意ナノデアリマス、只今御話ノゴザイマシタ如クニ、ソレガ爲ニ輸送等ノ上ニ要ラス手數ガ掛リハシナ

イカト云フ御質問ノ點デアリマスガ、左様ナコトヲ十分注意ヲ致シマシテ、將來統一一致シマシテモ、只今デモ米ノ倉庫ハ各道ニ散在致シテ居リマスカラ、農會トカ、米穀倉庫會社ノ倉庫ヲ利用致シマシテ之ヲ散在致サセテ置キマシテ、最寄々々ノ所ニ其處カラ配給シテ行クト云フヤウナ方途ニ出ル積リデアリマシテ、書類計數ノ上カラハ一應中央ガ統轄スルコトニナリマスケレドモ、現物其ノモノハ必ズシモ中央ニ持ツテ參ツテ、ソレカラ又更ニ地方ニ還元輸送サレルト云フヤウナ煩ハナイト私ハ考ヘテ居リマス

○杉山委員 ソレナラバ大變結構デアリマスガ、得テ今日マデ内地ニ於テモ統制會社ガ無用ノ統制強化ノ結果、コチカラアチラヘ持ツテ行キ、アチラカラコツチヘ持ツテ行クト云フ弊ガアツタト思ヒマスノデ、今ノヤウナ心配ガアツタ爲ニ一寸伺ツタ譯デアリマス、尙ホ生産確保ニ付テ臺灣ニ伺ツタト同様一、二點伺ツテ見タイト思ヒマス、朝鮮ノ事情ヲ色々刷リ物ナドニ依ツテ拜見致シテ居リマス、栽培面積ハ徐々ニハ増加シテ居リマスガ、餘リ急激ニ増加シナイ、ケレドモ收量ニ於テハ多少増加シテ居ル、斯ウ云フ點ガ見受ケラレルノデアリマス、併シ昭和十三年ノヤウニ二千六百萬石モ穫レタコトガアルカト思フト、最近ノヤウナ、旱害デアリマスケレドモ、非常ニ低イ生産ニナツテ居ルコトガアル、斯ウ云フ關係デ、平均致シマスレバソレ等ノ爲ニ非常ニ低メラレテ居ルノデハナイカト考ヘテ居リマス、ソコデ朝鮮ニ於ケル生産確保ノ大キナ途ハ、ヤハリ土地改良ノ中デモ水利事業ヲ完備スルコト以外ニナイノデハナイカ、側ニ居リマス者ニハ斯ウ云フヤウニ

見エノデアリマス、水利組合ヲ拵ヘタモ  
ノガ、其ノ以前ト其ノ後ノ收穫歩合ナドヲ  
見テ居リマス、著シク増加シテ居ル狀況  
ナドヲ見マシテ私共ハ一層其ノ感ヲ深クス  
ルノデアリマス、朝鮮ノ米ノ生産確保ニ關  
シテ、今申シマス水利事業ノ如キハドウ云  
フヤウニ今日進展ヲ致シテ居リマス、今  
後ドウ云フヤウニ擴張サレテ行クノデアリ  
マス、一應其ノ點ニ付テノ計畫ヲ伺ヒタ  
イト思ヒマス

シテ、動モスレバ遲延勝チデアリマス、  
ヤハリ相當此ノ機構ヲ整ヘテ邁進スルコト  
ガ必要デアルト考ヘマシタノデ、昨年農地  
開發營團ヲ拵ヘマシテ、只今其ノ營團ノ力  
ニ依リマシテ、曩ニ豫定ラシテアリマシタ  
水利組合豫定ノ地區等ノ、比較的易シイ所  
デ、收穫ノ早ク得ラレサウナ所ニ着目ヲ致  
シテ、只今工事ヲ進メテ居ルヤウナ次第デ  
アリマス

○田中(武)政府委員 御答ヘ致シマス、御  
説ノ通り米ノ増産ニ對スル施策ト致シマシ  
テハ、何トシテモ朝鮮ノヤウニ天候ノ加減  
ガ年々ニ依ツテ非常ニ差異ノアル、謂ハバ  
危險性ノ多イ所ニ於キマシテハ、土地改良  
事業ヲ完成シテ、サウシテ水利組合ヲ殖ヤ  
シテ早害ノ危險カラ遁レサセテ行クト云フ  
コトガ、米ノ確保上必要ナコトハ言フマデ  
モナイノデアリマス、朝鮮デハ御承知ノ  
如ク、曩ニ下岡忠治氏ガ政務總監ノ頃、相  
當廣大ナ產米計畫ヲ致サレタノデアリマス  
ガ、中道ニシテ其ノ計畫ヲ拋棄セザルヲ得  
ナイヤウナ四圍ノ情勢ニ相成リ、其ノ計畫  
ハ中道ニシテ倒レタノデアリマス、併シナ  
ガラ其ノ時ニ調査ヲ致シマシタ地域デ其ノ  
儘ニ相成リマシテ、手ヲ着ケテ參リマスレ  
バ究竟ノ場所ガ相當地域殘サレテ居リマス  
ノデ、其ノ後ノ急轉致シマシタ米穀事情ニ  
應ズル爲ニ、今朝一寸申上ゲマシタ如クニ、  
昭和十五年度カラ向フ三十年ニ互リマシテ  
千百何十萬石ノ増産計畫ヲ立テマシテ、特  
ニ十七年度カラソレヲ強化致シタ計畫ニ改  
メテ、今實行ニ邁進ラシテ居ルヤウナ譯デ  
アリマス、併シ此ノ事業モ資材ノ關係ガア  
リ、其ノ他ノ四圍ノ情勢カラ制約致サレマ

○杉山委員 公債發行ノ方ハソレ位ニ止メ  
テ置キマシテ、朝鮮食糧管理特別會計法案  
ニ付テ極ク簡單ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、  
第一條ノ「朝鮮總督府ニ於テ食糧ヲ管理ス  
ル爲」ト書イテアリマスガ、此ノ食糧ハ恐  
ラク米麥ヲ中心トシテ、其ノ他雜穀或ハ甘  
藷、馬鈴薯ナドト云フヤウナモノ、或ハソ  
レ以上ニ尙ホアルノダラウト思ヒマスガ、  
管理致シマスル所ノ食糧ノ種類ハ、一體ド  
ウ云フモノヲ目標ニ置イテ居ルノデアリマ  
スカ、又其ノ數量ナドモ大體見透シテ付ケ  
テ居ラレマスナラバ、一應御示シテ戴キタ  
イト思フノデアリマス

次ニ雜穀デアリマスルガ、朝鮮ノ雜穀ノ生  
產量ハ是モ最近五箇年ノ平均ヲ取りマスル  
ト、千七百七十餘萬石ト云フコトニ相成ツ  
テ居リマス、併シ昭和十四年ニアノ非常ナ  
ル旱害ガアリマシタ、アノ旱害ノアリマシ  
タ時ニ於ケル雜穀ノ消費量、ソレダケハ一  
應食フコトヲ標準ニ致シマシテ、朝  
鮮ニ於ケル雜穀ノ消費量、是ハ特殊用途モ  
含マレテ居リマスルガ、約——石デアリマ  
スルガ、雜穀ト致シマシテハ不足致スノデ  
アリマス、此ノ不足分ニ付キマシテハ、滿  
洲雜穀及ビ外米ニ依ツテ之ヲ補フ、而シテ  
米ノ方ハ先程申シマシタ二千二百八十七萬  
餘石デアリマスガ、鮮内デ消費サレマスル  
ノガ、生産農家ノ自家用保有米ト其ノ他都  
會地及ビ不足、之ヲ全部合セマス、今朝  
程政務總監ガ御説明ニナリマシタ——萬石  
デアリマスガ、差引——萬石前後ト云フモ  
ノヲ内地其ノ他朝鮮外ニ出シ得ル、此ノ建  
前デ以テ計數ガ決メラレテ居ルノデアリマ  
ス、雜穀ニ於キマシテハ、今申シタヤウニ  
絕對量トシテハ足りマセヌケレドモ、集荷  
致シテ他ノ不足ノ方ニ配給ヲスル、所謂配  
給ヲ要スル分ニ付キマシテ四百餘萬石ノ雜  
穀ヲ買上ゲルト云フコトデ豫算ヲ組ンデ居  
ルノデアリマス

シマスルト、「内地、臺灣又ハ外國ヨリ直接ニ  
買入ルル場合ヲ除クノ外一年内ニ償還スベ  
キ證券ヲ以テ其ノ額面金額ニ依リ之ヲ交付  
ス」斯ウ云フ條文ヲ拜見致シマス、道内デ  
購入致シマシタ食糧代金ト云フモノハ證券  
ヲ以テ與ヘル、斯ウ云フコトニナルノデア  
リマス

○水田政府委員 朝鮮内地買上ゲマス代價  
ハ、一應形式上食糧證券デ渡スト云フコト  
ニ相成ツテ居リマス

○杉山委員 サウ致シマス、第四條ニ關係  
ヲ持ツテ來ルノデアリマスガ、詰リ證券ノ  
所持者ガ現金ヲ欲シイト云フ場合ニハ、政  
府ノ指定スル銀行ニ持ツテ行ツテ割引ヲシ  
テ貰ハナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナ  
ツテ居ルノデアリマスガ、サウスルト此處  
ニ「政府ノ定ムル歩合」ト書イテアリマスガ、  
其ノ歩合ト云フモノハ何程ニナツテ居リマ  
スカ、ヤハリ證券ヲ貰ヘバ現金ト違ツテ其  
ノ歩合ダケデ、損ヲシタ、斯ウ云フコトニナ  
ツテ來ルノデアリマスガ、此ノ點ハ如何デアリ  
マス

○水田政府委員 割引ノ歩合ニ付キマシテ  
ハ、朝鮮ニ於ケル金利ノ狀況ヲ見テ、適當  
ニ決メナケレバナラヌコト申スマデモアリ  
マセヌ、豫算面ニ於キマシテハ、一應日歩  
一錢一厘ト云フコトデ計上シテ居リマスガ、  
實行ニ當ツテハ之ヲドノ程度ニスルカ、更  
ニ考究致シタイト思ツテ居リマス、尙ホ割  
引歩合相當ダケハ農民ガ損ヲスルコトニナ  
リハシナイカト云フ意味ノ御質疑ト拜承致  
シマスガ、ソレハサウ云フ譯デハアリマセ  
ヌ、例ヘバ一萬圓ニ相當スル米ヲ買上ゲ  
マシタ場合ニ於テ、假ニ六十日ト云フ先拂

第六類第四號 朝鮮食糧管理特別會計法案外二件委員會議錄 第二回 昭和十八年六月十七日

○水田政府委員 此ノ法律ニ依リマスル管  
理ノ對象物ハ米ヲ主ト致シマスルガ、麥、  
粟、玉蜀黍、蜀黍、蕎麥ト云フモノ、所謂朝  
鮮ニ於キマスル主要食糧ト見ラレモノヲ  
管理ノ對象ト致シテ居リマス、數量ニ付テ  
ノ御質疑デアリマスルガ、此ノ豫算ニ於テ  
計上致シテ居リマスルノハ、米ニ付テハ前五  
箇年ノ平均收量ヲ一應見マシテ、二千二百  
八十七萬餘石デアリマス、之ヲ一應取りマ  
シテ、其ノ中カラ生産農家ノ自家用ノ保有  
米ヲ控除致シタモノ全部、ソレガ千四百三  
十餘萬石ニナツテ居リマス、ソレヲ一應全  
部買上ゲルト云フ建前ニ致シテ居リマス、

○杉山委員 大體ソレデ分リマシタガ、内  
地デハ穀粉、澱粉ナドガ今入ツテ居ルヤウ  
デアリマスガ、ヤハリ朝鮮ノ方デモ穀粉ト  
カ或ハ乾麵トカ、サウ云フモノガ入ツテ居  
ルノデアリマス

○水田政府委員 御説ノヤウニソレモ考慮  
致シテ居リマス

○杉山委員 次ハ第三條ニ付テ御伺ヒシタ  
イノデアリマスガ、第三條ノ條文ヲ拜見致

シマス

一五

ヒノ糧穀證券ヲ發行シタトシテ、利子ガ一日一圓ト致シマス、一万六十圓額面ノ證券ヲ賣ツタ農民ニ渡スト云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ負擔ハ政府ニ於テ之ヲスルノデアツテ、農民ノ負擔ニ相成ラナイノデアリマス

○杉山委員 サウスルト金額ニ還ルマデノ間ノ所謂利子ダケハ額面ニ於テ餘計ニ書イテ御渡シ下サル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ

○水田政府委員 御示シノ通りデアリマス

○杉山委員 次ニ第七條デアリマスガ、借入金ノ最高ハ十億圓ト見テ居リマスガ、大體本七條ノ「諸費ノ支出ニ必要ナル金額」ト云フノデアリマスガ、此ノ諸費ノ支出ニ必要ナル金額ハ、大體ドウ云フヤウニ見テ居ラレマセウカ、ソレカラ第八條ニ「貸付交付」ト云フ文字ガ入ツテ居リマスガ、時ニハヤハリ本會計ニ於テ食糧ヲ貸付ケタリ、或ハ無償ニ交付スル、斯ウ云フ場合モ豫想シテ、斯ウ云フ文字ガ入ツテ居ルノデアリマスガ、唯法文ノ關係上斯ウ云フ文字ガ入ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ文字ガ入ツテ居ル以上ハ、ヤハリサウスルトヲ豫想シテ入レラレタノデハナイカ、之ヲ讀ンデ行ク中ニサウスルト風ニ感ジタモノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ一應御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス

○水田政府委員 此ノ朝鮮食糧管理特別會計法ノ歲入歳出ノ問題デアリマスガ、昭和十八年度ハ年度半バデアリマスノデ、月割ノ關係上歲入ガ四億三百六十一萬餘圓、歳出ガ三億五千六百七十五萬餘圓ト云フコトニ相成ツテ居リマス、其ノ中今ノ事業ト云フコトノ爲ニドレ位金ヲ使フカト云フ意味

ノ御尋ネデアリマスガ、事業費トシテ四千六百八十七萬餘圓組ンデ居リマスガ、其ノ中デ滿洲雜穀及ビ外米ヲ買入レルノガ三千三百六十餘萬圓デアリマスノデ、差引事業費トシテハ一千三百二十四萬餘圓ト云フモノガ豫算ニ計上サレテ居ル譯デアリマス、尙ホ此ノ會計デ貸付交付ト云フコトヲ豫定シテ此ノ條文ヲ拵ヘタノカ、或ハ唯一應ノ文字トシテ使ツタノデアルカトノ御質問デアリマスガ、吾々立案者トシテ一應考ヘマシタノハ朝鮮ニハ在來社換米制度ガアリマス、是ハ春蒐期——三月、四月ニ食ベル物が全然ナクテ草根木皮ヲ漁ラナケレバナラスト云フ時ニ、政府カラ現物貸付シマシテ、秋ニ穫レタ場合ニ普通ノ利子ヲ米デ付ケルト云フコトニシテ穫レタ時ニ返ス、斯ウ云フ制度ガアルノデアリマシテ、凶作ノ年ニハ此ノ制度ヲ活用シテ、所謂社會制度ト云フコトデ相當巧ク行ツテ居ル事情モアリマスノデ、ソレナ點ヲ考慮シテ凶作ノ場合ニハ此ノ會計カラ此ノ社換米ノ制度モ行ヒ得ルト云フコトヲ考ヘテ立案致シタノデアリマス

○杉山委員 私人條文ニ對スル質疑ハ是デ終ルコトニ致シマス

○中島政府委員 先刻杉山サンノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマシタ計數デ少シ言葉ノ足りマセヌ點、及ビ少シ間違ツテ居リマス點ガゴザイマスノデ訂正サセテ戴キマス、臺灣ニ於ケル米ノ消費ノ數量ノ問題デゴザイマスガ、大體戰前ニ於テハ八斗何升ト申上デマシタノハ大體八斗六升四合位ノ實績ニ相成ツテ居リマス、ソレカラ最近ハ六百萬石デ一人當リデ一石以上ト云フヤウナコトヲ申上デマシタノハ、是ハ消費規正ヲヤリ

マス前ノ數字デゴザイマシテ、昨十七年度ノ實績ニ依リマス、約一人當リ九斗餘ニ相成ツテ居リマス、數量ハ大體六百萬石位デゴザイマス、甚ダ恐縮デゴザイマスガ、以上訂正致シマス

○水田政府委員 只今杉山委員ノ御質問ニ對シマシテ、米ノ數、量消費等ニ付テ、色々實ハ率直ニ御答ヘ申上ゲタ譯デアリマスガ、此處デ御聽取願フノハ兎ニ角、速記録ニソレ等ノ數字ヲ殘シテ置イテハ如何カト思フヤウナ數字モ申上ゲタヤウニ思ヒマスカラ、適當ニ委員長ニ於テ御取計ヒ願ヒタイト思ヒマス

○高橋委員長 承知シマシタ、山本君、何カ關聯質問ガアリマスガ

○山本委員 私人臺灣ノ米穀事情ニ付テ、二三簡單ニ御質問申上ゲマス、其ノ一ツハ先程杉山君ノ質疑ニ對スル御答辯デ大體要領ヲ得タノデアリマスガ、最近需要增加ノ傾向ニアル、其ノ原因ハ大豆、小麥粉等ノ輸入ガ杜絶シテ居ル、代用食ト云フヨリモ一種ノ主食物デアアル甘藷ノ食糧化ガ減少シ、他面米食者ガ増加シタト云フヨリモ、主トシテ米食スルコトニナツテ來タ、臺灣ノ本島人ノ食生活ガサウスルト傾向ヲ帶ビテ來タ、斯ウ云フ諸原因ノ爲ニ需要ガ増加シテ來タ、斯ウ云フ御説明デアリマシタガ、全ク左様デアラウト私モ想像致シテ昨年參ツテ見タノデスガ、其ノ通りデス、ソコデ私ハ一ツ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、本島人ノ農民外ノ者ノ消費規正ハ別トシテ、農民ノ消費規正ノ問題ニ付テハ、最近甘藷ノ主食代用ガ相當窮屈ニナツテ居ル現狀デアリマスカラ、是以上ノ消費規正ヲ餘リ嚴重ニスルト、農民ノ米ニ對スル生産熱ガ現在ヨリモ尙ホ一

層低下スル虞レガアルト云フコトヲ憂慮スルノデアリマスガ、ソコデ相當過食デアリマスカラ、米ノ消費規正ヲ嚴重ニスレバ其ノ代用トシテソレ以外ノ食物ノ消費ヲ相當緩和スル必要ガアルヤウニ思フノデアリマス、サウスルトコトガ結局總體的ニ見レバ臺灣ノ米穀増産ノ一途ニナルノデアリマス、是等ニ對スル御考ヘヲ一點御伺ヒ致シタイ

○竹内(德)政府委員 先程私ガ御答ヘシタコトニ關聯スル御質問デアリマスカラ、一應私カラ申上ゲマス、御話ノ如ク農家ノ食糧消費規正ノ實情ニ付キマシテハ既ニ御承知ト思ヒマスガ、一人當リ二合九勺ト云フコトニナツテ居リマス、併シ是ハ全體ノ基準デアリマシテ、何分甘藷ノ消費量ノ多い地方ニ於テハ若干減シ、甘藷ノ消費ノ慣習ノナイ所ニハ若干高メテ居ルト云フヤウニ、各州ニ依ツテ多少事情ヲ違ヘテ、實際ニ適合スル如クヤツテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、全體トシテ農民ニ對スル食糧ノ不足ト云フモノガ生産増強ニ影響ガアルト云フコトハ、是ハ御説ノ如クデアツテ、燃料ヲヤツテ動力ヲ動カスト云フ關係ニナラウカト思ヒマスガ、今日ノ現況ニ於テハ全體トシテ窮屈デアリマス爲ニ、已ムヲ得ザル處置トシテ必要ナル消費規正ヲヤツテ居ルト云フ狀況ニアルモノト思ヒマス

○山本委員 次ニ御伺ヒ致シタイノハ、臺灣ノヤウナ天候ガ稲作ニ惠マレテ居ル土地デ、而モ増産ノ支障條件トシテ旱害ガ相當大ナル影響ヲシテ居ル、先程來ノ説明ニモアリマスヤウニ、暴風ノ天災ニ因ル被害ハ仕方ガナイトシテ、相當ノ雨量モ考ヘラレ、又實際臺灣ニ於テハアルノデアアルカラ、旱害ニ依ツテ増産ニ支障ヲ來スト云

層低下スル虞レガアルト云フコトヲ憂慮スルノデアリマスガ、ソコデ相當過食デアリマスカラ、米ノ消費規正ヲ嚴重ニスレバ其ノ代用トシテソレ以外ノ食物ノ消費ヲ相當緩和スル必要ガアルヤウニ思フノデアリマス、サウスルトコトガ結局總體的ニ見レバ臺灣ノ米穀増産ノ一途ニナルノデアリマス、是等ニ對スル御考ヘヲ一點御伺ヒ致シタイ

フコトハ如何ニモ殘念デアル、ソコ私ノ承知スル所デハ、相當大規模ナ埠頭設備ノ出來テ居ル所モアリマスガ、マダ全島ヲ通覽致シマスト此ノ所謂水利設備ガ不十分デア、水利對策ガ完全ニ出來ナクテ早害ヲ被ツテ居ルト云フコトハ、爲サザルガ故ニ害ヲ被ツテ居ルト云フコトニナルノデアアリマシテ、敢テ私ハ怠慢トハ言ハヌガ、モウ少シ茲ニ積極的ナル對策ガアリサウニ思フ、私ノ見ル所デハ今困ルノダト云フ條件ヲ竝ベテ見マス、勞力ガ不足デアル、資材ガナイ、場合ニ依ツテハ水源モ思フヤウニ得ラレナイ、斯ウ云フコトガ竝ベラレルノデアリマスガ、水源ヲ得ラレナイ爲ニ早害對策トシテノ水利施設ガ出來ヌト云フコトデアレバ水利ヲ止メテ、天候ニ惠マレテ居ルノデアルカラ、他ノ作物ガ作ラレルノデアリマスカラ、手取早ク水源ヲ得ラレナイ所ハ水田ヲ止メテ、水源ノアル所ダケ水田ニスル、敢テ此ノ戰時下ニ必要ナ資材ヲ使ハヌデモ、即チ鐵トカ「セメント」トカ云フモノヲ使ハヌデモ、「セメント」ノナカツタ時代デモヤハリ水利事業ハヤレタノデスカラ、ソコニ一ツノ考ヘヲ運ラセバ、應急ノ水利計畫ハ私ハ出來ルト思フ、尤モ場所ニ依ツテハ二、三十甲カラ一、三百甲位ノ小規模ナ水利對策ヲヤツテ居ルヤウデアリマシテ、之ヲ一段ト強化セラレテ、セメテ天候ニ惠マレテ居ル臺灣ニ於テハ、僅カノ早害ヲ生産ヲ阻得サレルコトノナイヤウニ、モウ少シ土地改良ニ對シテ水利計畫ヲ十二分ニ立テラレテ、豫算ガ必要ナラバ十分豫算ヲ御取リニナツテ、之ヲ應急對策トシテ實行セラレルコトヲ熱望スルノデアリマスガ、之ニ對スル對策ナリ御考ヘナリアレバ承ツ

テ置キタイト思ヒマス

○中島政府委員 水利灌溉ノ計畫ニ付キマシテハ、先刻杉山サンノ御質問ニ對シテモ一應御答ヘ申上ゲマシタ通り、臺灣ニ於キマシテハ水利事業ニ付キマシテハ相當昔カラ關心ヲ持チマシテ、御承知ノ嘉南大圳ノ如キ大水利ヲ完成致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、根本的ニ水ノ分量ト云フ點カラ調査ヲ致シマシテ、其ノ水ノ分量ヲ出來得ル限リ利用シタイト云フ點ニ計畫ヲ進メマシテ、最近ニ於キマシテ殆ド全島ニ互リマシテ各種ノ大水利計畫ヲ到ル處デ實ハ着手致シテ居ルノデゴザイマス、唯併シナガラ、御言葉ヲ返スヤウデゴザイマスガ、大キナ水利工事ニナリマス、最近ノ事情ト致シマシテハ、甚ダ殘念ナガラ物資ノ點ニ於テ甚ダ惠マレザル狀況ニゴザイマスノデ、着手シテモ物資、勞力、凡ル方面ノ不足ヲ出來得ル限リ克服シナガラ漸次仕事ノ方ハ進ンデ居ル狀況ニゴザイマス、何分着手致シタノモ此ノ數年來ノコトデゴザイマスシ、大工事デアリマス爲ニ、相當ノ年數ヲ要シマスノデ、ソレガ總テ生キテ働ク時ガマダ今直グニヤツテ來ナイト云フヤウナ狀況ニアリマスノハ甚ダ殘念デアルト考ヘテ居リマス、御言葉ノ小サナ水利事業ニ付キマシテハ先刻モ申上ゲマシタヤウニ、小サナモノニ至ツテハ僅カ數十甲程度ノモノニ至リマシテモ、資材ナリ、勞力ナリヲ出來得ル限リ工面ヲ致シマシテ、毎年々々各米作期毎ノ目標ヲ定メマシテ、出來得ル限リ手ツ取り早ク出來ルモノカラ着々實行致シマシテ、此ノ數年來ニ相當ナ面積ノ擴張モヤツテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、一寸シテ早害ガアレバ直チニ早害ヲ蒙ルト

ハ、臺灣トシテ情ナイデハナイカト云フ御言葉モゴザイマシタガ、大體ニ於キマシテ河川ノ水量カラ調査シテ參リマシテ、ソレ等ノ利用ヲ極力致スト云フコトノ計畫ニナツテ居リマス關係上、偶、早害ガゴザイマシレバ、ドウシテモ其ノ水量ノ點ニ於テ不足致スト云フコトガ、只今ノ所デハ殘念ナガラ餘儀ナイ事情ニ相成ツテ居ルヤウニ考ヘマス、ソレデ總督府ト致シマシテハ是ハ根本的ニ河ヲ治メル、水利ト兼ネテ治水ノ方面ニモ着眼致シマシテ、御承知ノ通り高砂族ガ山間ニ於キマシテ相當燒畑式ノ耕作ヲヤツテ居リマス爲ニ、臺灣ノ山間部ハ禿山ガ非常ニゴザイマス、其ノ爲ニ結局雨ガ降レバ下流ハ水害ヲ蒙ル、早害ガアレバ下流ハ忽チニシテ一滴ノ水モナイト云フ狀況ニナリマスノデ、極力之ヲ防ギマシテ水源涵養ノ意味ニ於キマシテ森林治水ノ事業ヲ全島數箇所ニ互ツテ、其ノ甚ダシイ所カラ着手致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、唯最近ニ於キマスル風水害ニ致シマシテモ早害ニ致シマシテモ、相當近年稀ニ見ルモノガ打續キマス云フ不幸ヲ見テ居リマス爲ニ、昭和十五年頃カラ思ハザル不作ガ續イテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、併シ一面肥料ノ配給ノ點ニ付キマシテモ、例ヘバ計數デ申上ゲマスレバ、昭和十三年度アタリニ比較致シマスレバ、最近ハ其ノ半額前後ノ配給分配シカ受ケテ居ラナイト云フ狀況デゴザイマシテ、實績ニ於テ目的通り増產ヲ獲得シ得ナイコトヲ甚ダ殘念ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山本委員 モウ一點御伺ヒ致シマスガ、臺灣ニ於ケル最近ノ農家戸數ノ増減ノ數字ハ私ハ持ツテ居リマセスガ、其ノ増減

ノ狀況ヲ御尋ネスルト同時ニ、農村方面ニ於ケル勞働力ノ確保ニ付テドウ云フ對策ヲ講ゼラレテ居ルカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイ、私ノ承知シテ居ル所デハ最近臺灣ニ於ケル本島人農民ノ子弟ノ民度ノ向上ニ連レ、教育ノ普及徹底スルニ連レテ、農村離村者ガ相當多イ傾向ニアリト承ツテ居ルノデアリマス、是ハ當ニ臺灣ダケノ問題デナシニ、内地ニ於キマシテモ相當重要ナ問題デアリマスガ、殊ニ立地條件カラ考ヘテモ、又内地トノ睨ミ合ハセノ上カラ考ヘテ見テモ、臺灣ニ於ケル農村ノ人口確保ト云フコト、又勞力確保ト云フコトハ、非常ニ重要ナ問題ダト考ヘマス、勿論臺灣ノ農村ノ實情ヲ見マス、總督府ニ於テドウ云フ基準ヲ御立テニナツテ居ルカ、詳細ニ私ハ承知シマセヌケレドモ、臺灣ノ農家適正ハドウ程度ノ適正化ヲ圖ツテ居ルカト云フコト、ソレカラ業主ト佃人ノ關係ニ於テ自作農ヲドウ云フ風ニシテ是カラ確保シテ行クカ、租穀ノ適正化ヲドウ云フ風ニシテ行クカ、斯ウ云フヤウナ問題ニ付テ適切妥當ナ計畫ヲ御立テニナツテ行クコトガ、結局農村ニ於ケル離村防止ノ根本ニナルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、其ノ後ニ於ケル最近ノ實情ヲ私承知シマセスガ、業主ト佃人トノ關係ニ於テ、恰モ内地ニ於ケル不在地主ノヤウナノガ、臺灣ニハ相當多イ、全クノ小作人、大キナ地主ト云フヤウナ關係ガ相當多イ、斯ウ云フヤウナコトヲ農家ノ耕地面積ノ適正化ト睨合ハセテ、之ヲ自作農ニシテ行クコト云フヤウナ對策ヲ考ヘテ行クコトガ、離村防止ノ根本ニナルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、是等ニ對スル農村對策トシテ

ドウ云フ風ナ御計書ノ下ニ農村ノ努力ヲ確保シテ行カレルノデアルカ、ソレヲ若シ御考ヘガアレバ承リタイ

○齋藤樹政府委員 御答ヘヲ致シマス、臺灣ニ於キマシテモ農村ノ努力ガ漸次不足ヲ訴ヘテ來テ居ル情勢ハ認メラレマス、隨テ農村青年ノ離村ト云フ事實ハ或ル程度マデハ事實デアラウト存ジマス、併シハ私ノ想像デアリマスルガ、山本サシノ御心配ニナルノハ厭農気分ニ基ク離村ヲドウスルカニ付テノ御尋ネデアラウト思ヒマス、大體ニ於テ農村ノ努力不足ハ、厭農気分ニ基ク多數ノ離村ノ爲トハ思ハレマス、御承知ノヤウニ、急速ニ需要ノ増大致シマシタ直接軍ノ手ニ依ツテ施サレマス軍事施設ナリ、或ハ軍需工業トシテ一括セラレタ種類ノ事業ノ擴張ノ爲ニ要求サレマス努力ト致シマシテハ、總テ之ヲ農村ニ求メルノ外ハナイ、更ニ附加ヘテ其ノ勢ニ拍車ヲ掛ケマスノハ、南方占領地域カラノ農業青年ノ努力ニ對スル要求ノ強サ、南方各地域ニ軍ニ附隨シテ蔬菜ノ栽培ナリ若シハ米、麻等ノ栽培指導ノ意味デ送リマシタ農業青年ノ數ハ既ニ——人近クノ數ニナツテ居リマス、此ノ上ニ更ニ近ク陸海兩方面カラノ要求ニ基キマシテ——人餘ノ、而モ農村ノ中堅青年ヲ出シテ行カナレバナラスヤウナ情勢ニアリマス、是等ノ關係カラ農村ニ於ケル勞働力ノ不足ト云フ事實ハ吾々モ明カニ認メテ居リマスガ、併シハ厭農思想ニ基ク農村ノ努力不足トハ見マセス、隨テ之ヲ憂慮スルヨリハ寧ロ努力ノ不足ヲ實際好ク立派ニ克服スルコトガ、臺灣トシテノ御奉公ヲ全ウスルコトガ出來ル所以デアラウト云フ考ヘカラ、此ノ農村努力ノ不足ヲ補フ方法トシテ、

或ハ共同耕作、共同收穫若シハ堆肥ノ積込等ニ付キマシテハ、奉公班ノ共同事業トシテ澤山ノ地方ニ於テ實行サレテ居ルコトデアリマス、農村ニ接續シタ町ノ中ノ商人其ノ他ノ非農家ヲ隊員トスル奉公班、コチラデ申シマスレバ隣組ノヤウナ組織デアリマスガ、此ノ奉公班ガ或ル堆肥ノ一山二山ヲ積ムコトヲ引受ケテ、之ヲ周圍ノ農村ニ供給スルコト云フヤウナ行キ方ガ島内至ル所ニ於テ行ハレテ居リマス、ソレカラ又御承知ノヤウニ漢民族、特ニ福建族ハ婦人ガ田圃ニ入ツテ勞働スルコト云フヤウナコトヲ極度ニ嫌フト申シマスカ、輕蔑スルヤウナ氣持ヲ持ツタ民族デアツタノデアリマス、隨テ農村ノ努力ニ婦人ノ努力ト云フモノハ、從來殆ド計算ニ入レラレナカツタノデアリマス、併シナガラハ凡ニル方法ニ依リマシテ、婦人ガ田圃ニ出掛ケルコト云フ氣風ヲ作ル爲ニ數年前カラ相當強ク運動ヲ致シテ居リマス、時ニ或ハ女子青年團ノ團員ヲ内地ニ旅行セシメマシテ、内地ノ農村ニ於ケル田圃狀況ナリ、或ハ秋ノ穫入ノ狀況ナリヲ觀察セシメタリナドスルコトヲ手初メト致シマシテ、女子青年團ノ共同作業トシテノ田圃、穫入ト云フヤウナコトヲヤラセ始メマシタ、殊ニ又婦人ノ田圃ニ出掛ケルコトヲ獎勵致シマス爲ニハ、地方長官ハ勿論總督マデガ隨時田圃ニ出掛ケテ參リマシテ、此ノ女子青年團ノ連中ニ激勵ヲ與ヘテ居ルノデ、最近ニ於キマシテハ相當澤山ノ娘達ガ田圃ニ出テ働イテ居リマス、又或ル特殊ノ場合ニ於キマシテハ、學徒報公隊ナリ若シハ各學校ト學校トノ關係ニ於テノ應援隊ナリガ出掛ケテ參リマシテ、努力ノ不足ヲ補フニハ十分遺憾ノナイヤウニ只今ノ所

マデハ行ツテ居リマス、其ノ點ハ今後南方カラノ努力ノ要求ガ愈々強クナルト見ナケレナバリマセヌガ、其ノ程度ニ連レマシテ、更ニ相當ノ考慮ヲ拂ツテ行カナレバナラヌト存ジテ居リマス

尙ホ立チマシタ序デアリマスノデ、最初ニ內務省ノ管理局長カラ御答ヘ申上ゲマシタ點ニ付テ一、一言附加ヘテ申シマス、臺灣ニ於キマシテノ食糧ノ消費ノ規正ヲ更ニ一層強クスルヤウデアツテハト云フ御心配ノ御尋ネデアツタヤウニ存ジマスガ、今朝モ申上ゲマシタヤウニ、或ハ業務用ノ米ノ配給ヲ五割減ニスルコトカ、若シハ酒造用ノ米ノ供給ヲ二割減ニスルコト云フヤウニ、サウ云フ方面ニハ極力節減ヲ圖ツテ居リマスケレドモ、個人ノ消費量ニ付テハ現在ノ消費量以上ニ、極度ノ抑制ヲ加ヘヨウト云フコトハ必ズシモ考ヘテ居リマセス、御承知カトモ存ジマスガ、臺灣ニ於ケル米ノ配給量ハ、内地ニ比較致シマシテ相當少ク配給ヲミテ居ツタノデアリマス、併シナガラ其ノ他ノ食物、或ハ豚肉若シハ鹽干魚等ノ補給ノ不足カラ米ニ對スル要求ガ相當強クナツテ居リマス、實情ニ鑑ミマシテ、此ノ米ノ配給量ヲ内地並ニ引上ゲマシタノハ、昨年ノ六月デ、夏季米ノ收穫ノ凡ソノ見當ヲ付ケマシタ上デ、内地並ニ引上ゲタバカリデアリマス、直チニ之ヲ又引下ゲルト云フマデノ方法ヲ採ラナレバナラナイトハ考ヘテ居リマセス、又其ノ配給米ノ不足ガ農民ノ米ヲ作ル熱ニ及ボス影響ニ付テノ御話モゴザイマシタガ、今朝モ申上ゲマシタ通り、普通ノ吾々ノ配給量ハ二合二勺デアリマスノニ對シテ、農民ノ配給量ハ二合九勺トシテ若干差等ヲ付ケテアリ

マス、ソレ等ノ點ニ付テハ相當「デリケート」ナ點モアリマスノデ、吾々ハ十分細心ノ注意ヲ拂ツテ、御心配ノヤウナ事實ノ起ラスヤウニ精々注意ヲ加ヘテ、今後モ増産ヲ進メテ行キタイト思ツテ居リマス

○山本(桑)委員 モウ一點デ御伺ヒ致シマシテ私ノ質問ヲ終リマス、臺灣ニ於キマシテモ作付ノ規制ガ相當嚴格ニ是カラ行ハレテ行カネバナラヌト思ヒマス、是ハ國家ノ要望ニ對應シテ行クノデアリマスカラ、當然ノ結果デアリマスガ、ソコニ重大ナ考ヘヲ持ツテ行キマセスト、臺灣ノ統治上影響スル所ガ重大ダト思ツテ、此ノ點ニ付テ一點意見ヲ加ヘツツ御意見ヲ承リタイノデアリマス、私ガ臺灣ニ居リマシタ時代ノ目ヲ以テ昨年渡臺致シマシテ、全島ヲ見デ參ツタノデアリマスガ、大東亞戰爭勃發後ニ於ケル本島人ノ思想傾向ハ、私共ノ想像以上ニ皇民化セラレテ居ルコト云フコトヲ全ク心カラ喜ンデ居ル次第ゴザイマス、アノ皇民奉公運動ノ熾烈ヲ運動ハ、益々今後モ進展セラレテ、臺灣統治ノ上ニ、又大東亞共榮圈確立ノ基準トナル臺灣ノ爲ニ、徹底的ナ運動ヲ御願ヒ申上ゲタイト思フノデアリマスガ、農村ニ於ケル實情ヲ見マス、相當強クソレ等ノ國家要望ガ徹底サレテ居ルヤウデアリマスケレドモ、如何セン本島人モ亦支那系ノ民族デアリマシテ、經濟的觀念ハ相當熾烈デアリマス、ソコデ作付規制ガ嚴重ニ行ハレテ行ケバ、即チ國家ノ要望スル作物ヲ作ツテ行クコトニ依ツテ農村ノ經濟ガ確立サレルコトハ當然デアリマスケレドモ、事實ハソレト反對ニ、内地ニ於キマシテモ寧ロ國家目的ノ要望ニ副ハナイ作物ヲ作ツタ方ガ、農家經濟ガ確立サレル

ト云フノガ實情デアリマス、臺灣ニ於テモ  
サウ云フ傾向ガアリマス、ソレヲ嚴重ニ作  
付規制ヲヤツテ國家要望ニ副ハセテ行クト  
云フコトニナツテ行クト、農家經濟ト云フ  
モノニ重大ナ影響ヲ持ツテ來ル、經濟的ニ  
非常ニ銳敏ナ神經ノ持主デアアル本島人ニ、  
サウ云フ狀況ガ生レテ來ルト、折角最近落  
着イテ、日本民族ニナルノダト云フ意氣込  
ミデ皇民奉公運動ヲ徹底シテ、サウ云フ傾  
向ニナリツツアルノニ、サウ云フ國家要望  
ニ副フ爲メトハ言ヒナガラ、作付規制ノ嚴  
重ヲ實施ノ爲ニ經濟上ノ破綻ヲ來シ、延イ  
テ又農民ノ思想ヲ惡化スルト云フヤウナコ  
トニマデ進展スルコトアリトセバハ全ク  
角ヲ矯メテ牛ヲ殺スノ類ニナラナイトハ言  
ヘナイノデアリマス、私ノ考ヘテ居ル所ハ  
作付規制ノ嚴重ナル實施ハ勿論國家ノ要望  
デアリマスカラヤナケレバナリマセヌガ、  
ソレト同時ニ農產物價ニ付テ臺灣特有ナル  
考ヘ方ヲシテ戴イテ、少クトモ臺灣農民ノ  
經濟生活ニ付テ十二分ナ含ミノアル親心ノ  
アル施策ヲサレルト同時ニ一方ニ於テハ精  
神的ナ皇民運動ニ依ツテ國家要望ニ副フ爲  
ニ斯ウシナケレバナラヌト云フ指導精神ヲ  
普及徹底セシメル、又一方ニ於テハ農產物  
價ノ適正化ヲ圖ツテ經濟確立化ヲ圖ル、兩々  
相俟ツテヤツテ行カナケレバナラヌ、此  
處ハ内地ト違フ所デアリマスカラ……サウ  
云フコトニ依ツテ初メテ現在ノ姿ガ尙ホ一  
層ヨク進展スルノデハナイカ、斯様ニ考ヘ  
ルノデスガ、コラニ對スル御心構ヘヲ伺  
ツテ私ノ質疑ヲ打切りマス

○齋藤(樹)政府委員 御心配ノ點ハ大體御  
同感デアリマス、併シナガラ色々軍需其ノ  
他ノ強イ要望ノ結果ト致シマシテ農民ノ餘  
リ歡迎セザル作物ヲ間々半バ強制のニ作ラ  
セナケレバナラナイ實情ニアリマス、南方  
ニ於ケル各占領地域ノ生産物ガ今日尙ホ必  
ズシモ其ノ計畫通り自由ニ手ニ入ラナイ現  
在ノ狀態ニ於テハ特ニ臺灣ニ期待サレテ居  
リマスル作物ニ付テハ已ムヲ得ナイコトデ  
アリマスガ、其ノ點ハ十分農民ノ經濟ヲ考  
慮ニ置キナガラ其ノ國家目的ノ達成ト云フ  
ゴトニ努メタイト存ジテ居リマス、唯此ノ  
農產物ノ物價ニ付テノ御意見モゴザイマス  
カラ、一般ノ農產物ニ付キマシテハ相當考  
慮ノ餘地アリト致シマシテモ軍需ノ目的ノ  
爲ニ特ニ耕作ヲ致シマスル作物ニ付テハ、  
其ノ行先ノ方ノ、算盤ノ關係カラ價格ニ付テ  
手ヲ着ケ得ナイヤウナ向キモ會テハアツタ、  
併シ是等ノ點ニ付キマシテハソレハノ當  
局ト十分打合セヲ致シマシテ、御心配ノヤ  
ウナ事實ノ發生致シマセヌヤウニ今後モ十  
分努メテ行キタイト考ヘテ居リマス

○高橋委員 簡單ナ關聯質問デアリマス  
カラ此ノ際許可致シマス——高田君

○高田委員 先總務部長官ノ十八年度ノ需  
給關係ノ説明ノ中ニ、消費見込ガ七百三十  
石トアリマシタガ、違ヒアリマセヌカ  
デス

○齋藤(樹)政府委員 需要總計七百三十石  
デス

○高田委員 需要總計ト云フノハ、酒ニ使  
ハレルトカ、其ノ他各種ノ方面ニ使ハレル  
モノデアラウト思フノデアリマスガ——是  
ハ數字ガ出ルカラ一寸速記ヲ止メテ下サイ

○高橋委員 速記ヲ止メマス

(速記中止)

○高橋委員長 數字ノ部分ダケヲ除イテ速  
記ヲ始メテ下サイ

○高田委員 移出管理米ハ一石二圓以上ノ

利息ハ、移出米管理特別會計ニ於テ取ラナ  
イト云フ言明デアツタノガ、其ノ後二年バ  
カリハ五圓乃至七圓モ取ツタコトガアル、  
段々減ツテ參ツテ、先程ノ政府委員ノ説明  
デハ十六年度デ百萬圓ノ剩餘金シカナイ、  
十七年度モ米ニ付テ百萬圓ト云フコトノ  
御説明デシタガ、サウスルト米一石ニ付テ何  
程ノ利息ヲ特別會計ニ於テ算定ニナツテ居  
リマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

モウ一ツ伺ヒタイ事柄ハ、今實ハ農林省  
デ調ベタノデスケレドモ、私數字ガハツキ  
リ分ラヌカラ、是ハ臺灣ノ政府委員ニ伺フ  
方ガハツキリスルト思フカラ伺フノデスガ、  
米管施行前ノ深川ニ於テノ内地米ト蓬萊米  
トノ値段ノ差ガ幾ラニナツテ居ルカ、若シ  
其ノ差ヲ臺灣ノ政府委員ガ説明スルコトガ  
面倒デアルトスレバ、米管以前ニ於テ蓬萊  
米ハ深川ニ於テ一石幾ラニ賣ツテ居ツタカ、  
ソレカラ十七年ニ二圓ノ獎勵金ガ出マシタ  
ガ、其ノ後深川ニ於テ十七年度ノ米ヲ一石  
幾ラニ賣ツテ居ツタカ、更ニ今度補給金七  
圓二十錢ヲ出スコトニナツタヤウデアリマ  
スガ、其ノ結果ト致シマシテ、深川ニ於テ  
政府ニ賣渡スノニ如何ナル價格デ賣渡スカ  
ト云フコトヲ伺ヒタイ、要スルニ何故サウ  
云フコトヲ伺フコト云フト、一寸私ノ調べ  
タ所デハ、米管以前ヨリモ段々ニ内地米ト  
臺灣米トノ開キガ大キクナルヤウナ算盤ガ  
私ダケデハ出ル、ソレハドウ云フ關係ヲ持  
ツカト言ヘバ、成程蓬萊米ト内地米トデハ  
相當ナ格差ガアリマセウガ、餘リニ開キガ  
付キ過ギルト云フト、臺灣ノ農民ハ好イ感  
ジヲ持チマセヌ、所謂米ヲ作ルコトニ厭氣  
ガ差シマスカラ、ソレデ其ノ點ヲ伺ツテ置  
キマス

○齋藤(樹)政府委員 七百三十石ト申上ゲ  
マシタノハ需要ノ總量デアリマス、隨テ其  
ノ中ニハ加工用、酒造用、種用、次年度  
繰越、ソレ等ノモノヲ含シテ居リマス、島  
内ノ飯米用トシテ消費致シマスル數量ハ此  
ノ中ノ五百九十萬石デアリマス、大體前年  
ニ六百萬石ト仰シヤツタ其ノ數字ニ該當致  
シテ居リマス

○中島政府委員 内地米ト臺灣米トノ格差  
ハドレダケカト云フヤウナ御話ガゴザイマ  
シタガ、大體三圓五十錢程度ノ格差デゴザ  
イマシタノヲ、慥カ一昨年ト存ジマスガ、  
獎勵金交付ノゴトニナリマシタ際ニ約一圓  
二十錢程縮メマシテ、大體只今デハ一圓二  
十五錢程縮メテ、慥カ只今ノ所デハ二圓二  
十錢位ノ格差ニナツテ居ルカト記憶致シテ  
居リマス

○高田委員 ソレハ七百三十萬石ニ酒ナドノ  
米モ入ツテ居ルコトハ分ツテ居リマス、從  
來ノ統計ノ消費高ト云フノハ飯米ダケ書イ  
テ居ルノデハアリマセヌ、總テ入ツテ居ル、  
サウスレバ何トシテモ追付カナイデハナイ  
デスカ、兎ニ角昭和十三年マデハ四百八十  
萬石、段々殖エテ行ツテ、私ハ先程遠慮シ  
テ言ヒマシタケレドモ、大體違ヒノナイ數  
字ハ十六年ガ六百萬餘石、十七年モ六百萬  
餘石、十八年ガ七百萬石ニナルト云フコト  
ガ分リマセヌ、其ノ六百萬石ハ飯米バカリ  
デハナク、全部入ツテ居ル譯デスヨ、ドウ  
ナルノデスカ、今マデノ統計ハ間違ツテ居  
ツタノデスカ、消費高ト稱スルモノハ總テ  
ノ消費ガ入ツテ居ルモノデス

○齋藤(樹)政府委員 今ノ數字ノ問題ニ付  
キマシテハ、後カラ能ク調べテ書面ヲ以テ  
御答ヘラ申上ゲルヤウニ致シマス、ハツキ

リシタコトハ記憶致シマセス

○高田委員 後カラデナクテモ御説明出來サウニ思フデスガ、サウ言ハレバ仕方ガアリマセス、併シ衆議院ハ今日キリニナルノデス、明日ハナイノデス

○齋藤(樹)政府委員 今日ノ中ニ差上ゲマ

○高田委員 今日ノ中ト云ツテモ、之ヲ議決スル前ニ……

○高橋委員長 此ノ委員會ハ午後六時ニ質疑ヲ打切りマスカラ、ソレマデニ御答ヘテ願ヒマス

○齋藤(樹)政府委員 二時間位ノ中ニ差上ゲマセウ

○高田委員 次ニ先程言ヒマシタ第二ノ質問ノ管理特別會計ガ、農民カラ買ツタ米ニ對シテ内地賣ル場合ニ幾ラノ利得ヲ得ルカト云フコトモ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

ソレトモウ一ツハ格差ノ問題バカリ聴イタノデハナイ、運賃ナンカノ關係モアルカラ、即チ米穀管理施行前ノ蓬萊米ヲ日本ニ賣ル場合ニ深川ニ於テ一石幾ラ賣ツタ、昭和十七年ノ獎勵金ヲ出スヤウニナツタ後ハ一石幾ラ賣ツタ、今度又補給金ヲ出スヤウニナツタ結果ハ幾ラ賣ルノダト云フコトノ御調ベヲ願ヒマス

○中島政府委員 現在何十何圓デ買ヒ、何十何圓デ賣ルカト云フコトハ計數ノ點デゴザイマスカラ、調ベテ御答ヘ致シマス、今度ノ値上或ハ補給金ノ點ニ付キマシテハ、詰リ十圓ノ値上及ビ補給金ノ其ノ全額ヲ移出シマシタ農林省ナリ或ハ其ノ外ノ移出先ニ於テ負擔スルト云フコトニナツテ居リマス

○高田委員 ソレデハ數字ノ問題ハ今何ツタケ閉會前ニ、決ラヌ前ニ是非御提出願ヒマス

○高橋委員長 宜シウゴザイマスカ、政府委員

○齋藤(樹)政府委員 米管特別會計ノ扱ヒマス差益金ト申シマスカ、ソレニ付テ私ノ記憶ダケヲ一應申上ゲマス、ソレ尙ホ物足ラヌト仰シヤレバ更ニ正確ナ數字ヲ調べタ上デ申上ゲマスガ、私ノ記憶スル所ニ依リマス、昭和十四年度ノ決算ニ於キマシテハ一石當リ六圓八十錢程度ノ平均ニナツテ居リマス、十五年度ノ決算ニ於キマシテハ二圓六十錢位ノ數字ニナツテ居ルト思ヒマス、十六年度ノ決算ニ於キマシテハ一石當リ八十錢、一圓足ラズノ金額ニナツタヤウニ記憶シテ居リマス、今年ノ春ノ議會中ニ何カノ折ニ高田サンニ、一圓ヲ切ルヤウニ十六年度ノ決算ハ出タト云フコトヲ御話ヲシタコトガアルヤウナ記憶ヲ持ツテ居リマス、十七年度ノ決算、十八年度ノ實績ニ於テモ、恐ラク十六年度決算ニ現ハレマシタ程度ヲ上下スルノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○高田委員 私ハ尙ホ進ンデ質問シタイコトガアルノデス、併シ臨時議會ニ於テデナケレバナラヌト云フ問題デハアリマセスカラ、此ノ場合後日ニ譲リマスカ、要スルニ先程總務長官ガ、百姓ガ厭ヤニナツテ離農スルノデハナイト云フコトニ付テ非常ニ辯明ニ御努メニナツテ居リマシタガ、併シ私ノ聴ク所ニ依レバ、又新聞等で見ル所ニ依レバ、米管以來非常ニ農民ガ厭氣ガ差シテ來タ、又割當制度ガ甚ダ適地適作ノ方法ニ依ラズシテ、糖業保護一點張ニ依ツテ割當テ

ル爲ニ、非常ニ米作ガ減ツタト云フヤウナ事實ヲ聴イテ居リマス、併シ是ハ私ハ今日進ンデ論及致シマセス、質問申シマセスガ、兎ニ角厭農氣分ニナツタ結果ガ増産ドロデハナイ、管理施行以來段々減産ニナツテ居ルト云フ實情ハ、ナントシテモハ防ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレダケヲ申上ゲマシテ私ノ質問ハ後日ニ譲リマス

○齋藤(樹)政府委員 強ヒテ今ノ御言葉ニ意見ヲ申上ゲル譯デハゴザイマセスケレドモ、若シ高田サンノ今ノ御言葉ヲ其ノ通りダト私ガ申上ゲマスレバ、先刻山本サンニ對シテ私ハ嘘ヲ御答ヘ致シタコトニナル譯デアリマス、少クモ私ノ見ル所デハ、過去ニ於テハ高田サンノ仰シヤツタヤウナ事態ガ或ハアツタカモ知レマセス、併シ今日ノ臺灣ノ農村ノ空氣ハ、高田サンガ過去ノ事實ヲ御聴キニナリマシタ頃トハ著シク異ツテ居リマス、ソレハ特ニ御認メヲ願ヒタイト思ヒマス、若シ臺灣ノ實際ヲ御覽ヲ戴クコトガ出來レバ、如何ニ情勢ガ最近一三年ノ間ニ變ツテ來タカハ十分御分リニナルノデハナイカト存ジマス

○高橋委員長 森口君

○森口委員 私ハ農林大臣ト内務大臣ノ御出席ヲ要求致シマス、其ノ御イデル前ニ一寸細カイトコヲ一ツ二ツ次官ニ御伺ヒ致シマス、極ク當面ノ緊急ヲ要スル問題ガアリマス、目下馬鈴薯ノ收穫最中デス、此ノ天候ノ狀況カラ考ヘテ見マスト、折角取ツタ馬鈴薯ガ、茲デ緊急ナル措置ヲ執ラナケレバ腐敗シテシマフト云フ心配デアル、之ニ對スル處置ヲドウ云フ風ニ執ラレテ居ルカ

第二ノ問題ハ麥ハ此ノ天候ニ於テ此ノ儘置ケバ腐敗シテシマフト云フヤウナ情報

ガ各地カラ入ツテ來テ居ル譯デス、此ノ麥ノ穫入レニ對シテ如何ナル措置ヲ執リツツアルカ、執ラレテ居ルカト云フコトニ對シテ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス。

○石黒政府委員 只今ノ二點デゴザイマスカ、一應私カラ大體御答ヘ致シマス、馬鈴薯ノ穫入レ、特ニ春馬鈴薯ノ穫入レニ付テハ豫メテ心配シテ居ル所デゴザイマスカ、サリトテ餘リ取扱ヒヲコソデ急激ニ變ヘマシテモ、却ツテ混亂ヲ生ズルカモ知レヌト云フ風ニ吾々ハ考ヘマシテ、從來ノ大體ノヤリ方デ以テヤラセル、但シ必要ニ應ジマシテハ地方デ臨機ノ處置ヲ執ラセルヤウニ致シテ居リマス、麥ノ穫入レニ付キマシテハ最近一部ニ多少雨ガ多イ、或ハ寧ろ水ガ出タト云フ所ノアルコトモ實ハ昨日聞キマシタ、其ノ地方ノ經濟部長ガソレハ心配致シマシテ、ソレ相當ノ適切ナル措置ヲ執ツテ居ラレコトト存ジマス、特ニ私ノ承知シテ居ル所ニ依リマスト、中央カラ此ノ際特別ナ指令ヲ出シテ居ルコトハゴザイマセヌ

○森口委員 折角作ツタ物ヲ腐ラセルト云フコトハ、非常ニ農民ノ心理モ害スルシ、増産上斯ウ云フコトガ過去ニ於テハ甘藷ノ例モアリマス、馬鈴薯ヲ腐ラセタト云フ例モアルノデアリマス、次官ハ只今ノ御言葉ニ依ルト昨日ニナツテ麥ノ穫入レニ困ツテ居ルコトヲ知ツタト言ハレルガ、天候ノ惡イノハ昨日ヤ今日始マツタノデハナイ、麥ノ穫入レハ既ニ早場ニ於テハ穫入レヲ終ツテ居ル、今穫入レ最中ノ所モ澤山アル、今ニナツテ御心付キニナツタト云フコトハ洵ニドウモ感覺ガ薄イ、斯様ニ私ハ考ヘザルヲ得ナイ、ソレカラ馬鈴薯ノ腐敗防止ニ關

事實ヲ聴イテ居リマス、併シ是ハ私ハ今日進ンデ論及致シマセス、質問申シマセスガ、兎ニ角厭農氣分ニナツタ結果ガ増産ドロデハナイ、管理施行以來段々減産ニナツテ居ルト云フ實情ハ、ナントシテモハ防ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレダケヲ申上ゲマシテ私ノ質問ハ後日ニ譲リマス

○齋藤(樹)政府委員 強ヒテ今ノ御言葉ニ意見ヲ申上ゲル譯デハゴザイマセスケレドモ、若シ高田サンノ今ノ御言葉ヲ其ノ通りダト私ガ申上ゲマスレバ、先刻山本サンニ對シテ私ハ嘘ヲ御答ヘ致シタコトニナル譯デアリマス、少クモ私ノ見ル所デハ、過去ニ於テハ高田サンノ仰シヤツタヤウナ事態ガ或ハアツタカモ知レマセス、併シ今日ノ臺灣ノ農村ノ空氣ハ、高田サンガ過去ノ事實ヲ御聴キニナリマシタ頃トハ著シク異ツテ居リマス、ソレハ特ニ御認メヲ願ヒタイト思ヒマス、若シ臺灣ノ實際ヲ御覽ヲ戴クコトガ出來レバ、如何ニ情勢ガ最近一三年ノ間ニ變ツテ來タカハ十分御分リニナルノデハナイカト存ジマス

○高橋委員長 森口君

○森口委員 私ハ農林大臣ト内務大臣ノ御出席ヲ要求致シマス、其ノ御イデル前ニ一寸細カイトコヲ一ツ二ツ次官ニ御伺ヒ致シマス、極ク當面ノ緊急ヲ要スル問題ガアリマス、目下馬鈴薯ノ收穫最中デス、此ノ天候ノ狀況カラ考ヘテ見マスト、折角取ツタ馬鈴薯ガ、茲デ緊急ナル措置ヲ執ラナケレバ腐敗シテシマフト云フ心配デアル、之ニ對スル處置ヲドウ云フ風ニ執ラレテ居ルカ

第二ノ問題ハ麥ハ此ノ天候ニ於テ此ノ儘置ケバ腐敗シテシマフト云フヤウナ情報

ガ各地カラ入ツテ來テ居ル譯デス、此ノ麥ノ穫入レニ對シテ如何ナル措置ヲ執リツツアルカ、執ラレテ居ルカト云フコトニ對シテ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス。

○石黒政府委員 只今ノ二點デゴザイマスカ、一應私カラ大體御答ヘ致シマス、馬鈴薯ノ穫入レ、特ニ春馬鈴薯ノ穫入レニ付テハ豫メテ心配シテ居ル所デゴザイマスカ、サリトテ餘リ取扱ヒヲコソデ急激ニ變ヘマシテモ、却ツテ混亂ヲ生ズルカモ知レヌト云フ風ニ吾々ハ考ヘマシテ、從來ノ大體ノヤリ方デ以テヤラセル、但シ必要ニ應ジマシテハ地方デ臨機ノ處置ヲ執ラセルヤウニ致シテ居リマス、麥ノ穫入レニ付キマシテハ最近一部ニ多少雨ガ多イ、或ハ寧ろ水ガ出タト云フ所ノアルコトモ實ハ昨日聞キマシタ、其ノ地方ノ經濟部長ガソレハ心配致シマシテ、ソレ相當ノ適切ナル措置ヲ執ツテ居ラレコトト存ジマス、特ニ私ノ承知シテ居ル所ニ依リマスト、中央カラ此ノ際特別ナ指令ヲ出シテ居ルコトハゴザイマセヌ

スル非常措置ニ付キマシテハ、是ハ簡單ナ措置ニ依ツテ出來ル、唯愚圖々々シテ今ノ配給「ルート」ヲ誤認シテ居リマスレバ、必ズ腐ルト云フコトヲ心配スル、馬鈴薯ノ腐ル原因ハドウ云フ所ニアルカト云フコトヲ考ヘテ見タ場合ニ、此ノ處置ヲ取りサヘスレバ腐ラナイ、是ハ今ノ配給「ルート」ヲ通ツテ大量ノ物ヲ出サセルニハ成ベク地方ノ都市方面ニ至急ニ配給スベキデアル、或ハ三箇月分ナリ半年分ナリヲ家庭ヘ直グサマ配給シナケレバナラヌト思フ、サウシテ時々天氣ノ好イ日ニ乾スト云フ處置ヲ講ズレバ腐ラナイ、甘藷ハ御承知ノ通り日ニ乾セバ必ズ腐リマスガ、馬鈴薯ハ日ニ乾シテ貯藏スレバ腐ラナイ、若シ此ノ間ニ今マデノヤウナ生糞イコトヲヤツテ居リマシタナラバ、腐ラセルト云フ心配ヲ大イニ持ツテ居リマス、此ノ非常措置ヲ至急ニ講ジテ貰ヒタイト思フガドウデスカ

○石黒政府委員 今日ノ食糧ノ狀況ノ下ニ於キマシテ差當リ馬鈴薯ヲ主要食糧ノ一部トシテ配給ヲ致シタイト云フノガ吾々ノ考ヘデアリマス、勿論全部デハアリマセヌガ、相當部分ヲサウ致シタイ、サウ云フヤウナ譯デ致シテ居ルノデアリマスガ、今御話ノヤウニ是ハ早ク食ベタ方ガ宜イノデアリマスカラ、地方所在ノ都市ニ於キマシテ之ヲ食ベルヤウニ既ニ農林省トシテハ指令ヲ致シテ居リマス

○森口委員 麥ノ穫入レニ對スル處置ガ講ゼラレテ居ラヌヤウデアリマスガ、是ハ或ル縣ニ於キマシテ現ニヤツテ居リマス、國民學校ノ校舍マデ動員致シ、或ハ煙草ノ乾燥ノ設備アル所ハ、煙草ノ乾燥ノ設備ヲ利用致シマシテ、ドン／＼雨ノ中ヲ刈入レテ

乾カシテ居ル、斯ウ云フ非常措置ヲ執ツテ居リマスガ、問題ニナルノハ燃料デアアル、燃料ノ處置サヘ付ケバ直グサマ此ノ處置ガ付クノデアリマスケレドモ、斯ウ云フ點ニ付テ敏活ニ此ノ處置ヲ願ハナケレバ、ヤハリ是ハ腐敗スルコトヲ結果ガ茲ニ現ハレテ來テ居ル、折角百姓ガ穫ツタ物ヲ薪ガナイ爲ニ腐ラカス、是デ食糧ガ足ラヌ／＼ト大騒ギヲシテ居ル、斯ウ云フヤウナ姿デアツタナラバ、決シテ私ハ今ノ難局ヲ切抜ケルコトハ出來ヌト思フ、ソレデアリマスカラ薪ノ心配ヲシテヤリサヘスレバ出來ルト私ハ考ヘテ居リマスガ、是等ニ對スル所ノ對策ハドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ラレルカ伺ヒタイ

○石黒政府委員 大體サウ云フコトハ總テ現場ノ仕事デアリマシテ、本來ハ御説ノヤウナコトヲ地方廳ニ於テ地方々々ノソレゾレノ處置ヲ執ツテ居リマス、サウ云フ事柄ニ付テモ一々中央ニ持ツテ參リマシテ、大臣ノ決裁ヲ經ナケレバ進行シナイト云フコトデハ間ニ合ハナイノデアリマス、吾々ト致シマシテハ先ヅ以テ地方ニ於テソレ／＼ノ狀況ニ應ジテ適切ナル處置ヲ講ジナケレバナラス、千篇一律ニハ參リマセヌノデ、假令今ノ御話ハ燃料デアリマスガ、燃料ニ致シマシテモ地方ニ依リマシテ決シテ同ジ燃料ヲ使フモノデハナイノデアリマス、ソレ／＼所在ニ於テ處置ヲ講ジテ居ルノガ第一デアリマス、吾々ハ左様ニ致シテ居リマスガ、恐ラクソレゾレノ農家ハ農家自體トシテ相當ノ努力ヲシテ居ツテ呉レト思ヒマスシ、更ニ又ソレ／＼ノ團體、殊ニ農業團體其ノ他ニ於テモソレ／＼ノ所在ニ於テソレニ應ジタ處置ヲ講ジテ居ルノデアリマス、愈、イケ

ナケレバ吾々ノ方ニモ御相談ガアルト思ヒマス、御相談ガアレバソレニ應ジマシテ出來ルダケノコトヲ致シタイト思ツテ居リマス

○森口委員 只今ノ農林次官ノ御言葉ノ通り、地方ノ現場ニ於テ之ヲ處置スル、ソレダカラ構ハヌト云フ態度デアツタナラバ、ソレハイケンイト思フ、サウ云フヤウナ事情ノ下ニアルコトニ對シテハ當然心配シテヤルベキモノデアアル、サウ云フ考ヘガアルベキモノダト云フ考ヘノ下ニ斯ウ云フ質問ヲシタノデアリマスガ、敢テ私ハ是以上ノ答辯ヲ要求スル譯デアリマセヌ——マダ内務大臣ハ見エマセヌカ

○高橋委員長 森口君ニ申上ゲマス、内務大臣ハ貴族院ノ方ニ參ツテ居リマスガ、大體向フノ議事ノ關係デ内務大臣ニ關スル問題ハ終ツタラシイノデアリマス、直グニコチラニ見エルト云フコトデアリマス、農林大臣ハ今豫算委員室ニ入ツテ居リマスカラ、是モ至急來テ貰フコトヲ要求シテ居リマスガ、ドウナルカ分リマセヌ

○森口委員 待チマセウカ

○高橋委員長 ドウゾ大臣ニ關スル質問ハ保留シテ戴イテ、此處ニ居ラレル政府委員デ間ニ合フダケハオヤリ下サイ

○森口委員 ソレカラモウ一點御伺ヒシタイノデアリマスガ、次官ノ答辯デ結構デス、食糧増産應急對策要綱ト云フモノヲ今御作リニナツテ居リマス、其ノ中ニ諸類ノ價格及ビ其ノ統制機構ニ檢討ヲ加ヘテ是ガ増産ヲ確保スル云々ト云フ一項ガアルノデアリマスガ、諸類ノ價格ノ改正及ビ其ノ統制機構ニ檢討ヲ加ヘテ云々ト云フノハ是ハドウ云フコトヲ爲サレル考ヘデアリマスカ、

之ヲ一ツ御聽カセ願ヒタイト思ヒマス

○石黒政府委員 只今御尋ネノ點デゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ目下立案中デゴザイマシテ、大體ノ傾向ト致シマシテ取敢ズ考ヘテ居ルコトハ、一點ハ價格ニ付テ申シマス、御承知ノヤウニ現在全國ガ五地區ニ分レテ價格ガ決ツテ居ルノデアリマス、是ハ地方的ニモ色々又ソコニ問題ガゴザイマスシ、之ヲ漸進的ニ或ル程度數ヲ減シテ參リタイト云フコトガ一點デアリマス、今一點ハドウモ芋ハ非常ニ一時ニ出盛リニナルノデアリマスガ、餘リ一舉ニ此ノモノガ出ルト云フコトハ、勿論其ノ時ガ一番好ク大キクナツタ時デアリマセウケレドモ、時ト場合ニ依リマス、其ノ處置ニ窮シテ其ノ利用ヲ全ウスルコトガ出來ナイヤウナ結果ニナル虞ガアルト云フノデ、或ハ多少一部ハ早目ニ收穫スルコトヲ云フヤウナコトモ考ヘナケレバナラナイカモ知レヌ、サウ云フ場合ニ於ケル價格ト云フモノモ此ノ際或ル程度考慮シテ置クベキモノデハナカラウカ、斯ウ云フヤウナコトヲ今價格ノ面ニ付テモ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ他多少アルカモ知レマセヌガ、少クトモ左様ナコトヲ考ヘテ居リマス、ソレカラモウ一ツ統制機構ノ方ハ御承知ノヤウニ現在ノ統制機構、是ハ色々ト批評モアルノデアリマスガ、要スルニ現在ノ統制機構ト云フモノハ、兎ニ角或ル特殊ノ場合ヲ除クノ外ハ日本甘藷馬鈴薯會社ハ賣ラナケレバナラス、日本甘藷馬鈴薯會社ガソレヲ買ツテ更ニ配給スルコトヲ云フヤウナコトニナツテ居ル、所ガ其ノ例外ノ取扱ト云フモノモ實ハ可ナリ多イノデアリマスガ、兎ニ角原則ハサウ云フヤウニシテ一應網ヲ被セテアルト云フヤウナ

風ニ考ヘテ居リマス

ソレカラ供出ニ付キマシテハ全ク御話ノ通りデアリマシテ、部落組合、農事實行組合等ノ單位ニ、ソレ等ノ部落ノ共同ノ責任ニ依ツテ供出サセルト云フコトガ農村ノ醇風民俗デモゴザイマスシ、一番適切ダト思ツテ居リマス又サウ云フ風ニ致シマス時ニ、其ノ中ノ指導者ガシツカリシテ居リマス所ハ、現實ニ好イ成績ヲ擧ゲテ居リマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、私達トシテモ是非今後サウ云フ風ニシタイト思フ、モウ今年ノ春ノ米ニ付キマシテモ、此ノ夏ノ麥ニ付キマシテモ極力サウ云フ風ニ指導シテ参リ、尙ホ其ノ成績ヲ上ガマシタ功績アル人ニ對シマシテハ、十分表彰ノ途モ執リマシテ今後一層ヤツテ貰フヤウニ致シタイト思ツテ居リマス、實ハ米ノ供出ニ或ル區切りヲ付ケタ後ニハ、是非サウ云フコトヲヤツテ見タイト思ヒマス

○木村(寅)委員 此ノ供出ノ關係デ陸稻デアリマスガ、今ノ狀態カラ参リマスルト、陸稻ヲ技術的ニ向上シテ行キマシテモ反當リ四俵位デアル、而モソレヲ今度ハ薩摩ニ轉換致シマシテ技術的ニ改善シテ行キマス、千貫以上ニ穫レル今マデアツテモ薩摩ガ反當リ陸稻ノ約二倍ノ人口保有力ガアルニ拘ラズ、薩摩ヲ技術ヲ上ゲテ澤山穫ルト反當リノ人口保持力ハ六倍ニモナル而モ危險率ガ少イト云フ關係カラ行キマシテ、モツト陸稻ヲ薩摩ニ轉換シテ宜シイノデハナイカト考ヘテ居リマス、此ノ前ノ議會デモ相當轉換シテモ宜シイト云フコトニ相ナツテ居リマスガ、ソレニ對シマスル御意見ト、モウ一ツハ之ヲ澤山作ルト致シマスルナラバ、價格ノ改訂ノ問題ガ出テ來ルト同時ニ澤山

作レバ腐ル虞モ出マセウシ、之ヲ生デ食ベナイデ乾燥シテ食糧ニ持ツテ行ク場合モアリマセウガ、其ノ食糧ニ持ツテ行ク場合ニ於キマシテノ乾燥過程ニ於キマシテ、現在ノ價格ニ於テハ手間賃ガ出ナイト云フ關係ニ於テ、乾燥ヲヤリニクイヤウナ傾向モアリマスルノデ、少クトモ之ヲ食糧化スル場合ニ於キマシテハ、乾燥諸ノ價格ノ改訂ガ當然茲ニ起キテ來ルノデハナイカト思ヒマスガ、ソレニ付キマシテノ御意見ヲ承リタイト存ジマス

○石井政府委員 只今ノ陸稻ト甘藷トノ關係ハ收量ニ於キマシテ御説ノ通りノ關係ガゴザシマスノデ、既ニ今年ノ春各種ノ農作物ニ付テノ生産計畫ヲ各府縣ト相談ヲ致シマシタ場合ニ、積極的ニ陸稻ヲ甘藷ニ轉換スルト云フ方針デ甘藷ノ作付面積ヲ考ヘテ貰ヒタイト云フコトデ協議ヲ致シタ譯デアリマス、ソレデ相當ニ陸稻ガ甘藷ニ轉換ヲサレテ居ルノデアリマス、唯各農家ノ食用米ノ關係等カラ致シマシテ、非常ニ大部分ヲ一舉ニ轉換ヲ致スト云フコトモ困難ナ云情ガゴザイマスルノデ、其ノ點ハ實情ニ即シテ進ンデ参リタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ甘藷ヲ主要食糧トシテノ効率ヲ發揮サセマスル爲ニハ、大體食用ノ爲メノ乾燥甘藷ヲ致シテ參ラナケレバナラス譯デアリマスガ、其ノ場合ニ此ノ乾燥加工ニ付テドウ云フ形態ノモノデヤツテ參ルカト云フコトニ付テハ、マダ研究ノ餘地ガ殘ツテ居ルヤウデアリマス、只今折角色色ナ實驗試驗ニ基イテ、最モ廉價ニシテ優良ナルモノヲ發見シマスヤウニ努力ハシテ居ル譯デアリマス、何レニ致シマシテモ、只今極ク簡單ナ食用切干ニ致シマシテモ、只今

ハ原料用ノ切干ノ價格ハ設定サレテ居リマスケレドモ、食用ニ供スベキ切干甘藷ノ價格ハマダ設定サレテ居ラナイノデアリマス、ソコデ此ノ食用ノ切干甘藷ヲ相當ニ利用シテ參ルコトニ致シマスレバ、當然新タニ食用干甘藷ノ價格ノ設定ト云フ問題ヲ解決致サナケレバナラスト云フノデ、只今吾々ノ方トシテ準備研究シテ居ル譯デアリマス

○木村(寅)委員 乾甘藷ノ問題デアリマスガ、私ハ「カロリー」カラ計算シ、今ノ米ノ値段カラ計算シテ見テ、一貫匁一圓ニシテモ安イノダラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、設定シテ戴ク場合ニ於テハ、「カロリー」其ノ他カラ計算シテオヤリヲ願ヒタイト思ヒマス

制度デヤツテ行キマス、非常ニ離農スル傾向ガ多分ニアルノデハナイカト思ヒマス、併シ私ハ現在ノ農村カラ考ヘテ見マシテ、少クトモ標準農村ヲ建設スル場合ニ於キマシテハ、過小農ヲ他ニ轉出サセルト云フ問題ハ是ハ當然デアリマス、併シ農村ニ於テ殘ラナケバナラス農家ヲ此處カラ出シテシマフト云フコトデハ、今後農村ガ壞滅スルト同時ニ、折角國ガ要請シテ居リマス食糧ノ増産モニ障礙ガアルト思ヒマスノデ、其ノ點ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスガ、其ノコトト、今一ツハ標準農村ト云フ形デ農林省ガ非常ニ御努力ヲセラレマシタ今度ノ計畫モ大變有難イト思ツテ居リマスガ、實際之ヲヤツテ参リマスルト、或ハ自作農デアツテモ、オ互ヒノ道義ニ懇ヘテ之ヲ地主カラ買受ケル、或ハ耕地交換分合デアツテモ、之ヲ道義ニ懇ヘテ駄目ダト言ハバ已ムヲ得ナイ、或ハ加工過稅ニ於キマシテモ、現在最早色々設備モ出來ナイヤウナ時ニナツテ居リマスル關係ニ於キマシテ、少クトモ現在ノ法ノ許ス範圍ニ於テハ標準農村ノ建設ハ非常ニ無理デアルト同時ニ、動トモスルト、農村ガ却テ壞滅シテ行クヤウナ狀態ニアルト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ付キマシテモツト力ヲ入レテ戴キマシテ、標準農村ノ建設ノ爲ニヤツテ戴カスト、食糧ノ増産ニモ相當影響ガアルノデヤナイカト考ヘテ居リマスノデ、其ノ點ヲ一ツ御意見ヲ承リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ二ツダケヲ御願ヒシマシテ、私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス

○石井政府委員 第一ノ徵用ノ關係ハ此ノ前ノ議會デモ申上ガマシタガ、農林省ト厚生省トノ間ニ於キマシテ、或ル規模以上ノ農

カラ、此ノ國家要請ノ大事ナ食糧事情ヲ充足スル爲ニ、地方長官ノ能力性トシテ一ツ内務省ガヤツテ貫ヒタイ、一事ニ通ズル者ハ萬事ニ通ズル優良ナル地方長官デアルト云フコトヲ確信スル、ソレニ付テ所管ノ違ツタ内務省ニ私ハ御願ヒシタイノハ、惡口ヲ言フ譯デアリマセヌケレドモ、地方長官ハ兎角農林當局ノ言フコトヲ聽カナイ、農林省ノ言フコトヲ輕視スル、内務省ガ人事ヲ握ツテ居ル關係上、内務省ノ屬官ノ言フコトモ行ハレル、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテ、内務大臣ト農林大臣トシツカリ手ヲ握ツテ、地方長官ニウント迫力ヲ付ケテ貫ヒタイ、私ハ現實ノ問題カラ此ノ點ヲ言フノデアツテ、敢テドコノ省ガ面目ガ立ツトカ立タストカ、ソシナコトハ言ツテ居ル時代デハナイト考ヘテ居ル、一ツ積極的ニ御指導御鞭撻ヲ戴キタイ、之ニ對スルアナタノ御考ヘヲ承レバ私ハ非常ニ幸ヒガト思フノデアリマス

○唐澤政府委員 食糧増産ノコトハ、直接内務省ノ所管デアリマセヌケレドモ、目下ノ時局下、急務中ノ急務デアルト云フコトハ、私個人ト致シマシテモ痛感致シテ居リマス、私新任マダ日モ淺イコトデアリマスルカラ、今日ノ地方長官、又ソレ以下ノ地方官ノ心理ガ如何様ニナツテ居ルカト云フコトハ詳カニハ致シマセヌケレドモ、私任ヲ承ケマシテ、内務省所管ト致シマシテハ、先ヅ治安ノ責任ト云フコトヲ第一ニ痛感致シテ次第デアリマス、今日ノ警察治安ト云フ問題ハ平常時ト異リマシテ、其ノ根ザス所ガ極メテ深イノデアリマスルカラ、其ノ觀點カラ考ヘマスト、例ヘバ思想ノ問題デアルトカ、或ハ食糧ノ問題デアルトカ、

斯様ナ問題ガ解決セラレマセヌ限リハ、如何ニ警察當局ガ從來ノヤウナ觀念デ警察行政ニ勉勵致シマシテモ、此ノ治安維持ノ問題ハ解決セヌト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ、只今御言葉ノ中ニ、地方長官ハ動モスレバ内務省ノ命令ヲ重シテ、他ノ省ノ命令ハ輕シズル傾キガアルト云フコトガアリマシタガ、是ハ私共會テ在官致シマシタ當時ニ於キマシテモ屢、承リマシタ御意見デアリ、或ハ左様ナ傾キガナキニシモアラズト我レ自ラ感じタコトモアリマス、併シナガラ最近ノ地方官ノ心理ハ多少御考ヘトハ違ツテ來テ居ルノデハナイカト私自身ハ感得致シテ居リマス、私自身ト致シマシテハ、マダサウ數多クノ地方官ニハ會ツテ居リマセヌケレドモ、自然上京シテ參リマシ長官、部長等相當數ニ上リマス、私知事ニ會ヒマスル時ニハ、先ヅ開口一番食糧問題ノコトヲ聽クコトヲ常例ト致シテ居リマス、ソレカラ農林省ヘ參ツタカト云フコトモ必ズ聽クヤウニ致シテ居リマス、食糧増産ノコトガ解決出來マシレバ、私共ノ警察ノ一番大事ナ治安ノ問題デモ自ラ解決アルト私ハ考ヘテ居リマスカラ、御質問ニ對シテ唯オ座ナリノ答辯スル意味デナク、今日マデ二箇月ノ間私ハ左様ニ致シテ參ツテ居ル次第デアリマス、尙ホ食糧増産ガ出來タカ出來ヌカ、ソレニ對スル地方長官ノ能力又ハ熱意ト云フモノハ地方官又ハ地方廳ノ成績ヲ量ル標準ニナルト云フ御考ヘモ多クノ府縣ニ付キマシテハ或ハ左様カトモ考ヘテ居リマス、御承知ノヤウニ地方ニ依ツテ事情ヲ異ニシテ居リマスカラ、五重點産業ト特ニ密接ナ關係ノアル地方モアリマスカラ、一概ニハ申兼ネルトハ思ヒマス

レドモ、御意見ノヤウナ傾キモ十分アルト考ヘテ居リマス、大體左様ナ考ヘテ持ツテ食糧問題ニ付キマシテハ内務省直接ノ關係デハアリマセヌケレドモ、延イテ治安ノ問題ト相成リマスカラ、此ノ問題ニ付テノ内務省ノ熱意ハ恐ラク内務大臣ニ於テモ同様ト考ヘテ居リマスガ、及バズナガラ私共ノ省デ及ビマコトハ、全力ヲ擧ゲテ農林省ト協力シテ邁進シタイト考ヘテ居リマス

○森口委員 大體次官ノ答辯ヲ承リマシテ、私満足スルモノデアリマス、是ハ只今ノ答辯デ私分ツタノデアリマスガ、一ツウント迫力ヲ掛ケテ——オ座ナリノコトデアツタナラ駄目デス、此ノ點デ能力試驗ヲスルト云フコトマデ聲明シテ、一ツ鞭撻シテ戴キタイ、斯ウスレバ實際ノ問題トシテ地方長官ニ責任ヲ持ツテ任セレバ、地方長官ハ全力ヲ擧ゲテ立派ニヤツテ行キマス、サウ云フコトヲ言ハナクテモ今日ヤツテ居ル立派ナ地方長官モアリマス、私ハ今年ノ秋ノ甘藷ノ穫上ゲニ付テモ、立派ナ成績ノ縣ガ出來ルト思ヒマス、此ノ點内務省トシテ密接ナ關係ヲ持ツテ居ルコトハ今御説ノ通りデアリマス、ドウカ一ツ大臣ト協力セラレマシテ十分ニ左様ナ方法ヲ講ゼラレンコトヲ切ニ希望申上ゲマス、是デ内務當局ニ對スル私ノ質問ハ終リマシタ

農林大臣ガ御見エニナツテ居リマスカラ、一、農林大臣ニ希望シテ所見ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、食糧事情ガ急迫シテ居ル現段階ニ於キマシテ、ドウモ昨日モ今日モ政府當局者ノ説明ヲ承ツタノデアリマスガ、之ヲ以テ日本ノ食糧事情、共榮圈内ノ食糧事情ガ解決出來ルト云フ確信ヲ持チ得ナイト云フコトヲ私ハ最モ遺憾トスルノデアリマス、先程ノ代議士會デモサウ云フ意見ガ盛ンニ出テ居リマシタ、是ハ過去ノ農林行政ニ於テアレダケノ増産豫算ヲ使ツテ、隨分各種ノ會合ヲ催シ、或ハ翼賛政治會デモヤツテ居ル、或ハ衆議院デモヤツテ居ル、或ハ各色々々會議ニ會議ヲ重ネテ決議ヲシ或ハ法令ノ發布ヲシ、皆相當深イ心配ヲシテ居ルノデアリマスケレドモ、遺憾ナガラ増産ノ結果ハ得ラレナクテ、減産ノ結果ガ出ルト云フコトハ現實ノ事實デアルト私ハ思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ斯ウ云フ風ニ莫大ナ金ヲ使ツテ屢、會議ヲシテ居ルケレドモ、ドウシテモ増産ガ出來ナイ、増産ニナラナケレバナラナイノニ、戰爭ダカラ斯ウ云フ惡條件ダカラ増産ガ出來スト云フコトデアルアラバ、是ハ既ニ戰爭ニ勝ツコトガ出來スト云フコトヲ表明シテ居ルモノデアル、今マデドウ云フ譯デ是ガ増産ガ出來ナイカト云フコトヲ私考ヘテ見タノデアリマスガ、實際ニ増産ノ指導ニ當ツテ見マスト、ドウモ農林省ノ考ヘテ居ルコト、相談シタリ決議ヲシタコトガ農民ニ徹底シテ居ナイ、所謂上意ガ下達シテ居ラナイト云フ所ニ何等ノ感激モ持ツコトガ出來ナイ今日ノ農民ノ姿ガアル、私端的ニ申上ゲマスト、ドウモ農林省ノ系統機關ト云フモノハ神經ガ麻痺シテ居ルノデハナイカト云フ風ニ感じラレル、斯ウ云フコトデアツテハ上意ガ下達出來ナイ、農民ニ感激ヲ持タセルトコトガ出來ナイト云フコトニ於テ色々ノコトガ實施ガ出來ナイ、如何ニ澤山ノ會議、如何ニ多クノ費用ヲ使ツテモ、農民ガ之ヲ實施セザル以上ハ一粒ノ米モ稔ラナイ、一貫匁ノ甘藷ダツテ穫レルモノデヤナイ、是ハ眞理ダト私ハ思ツテ居リマス、ソレデア

リマスカラ、殊ニ上意ヲ下達スルト云フ意  
味カラ、私ハ新農林大臣ノ手腕ニ絶大ナル  
期待ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フコトニ對シテ農  
林大臣ニハ非常ニ私ハ御苦勞ガアルト思ヒ  
マス、此ノ點ニ付キマシテハ活潑  
ナル立替ヘヲシテ戴キタイ、是ハ私ノ希望  
デゴザイマス、申上ゲテ置ク譯デアリ  
マス、ソレデ何トシテモ増産スルニハ手  
取早ク獲レバ宜イ、手取早ク獲ルト云フコ  
トサヘヤレバ各種ノ問題ハ解決スル、ソレ  
デ獲ルト云フコトハ何トシテモ増産意欲ノ  
昂揚デアル、増産意欲ノ昂揚ト云フコトニ  
付テドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルカ、之ヲ私  
ハ伺ヒタイノデアリマス

其ノ次ニハ民間技術ノ活用、各種ノ民間  
技術ガアリマスコトハ既ニ御承知ノ通りデ  
アリマス、今日マデノ民間技術ノ採入レ方  
ハ本當ニ申譯のナ採入レ方ダト思フ、モツ  
ト活潑ニ新大臣ハ民間技術ヲ注視シテ之ヲ  
活用シテ戴キタイ、サウスレバ日本ノ食糧  
問題ハ解決出來ルト私ハ考ヘテ居ル次第デ  
アリマス、例ヘバ甘藷ニ於キマシテハ丸山  
式トカ、米ニ於キマシテハ高瀬式トカ、田  
中式トカ、麥ニ於テハ伊藤式トカ、色々各  
種ノ民間技術ガアル、斯ウ云フヤウナ良イ  
技術ヲグン／＼採入レテヤルト云フ御考ヘ  
ガアルコトハ豫テ新聞紙上ニ農林大臣ハ其  
ノ意見ヲ發表シテ居ラレルガ、從來ノヤウ  
ナ姑息のナ考ヘ方、申譯のナヤリ方ダツタ  
ラ效果ハナイ、當面是等ノ問題ニ付キマシ  
テ新技術ノ採用、是ガ普及徹底ト云フコト  
ニ關シマシテ農林大臣ノ御考ヘヲ承リタイ  
ノデゴザイマス

○山崎國務大臣 食糧増産ノ問題ガ今回提  
案致シマシタ應急對策ダケ間ニ合ハスト

云フコトハモウ當然ノコトデアリマシテ、  
先刻來段々政府委員ヨリモ説明ヲ申述ベマ  
シタヤウニ、今回ノ應急對策ハ本年超ツタ  
米ノ供給ノ狂ヒニ對スル一ツノ應急ノ措置  
デアリマス、無論進シテ全體の國內ノ自  
給態勢ヲ確立セナケレバナラス譯デアリマ  
ス、之ニ付キマシテハ及バズナガラ色々只  
今頭ノ中ニハ描イテ居ルコトモ多々アリマ  
スガ、何分ニモマダ時日ガナカツタ爲ニ今  
回ハ應急ノ施策ダケニ止メタ譯デアリマ  
ス、續イテ必ズ此ノ問題ニ付キマシテハ相  
當ナ施設ヲ實行致ス考ヘデアリマス、ソレ  
カラ森口サンノ御言葉ノ中ニ、是マデ各方  
面デヤレ會議ヲシ、ヤレ案ヲ作り、色々ヤ  
テ居ルガ、ドウモ效能ガナイ、是ハマア森口君  
ノヤウナ非常ナ御熱心ナ方カラ御覽ニナレ  
バサモアラウカト存ジマスガ、併シ申スマ  
デモナイコトデアリマスガ、何ト云ツテモ  
農業ノコトハ、アナタノ御言葉ニモアリマ  
シタヤウニ最後ハ一人々々ノ農民ノ方ガ手  
ヲ動かシテ貰ハナケレバ實ハイカヌノデア  
ル、他ノ或ハ石炭デアルトカ、鐵ト云フヤウ  
ナ——是モ難カシイコトデアリマス、ケレド  
モ、是ハ先ヅ大企業ヲ相手ニ多クノ問題ハ  
捌キガ付クト思フ、農業ノコトハ何ト云ツ  
テモ五百万人個々ガ動イテ來ナケレバ實際  
ノ效果ヲ收メルコトガ出來ナイノデ、ソコニ  
非常ニ政府ノ施設ニ致シマシテモ、或ハ公  
共團體等ノ御施設ニ致シマシテモ、實際ソ  
レガ隅々マデ滲透シテ效果ヲ收メルマデニ  
ハヤハリ相當ノ時ヲ要スル、又ソコニ農村  
ヲ指導サレル方々ノ御苦心モアル譯デアリ  
マシテ、其ノ點ハ熱心ナ眼カラ御覽ニナルト、  
如何ニモモドカシイヤウナ御感ジモアラウ  
カト思ヒマスガ、ソコニ又農村ノ問題ノ特

異性ガアルト云フコトハ申上ゲルマデモナ  
イコトデアリマス、隨テ食糧増産ト云フヤ  
ウナ問題ヲ——是ハ私ヨク口癖ニ言ツテ居  
ルコトデアリマスガ、之ヲ唯華ヤカニ一手  
ニ手デ解決シヨウト思フコトソレ自體ガ間  
違ヒデアル、是ハモウ平凡ナコト、詰ラス  
ト思ハレルヤウナ凡ユルコトヲ擧集メテ、  
荷クモ手ヲ餘サヌ、平凡デアツテモ、言觸  
ラサレテ居ルコトデアツテモ、荷クモ生産  
ノ上ニ效果アルコトハ、何デモヤツテ行ク  
ト云フ考ヘ方デナケレバ、逆モ一ツヤ二ツ  
ノ政策デ急ニ目ガ覺メタヤウニ變化ヲ齎ラ  
スト云ツタヤウナ考ヘ方ハ、是ハ私ハ食糧  
生産或ハ農村ノ問題ニ付テハ寧ろ避クベキ  
考ヘ方デハナイカト思フ位ニ思ツテ居ル譯  
ナノデアリマス、ソコデ色々、先程内務  
省ニ御注意ガアリ、又農林省ニ對シテ御  
希望モアリマシタヤウナ點ニ付キマシテ更  
ニ大イニ考ヘモシ、又出直シモシテ行カ  
ケレバナラスコトハ私モ相當認メテ居ルノ  
デアリマス、殊ニ民間ノ技術ヲ出來ルダケ  
活用スルト云フコトハ特ニ一ツ力ヲ入レテ  
參リタイ、斯ウ考ヘマシテ取敢ズ甘藷ニ付  
キマシテハ御承知ノ有名ナ篤農ノ先輩ヲ農  
林省ノ組織ノ中ニ御參加ヲ願フト云フヤウ  
ナ方法モ執ツタ譯デアリマシテ、其ノ他只  
今森口君ノ御言葉ニモアリマシタガ、或ハ  
麥ノ改良ト云ツタヤウナコトニ付テ相當良  
イ結果ヲ收メテ居ラレマス技術ハ、是ハ出  
來ルダケ普及スルヤウナ工合ニ考ヘテ參リ  
タイ、其ノ爲ニ今回ハ若干ノ豫算モ實ハ計  
上致シタヤウナ譯デアリマス、左様ナ點ニ  
付キマシテハ出來ルダケノ努力ヲ拂ツテ參  
ル積リデアリマスカラ、ドウゾ御氣付キノ  
點等ガアリマスレバ何事モ一ツ御話ヲ願フ

コトニ致シタイト思ヒマス  
○森口委員 非常ニ適切ナ御答辯ヲ戴キマ  
シテ有難クゴザイマシタ、國民ノ一人々々  
ノ手ヲ實際ニ動かスト云フ大臣ノ御意見ハ  
實ニ私モ御同感デアリマス、併シ實際ニ人  
ガ動かマデ待ツテ居ルト云フコトデアツタ  
ナラバ、是ハ當面ノ急場ヲ救フト云フコト  
ハ私ハ出來ナイト思フ、ソレデ急速ニ之ヲ  
末端マデ多勢ノ人ヲ動かス、斯ウ云フ行キ  
方ハ此ノ際政府ニ於テ考ヘテレナケレバナ  
ラス、是ハ大臣モ考ヘテ居ルト思ヒマスガ、  
ドウシテモ此ノ國民運動ノ問題ヲ全面的ニ  
活用シテ行クト云フ面ヲ至急講ゼラレルヤ  
ウニ御願ヒ致シタイト思ヒマス、是ハ大臣  
ノ御答辯ヲ伺ハナクテモ御同感ノコト私  
ハ思ヒマス  
ソレカラ新技術ノ普及ト云フコトニ關聯  
致シマシテ、ドウモ民間團體ノ技術ハ舊來  
ノ所謂農業技術者ト云フ方面カラ相當排撃  
ヲサレ、且又是ガ妨害ヲ受ケテ居ルト云フ  
事實ハ中央地方通ジテ全面的ニアル、所  
ガサウ云フ人ハ今日ノ食糧増産ノ面ニ於テ  
自信ヲ以テ徹底シテ居ルカト云ヘバ、サウ  
デモナイラシイ、ソレデ此ノ際サウ云フ技  
術面ガ、假令一俵デモ餘計獲ラナケレバナ  
ラスト云フ切迫シテ居ル現時ノ狀況ニ於テ  
サウ云フモノヲ妨害スル、サウ云フ者ハ私  
ハ全ク日本人デナイト思フ、色々ナ理窟モ  
アリマセウケレドモ、サウ云フ現實ト云フ  
モノハモウ理窟ヲ超越シタ何ヨリモ強イモ  
ノスデアリマスカラ、斯ウ云フ方面ニ對ス  
ル所ノ指導ハ餘程大臣ハシツカリシデ——  
尤モ現大臣ハシツカリシテ居ルカラ心配ハ  
ナイデアリマセウケレドモ、兎角サウ云フ  
實例ガ從來屢アルノデアリマスカラ、此ノ

方面ニ對シテ大臣ハ本當ニ肚ヲ据ヘテヤツテ戴クコトヲ私ハ御願ヒ申上ゲマス

尙ホ先程地方長官ニ關スルコトヲ內務當局ニ御願ヒ申上ゲタノデアリマスガ、今回出來マス所ノ農業會ノ會長ト云フモノニ對スル所ノ選任ハ、少クトモ私ガ先程申上ゲタヤウナ條件ヲ地方長官ニ附シテ此ノ現下ノ食糧ヲ陣頭指揮ヲ以テ本當ニ專念シテ、此ノ國家ノ要請ニ應ヘ得ルト云フ實力アル者ヲ据ヘテ戴クコト云フコトニ付キマシテハ深甚ナル御考慮ヲ願ヒタイ、無論斯ウ云フコトニ付テ答辯ナドヲ求メル必要ハアリマセスガ、兎角從來勢力均衡ノ「バランス」ノ上ニ立ツタ農業會長デアルトカ、或ハ利益代表的ナ意味ヲ以テ立ツテ居ルト云フヤウナコトデ、此ノ國家要請ニ對スル所ノ本當ノ熱意ト實踐力ヲ有セザルヤウナ者ヲ据ヘテ置キマスレバ、百害アツテ一利ナキ結果ヲ招クト云フコトヲ私ハ心配スルノデゴザイマス、是等ノ點ニ對シマシテハ、無論賈明ナル大臣ニ於カレテハ御如才ナイコトト思ヒマスガ、特ニ此ノ點ニ付テハ深甚ナル御考慮ヲ御願ヒシテ私ノ質問ヲ打切りマス

○高橋委員長 村上サン、今度ハアナタニヤツテ戴キタイト思ヒマスガ、商工大臣非常ニ御急ギノヤウデアリマスカラ、商工大臣ニ關スル質疑ヲ先ニオヤリ願ヒタイト思ヒマス 村上君

○村上委員 私ノ御尋ネセントスルコトハ至ツテ簡單ナ事柄ノミデアリマスガ、商工大臣ニ關係ノアル肥料及ビ農機具ノコトニ付テ先ヅ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、是ハ農林省所管ニ屬スルコトデスガ、先ヅ順序トシテ之ヲ御尋ネシテ置キマス、自給肥料ノ増産、是ハ十七年度ノ實績ハドウナツテ

居リマスカ、ソレカラソレト睨ミ合セテ有機質肥料ノ配給ハ今年ノ計畫量ハドウナツテ居ルカ、更ニソレガ前年ニ較ベテドウ云フ増減ヲ來スモノデアルカ、竝ニ此ノ有機質肥料ノ今後ノ見透シ、之ヲ御尋ネシテ置キタイト思ヒマス、此ノ自給肥料ノ増産ハ第八十一議會ノ際ニモ私御尋ネ致シマシテ、資料ノ提出ヲ求メタノデス、所ガ、御提出ニハナリマシタケレドモ、アレニ依ツテ得ル所ハ何モノモナイ、ノミナラズアレハ十五年マデノモノデ、今日ノ實勢ヲ觀察スル上ニ於テハ役ニ立タナカツタコトヲ甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマス、ソコデ十七年ノハドウ云フ實績ニナツテ居ルカラ承知致シタイノデアリマス

○石黒政府委員 十七年度ニ於ケル自給肥料ノ實績ハ、今實ハハツキリ致シテ居リマセヌノデ、十六年度ノ御差支ヘナケレバ、ソレデ御推察ヲ戴キタイト思フノデアリマス、十六年度ニ於キマス自給肥料ハ、數量ニ致シマシテ、私共只今手許ニ持ツテ居ル所ニ依リマス、堆肥四千五百十五萬一千「トン」、綠肥六百八十六萬一千餘「トン」、人糞尿一千六百七十三萬七千餘「トン」、其ノ他デアリマシテ、其ノ間ニ於キマシテ昭和十三年頃ノ事情ト比較シテ見マス、堆肥ニ於キマシテハ六百餘萬「トン」、綠肥ニ於キマシテハ八十餘萬「トン」、人糞尿ニ於キマシテハ十八萬餘「トン」ト云フヤウナ風ニ、御承知ノヤウニ販賣肥料ノ著シキ減退ニ關聯致シマシテ斯様ニ増加ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、一應之ヲ御答ヘ申シテ置キマス

○村上委員 有機質肥料ノ方ヲ昨年ニ比ベテノデ宜シウゴザイマスガ……

○石黒政府委員 有機質肥料ハ御承知ノヤウニ色々ナ肥料ガアリマスノデ、一應大豆油粕ニ總テヲ換算シテ計算致シテ見マス、十七年度ニ於キマシテ四十六萬四千餘「トン」ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ吾々ハ御承知ノヤウニ、昭和十三年ヲ大體肥料ガ普通ニ入ツタモノト云フ風ニシテ、ズツト之ヲ基準ニシテ考ヘテ居リマス、其ノ當時ノ有機質肥料ハ大豆油粕ニ換算致シマシテハ百七十萬「トン」位デゴザイマシタ、ソレト比較致シテ見マスルト御覽ノ通りデアリマシテ、是ハ非常ニ減少ノ度合デアリマス、詰リ百二十萬「トン」餘リノ減退ヲ來シテ居ル、斯ウ云フコトニナリマス

○村上委員 只今伺ツタ自給肥料ノ問題、有機質肥料、是ハ御尋ネセントスル肥料問題ニ關シテノ前提デアツタノデス、此ノ御答辯デモ明カナラガ如クニ、無機質肥料供給ガ段々ニ減少シテ、一方ニハ次々ニ食糧ノ増産ニ努力ヲシナケレバナラス、増産スルニ付テ肥料ガ多ク要ルト云フコトハ論ズルマデモアリマセヌ、サウシタ時ニ其ノ肥料ノ、有機質肥料ノ如キ著シキ減少ヲ見マシテ、今年ハ昨年ニ比ベテ餘程少クナツテ居ル筈デアリマス、其ノ肥料ノ供給ノ減少ヲ自給肥料ヲ補ハセタイト云フノガ政府ニ於テ御考ヘデアル筈デアリ、又吾々モ左様ニ念ズル次第デアルガ、其ノ自給肥料ノ増産ハ若干ノヲ認メ得ラレケレドモ、ソレハ極ク僅カナ程度ニ止マリマシテ、到底一方販賣肥料ノ供給ノ減少ヲ補フニ足リナイコトハ著シイノデアリマス、斯ウシタ實情デアルガ故ニ、茲ニ其ノ無機質肥料ノ供給ヲ少シデモ多クシテ、今日ノ事情ニ對應スル計畫デナクテハナラス、是ハ政府ニ於テ

モ同ジ御考ヘデアル筈ト私ハ信ジテ居リマス、併シ實際ノ問題ニナツテ來ルト、此ノ製造肥料ノ供給モ次第ニ減少スル傾向ヲ持ツテ居ル、最近聞ク所ニ依レバ、來肥料年度ノ供給ハ、此ノ無機質肥料ニ付テ今年ヨリモ更ニ減少スルデアラウ、斯ウ云フコトデアリマス、一方ニハ段々増産ヲセヌケレバナラス、一方ニハ其ノ作物ノ食糧デアル所ノ肥料ハ段々ニ減ツテ行ク、ドウシテ此ノ辻褄ヲ合ハセテ行クノカ、凡ソ食糧増産ノ問題ニ專念スル者ト致シマシテハ、是ガ非常ニ大キナ惱ミトナラザラ得ナイノデス、ソコデ然ラバ此ノ無機質肥料ノ如キ、此ノ製造能力ヲ向上サシテ、増産ヲ圖ルト云フコトハ、現狀ニ於テハ不可能ナノカドウカ、勿論是ハ著シク物動計畫ニ依ツテ制約サレルコトハ承知致シテ居リマス、併シ如何ニ物動計畫ニ於テ制約サレルト申シマシテモ、ソコニハ又運營ノ途ガナクテハナラス、是デ抑ヘラレラカドウシテモ増産スルコトガ出來ヌト云フガ如キ無能デアツテハナリマセヌ、又此ノ製造肥料ノ増産ニ付テ、此ノ業ニ從事シテ居ル人達ノ色々ノ實際上ノ意見モ機會アル毎ニ能ク聽イテ居ルノデアリマスガ、第一ニ補修材料ガナイ、凡ソ必要量ノ十分ノ一程度ニシカ要求セラレナイ、隨テ今日マデハ相當長イ間全能力ヲ發揮シ來ツタ機械ヲ、完全ニ補修シテ其ノ製造能力ヲ回復シタク思ツテモ、ソレガドウニモ左様ニ參ラナイノデアルト云フコトデアリマスガ、ドウモソレ程澤山ニ補修材料ト云フモノハ要ルモノデモナカラウカト思フガ、ソレニ依ツテ減産ヲ防止シ、之ヲ回復スルコトガ出來ルト云フナラバ、更ニ進ンデ増産ニ向ケルコトガ出來ルト云フナラバ、ソ

レ程大シタモノデモナカラウト思ハレル補修材料ノ如キハ、相當ノ程度ニ之ヲ増配シテ、完全ニ其ノ能力ヲ發揮サセルコトニナサレルコトモ亦一ツノ方法デハナイカ、斯様ニ考ヘル次第デアリマス、ソレカラ又製造資材ノ供給ガモウ少シ政府ニ於テ工夫サレルナラバ、更ニ増産ノ餘地ガアルト云フコトヲ、是モ私達ハ業者カラ聽イテ居ルノデス、直接關係ノナイ私等ガ其ノ當否ヲ判斷スル能力ハ持チマセヌケレドモ、其ノ言フ所ニ依レバ、例ヘバ硫化礦ノ點ニ於テ政府ガ少シク考ヘテ付ケテ呉レラレルナラバ、朝鮮ノ硫安工場ニ於テ六萬「トン」ヤ七萬「トン」位ハ確カニ増産シ得ル餘地ガアルノダ、設備ハアル、動力ハアル、唯其ノ十分ナラザルモノハ硫化礦デアルト云フコトデアリマスガ、果シテソレガ事實デアルト致シマスナラバ、斯ウ云フモノハ、其ノ必要量ダケハ供給シテヤツテ、力一杯、其ノ設備ト動力ノアル限リヲ發揮サセルト云フコトニ依ツテ、肥料ノ供給ヲ少シデモ多クナシ得ルヤウニ一應考ヘタナラバドシナモノデアラウカ、更ニ工場ノ能率ヲ増進化スルコトニ依ツテ——是ハ或ハ補助金ガ出タリシテ居リマスガ、總テノ工場ガ同ジ製造能力ヲ持ツテ居ル譯デハナイ、古イノモアレバ新シイノモアリ、完全ナノモアレバ稍、不完全ナノモアルト云ツタヤウナコトカラシテ、其ノ工場ノ一ツノニ付テ十分ニ其ノ能力ヲ發揮サセル方法ヲ講ズルコトニ依ツテ相當ニ増産シ得ル途ハアル、斯様ニ聞イテ居ルノデアリマシテ、是モ恐ラク事實デアラウト考ヘラレル、果シテ左様ナル途ガアルナラバ、此ノ補修資材ノ配給ヲ多クスルコト、或ハ若干製造資材ノ配

給ヲ増シテ増産ヲ圖ル、更ニ又工場能率ノ増進ヲ圖ルコトニ依ツテ企業全體ノ増産ヲ期スル、斯ウ云フ途ヲ御考ヘ願ヒタイモノデアリ、又其ノ必要ガアルト思フ、而モ事ハ多クハドウモ是ハ商工省ノ所管ニ屬スルト云フコトカラ、何トカ是ハ一ツ商工大臣ニ於テ、能ク總理大臣ノ言ハレル陣頭指揮ノ意味ニ於テ出來ルダケノモノヲ増産サセルベク心配シテ見ヨウト云フ氣持デ進シデ戴ケナイモノカドウカ、此ノ希望ヲ以テ此ノ點ヲ御尋ネスル次第デアリマス

○岸國務大臣 先程カラ肥料ノ點ニ關シテ、此ノ食糧増産ヲ緊急トシテ居ル事態ニ於テ食糧増産上最モ必要ナル肥料ガ各方面カラ非常ニ窮屈ニナツテ居ル、而モ國家ノ要請ニ從ツテ増産ハ緊急事トシテ、營々トシテ其ノ増産ニ挺身サレテ居ル農民ノ立場カラ考ヘテ、肥料ノ増産増配ト云フモノヲ考ヘテ行ク必要ガアルト云フ點ニ關スル御質問ノ御趣旨ニ對シマシテハ、私ハ眞ニ御同感デアリ、全ク敬意ヲ以テ拜聽シテ居ツタデアリマス、私モ微力デハアリマスガ、此ノ問題ニ關シマシテハ、從來トモ相當ニ努力ヲ致シテ參ツテ居ルノデアリマス、此ノ前ノ議會ノ時ニモ、健力硫安ノ問題ニ關シマシテ、又石灰窒素ノ問題、併セテ石灰ノ配給問題ニ付テ、一應物動決ツテ居ルモノヲ、更ニ之ヲ殖ヤスト云フ事ニ關シマシテ相當ナル努力ヲ致シマシテ、當時ノ農林大臣モ非常ニ熱心ニ之ヲ主張サレマシテ、事務的ニハ相當無理ナ狀況デアツタノデアリマスガ、之ヲ一部肥料ノ増産ノ爲ニ處置シテ參ツタノデアリマス、而シテ今御話ノ如ク、サウ云フコトヲシテ參ツテモ居リマシテ、私自身モ此ノ點ニ付テハ決シ

テ輕々ニ看過シテ居ルトカ、或ハ餘所ノコトデアルカラシテ熱意ヲ持タナイト云フヤウナ考ヘデハナクシテ、全ク重大ナ問題トシテ之ヲ今マデ取扱ツテ來テ居リマス、又今後モヤツテ行カナケレバナラヌト思ツテ居リマスガ、御話ノ通り問題ハマア色々ノ點ニアルト思ヒマスノデ、御指摘ニナリマシタ點ハ何レモ尤モナ點デアツテ、補修資材ノ問題、是モ私共ハ相當聞イテ居リマス

ソレカラ原料ノ問題、是ハ石灰ト硫化鐵ノ問題ガ一番デアラウト思ヒマス、海外カラノ燐礦石等ノ問題ニナリマス、是ハ現在ノ狀況カラ困難デアリ、加里肥料等ノ問題ニ付キマシテモ中々旨ク行カナイト思ヒマスガ、兎ニ角窒素肥料等ニ付キマシテハ、石灰ト硫化鐵ノ問題ガ一番デアルト思ヒマス、是等ニ付キマシテハ、尙ホ具體的ニ十分檢討致シマシテ、出來ル限リノコトハシテ行キタイト思ヒマス、此ノ點ニ關シテ今御話モアリマシタガ、私一ツノ考ヘカラ言フト、今日ノ工場ノ操業ノ狀況ニ付キマシテハ、私別ノ委員會ニ於テ、今回ノ企業整備ノ問題ニ付テモ意見ヲ申述ヘテ居ルノデアリマスガ、必ズシモ從來ノヤウナ考ヘカラ見ル譯ニハ行カナイ點ガアルノデハナイカ、ソレハ立地ト云フコトガ新シイ意味ニ於テ非常ニ問題ニナル、特ニ石灰ナシカニ付キマシテ考ヘテ見マス、實ハ全然差上ゲル石灰ガナイ譯デハナイノデアリマシテ、問題ハ輸送ガ出來ルカ出來ナイカト云フコトデアツテ、若シモ其ノ工場ガ北海道ニ在ツテ戴イタラ斯ウシタ難儀ハ吾々シナクテモ濟ンダデアラウト思フヤウナ事態モアルノデアリマス、ソレガ偶々相當ノ海上輸送ヲシナケレバナラヌヤウナ東京附近ニアル工

場デアアル爲ニ非常ニ困難スルト云フヤウナ點モアリマシテ、尙ホ肥料工場ニ於キマシテモ石灰ノ產地ニアル工場ガアリマスノデ、是等ノモノニ對シテハ十二分ニソコヲ活用シテ或ハ其ノ結果トシテ、比較的輸送ノ工合ノ悪い所ハ幾ラカ休ンデモ、輸送ノ立場ノ宜イ所ノ工場デウシト能率ヲ上ゲテ生産ノ問題ヲ考ヘナケレバナラヌ、或ハ設備等ノ關係デ「コスト」ガナントカ云フ問題ニナリマス、ソレガ安イトカ安クナイト云フ問題モアリマセウガ、ソレハ別個ノ方法デ考ヘテ行ツタラ宜イト思フ、此ノ輸送力ノ問題ヲ考ヘテ、而モ生産ヲ上ゲルニハ、産業ヲ増強サセルニハドウ云フヤウニ考ヘテ行クカト云フ問題ヲ特ニ考ヘテ見タイト思ヒマス

ソレカラ補修資材ノ配給ノ問題ニ對シマシテモ、是ハ大シタ數量デハナイカラ、何トカ出來サウナモノダト云フ御考ヘモ御尤モデアリマスガ、實際ノ物動ノ現實ヲ申シマスルト、中々サウデハナイノデアリマス、其ノ一ツノ例ヲ申シマス、石灰資材、是ハ肥料ニモ製鐵ニモ必要ナモノデアリマスガ、石灰ノ狀況ヲ見マスルト、鑛山ニ要求スルモノニ對シテ物動トシテ認メルノハ其ノ三分ノ一位シカ認メラレテ居ナノデアリマス、其ノ位ニ査定サレルノデアリマスガ、而モ現實ニ入ツテ居ルノハ昨年ノ如キ相當努力シテ割當量ノ三〇%カ三五%シカ入ツテ居ナイト云フ狀況デ、鑛山ニ行ツテ見マスルト「ワイヤロープ」ガナイ爲ニ能率ヲ上ゲルコトガ出來ナイ、セメテ是ダケノ補修資材ガアツタラ斯ウナルノダト云フ事柄ヲ私共見テ何トカシタイト思フノデスガ、中々ソレガ事實上行キ得ナイヤウナ事情モ

アリマシテ、補修材料ノ問題ハ全産業ニ向  
ツテ相當ナ困難ガアルノデアリマス、唯併  
シ之ニ付キマシテモ生産業者等ニ於テ相當  
ナ創意工夫ヲ働カシテ——斯ウ云フ狀況ニ  
アルノダカラ是ダケノ、僅カ百「トシ」位ノ  
モノダカラ、與レサウナモノダト云フ考ヘ方、  
是モ一應實情ヲ能ク知ラナイト御尤モデア  
リマスガ、此ノ百「トシ」ガ中々事實カラ云  
フト辛イ狀況ニアルコトモ認識サレテ、何  
トカアリ合セノモノデ間ニ合ハストカ、或  
ハ他ノ工場ノ比較的暇ナ所ト一ツ話合ヒラ  
スル、是ハ企業整備ノ問題トモ關聯シテ、  
肥料ノ全體ノ生産力ヲ上ゲル上ノ資材ノ轉  
用トカ、利用、活用ト云フコトモ併セテ考  
慮シテ行ツテ、何トカ御話ノ通り此ノ重大  
ナ時機ニ於ケル食糧増産ノ基礎ヲナス所ノ  
肥料ニ付キマシテハ、私共凡ユル努力ヲ傾  
ケテ參リタイ、隨テ生産業者モ或ハ之ニ  
關聯スル農林省ト言ハズ、商工省ト言ハズ、  
一ツ色々ナ點ヲ智慧ヲ持チ寄ツテ、此ノ困  
難ヲ打開シタイ、普通ノ時ナラ、平時的ニ考  
ヘルト、是ダケノ原料ガ來レバ斯ウナル、此  
ノ原料ダケ與レロトナツテ簡單デアリマス  
ガ、其ノ爲ニハ今云フ通り、企業間ノ實際ノ  
動カシ方ニ付テモ都合シヨウシ設備能力ノ  
利用、補修資材モ出來ルダケ吾々ノ方デモ  
捻出スルコトヲ考ヘ、同時ニ業者ノ方面デモ  
創意工夫ヲ働カシテナントカ此ノ急ニ應ジ  
テ行クト云フ點等ニ關シマシテ、私共モ出  
來ルダケ努力ヲ致ス積リデアリマス、又業界  
モ更ニ一ツ創意工夫ヲ働カシテ戴キタイ、  
斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○村上委員 肥料ノ増産ニ關シテ商工大臣  
カラ至ツテ懇切ナ、又熱意ノ籠ツタ御考ヘ  
ヲ承ルコトガ出來テ甚ダ仕合セデアリマス、

八十一議會ノ際ニ正ニ減産ニナラントスル  
製造肥料ヲ非常ナ御努力ニ依ツテ防止シテ  
戴イタト云フコトニ付テハ、最初ニ敬意ヲ  
拂フベキデアリマシタケレドモツイ失禮ヲ  
致シマシタ、是カラ後ガ又極メテ大切デア  
ルノデアリマスカラ、今承リマシタガ如キ  
御考ヘヲ努メテ速カニ事實ノ上ニ具現サレ  
ルヤウニ、此ノ上ノ御配慮ト御努力ヲ希望  
致シマス

次ニハ農機具ノコトニ付テ簡單ニ御尋ネ  
シテ見タイト思ヒマス、ドウモ此ノ問題ハ  
能ク聞クコトデハアルガ、又實際サウシタ  
狀態ニナツテ居ルコトハ——狀態ト云フノ  
ハ農具ノ供給ガ甚ダ不足スル、又供給ガ非  
常ニ遅レテ時期ニ間ニ合ハナイデ困ル、使  
ツテ見ルト早ク傷ンデ始末ガ惡クテ困ルト  
申シタヤウナコトデス、サウシタヤウナ狀  
況デアアルコトハ承知シテ居リマシタガ、私  
最近ニ至ルマデ是程ニ深刻ニナツテ居ルト  
云フコトニハ實ハ想ヒ到ラナカッタノデ  
ス、段々其ノ狀況ヲ承リ、承知ヲ致シ、サ  
ウシテ其ノ原因ノ由ツテ存スル所ヲ研究致  
シテ見ルト、成程是デハイカス、是ハ餘程  
政府ニ於テ御考ヘニナラナケレバ迎モ行ク  
モノデヤナイゾト云フ感ジヲ深クスルコト  
ニナリマシタノデ、此ノ點ニ付テ御尋ネシ  
テ置キタイト思フ、農機具ノ問題ニ付テド  
ウ云フ事實ガアルダラウカト云フコトヲ極  
ク大體申シマス、是ハ之ヲ扱ツテ居ル方  
面カラ得タ所ノ資料デアリマスノデ、事實  
大ナル相違ハナイモノト思ヒマスガ、兎ニ  
角農機具ノ配給ガ實際ノ需要ニ對シテハ三  
分ノ一シカ割當テラレテ居ラナイ、是ダケ  
ヨリ配給割當ハナイ、是ガ事實デアリマス、  
其ノ三分ノ一ノ割當ニ對シテ、實際ノ生産

量ハ二分ノ一ダ、サウスルト是ハ實需ノ六  
分ノ一ニナツテシマフ、ソレカラ又出來タ  
モノガ實際ノ實需期マデニ配給サレルモノ  
ハ、其ノ出來タモノノ二分ノ一ダト云フカ  
ラ、ソレナラバ實際ノ實需期マデニ間ニ合  
ハシテ貰フモノガ、實需數ノ十二分ノ一ト  
云フ數字ニナツテ來ル、斯ウ云フヤウナ始  
末デアリマス、是ハ年々新タニ造ル所ノ農  
機具ノ話デアリマスガ、是ハ其ノ原因ガ何  
處ニアルカト言ヘバ、第一ハ何ト云フモ製造  
資材、殊ニ鐵鋼資材ノ配給ガ餘リニ少イカ  
ラデアリマス、此處ニ第一ノ原因ガアリマス  
第二ニハ農機具用ノ鐵鋼資材ノ如キハ、物  
動計畫ニ於ケル配給順位ガ第五位トデモ言  
フノデスカ、一番尻尾ノ方ニ置イテアル、サ  
ウ云フ次第デアツテ順位ガ甚ダ低イ上ニ、或  
ハ製造上ノ都合モアルノデアリマセウ、色々  
ノ事情モアルト見エテ、農機具ノ製造ノ  
如キハ又製造業者ニ於テモ資材ノ餘ツテ居  
ル時トカ、或ハ暇ノ時トカ、外ノ仕事ガ濟  
ムマデトカ、或ハ非常ニ催促サレタ時ニ造  
ルト云フコトニ必ズナルト云フノデハナイ  
ガ、サウ云フコトニナリ勝チダ、斯ウ云フ  
コトカラシテ此ノ製造高ガ非常ニ減ツテ來  
ルノダ、斯ウ云フ事實ヲ擧ゲテ誤リガナイ  
ヤウデス

ソレカラ斯ウナルト農林省ニモ亦問題ガ  
アル、農林省ノ方ニ於キマシテハ何ト云ヒ  
マスカ、需要計畫トデモ言ヒマセウカ、サ  
ウシタモノガ殆ドナイ、生産計畫ヤ配給計  
畫ト云ツタモノハアル、而モ其ノ生産計畫  
ナルモノハ、實際農家達ノ要求ニ基イテ是  
是ノモノガ必要ダト云フコトカラ作ル所ノ  
生産計畫デハナクテ、農林省獨自ノ生産計  
畫ト申シマスガ、今年ハ是位ハ要ルダラウ  
カラ是位ニシテ置カウト云フヤウナ實情ノ  
如何ト離レタ獨自ノ計畫案ガ立テラレルノ  
ダ、ソレカラ又配給計畫ニナルト、製造業  
者ニ製造ノ見込數量ダケ、鐵鋼ナラ鐵鋼ノ  
資材ノ配給量ガ決ツテ來ル、ソレニ基イテ  
凡ソ是位ハ造リマスと云ツタヤウナ見込數  
量ノ報告ガ出テ來ル、其ノ報告ニ基イテ之  
ヲ道府縣ニ割當テテソレノ製造サセルノ  
ダ、斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデアリ  
マス、ソコデ出來上ツタモノヲ實際配給シ  
テ見ルト、其ノ地方ノ土質トカ或ハ習慣ト  
スツカリ懸ケ離レテシマツタ役ニ立タナイ  
モノデ、何時マデモ産業組合ノ倉庫ニ轉ガ  
シテアルモノモ幾ラアルカ分リマセヌガ、  
若干ハ出來テ居ルト云フヤウニ聞イテ居リ  
マスガ、サウシタヤウナコトニナルト、折  
角出來タモノガ用ヲナサナイデ、或ハ使  
フニ致シマシテモ甚ダ不便ヲ忍ンデソレ  
ヲ使フト云ツタヤウナコトニナルト思ヒ  
マス、ソナコトノ出來ルノハ、是ハ需  
要計畫ト云フモノデモアツテ、ソレカラ  
出テ來ルノデナク、ソレト離レタ獨自の  
立案ニナツテ居ルカラサウ云フコトニナ  
ル、ソレカラ出來上ツテ來ルノガ非常ニ  
遅カツタリ、間ニ合ハナカッタリスルヤウ  
ナコトモ今年ハ是位出來ルト云フ見込ニ  
付テ報告ガアル、其ノ報告カラシテ府縣ニ割  
當テルト云フヤウナコトニナルカラ斯ウシ  
タヤウナ結果ニモナルノダ、斯ウ云フ風ニモ考  
ヘラレル、是ハ農林省ニ於テモ相當考ヘ方  
ヲ變ヘナサル必要ガアルノデハナイカ、斯  
ウ云フ實際ト懸ケ離レタモノデアツテハ相  
成ラスト云フコトモ考ヘラレル、ソレカラ  
製造資材ノ割當カラ製品ノ配給ニ至ルマデ  
ノ統制規則ナドニ依ル過程ヲ見マスルト、

ドウモ迎モ複雑ナモノデ、斯ウ複雑デハモウ途中ニ暇ガ掛ツテ、急速ナ役ニハ立タヌト云ツタヤウナコトモ考ヘラレルシ、其ノ中ニハ資材ノ横流レト云ツタヤウナコトモ出テ來ルダラウト思ハレル、旁、シテハ農林省ト商工省トノ間ニ「ピント」ノ合ハヌモノガ澤山ニアルカラ、ソレデ斯ウ云フ面倒ナ過程ヲ取ルコトニナリ、サウ云フ過程ヲ取ルカラ手數ガ掛リ、暇ガ掛ツテ、業者ニシテ見ルト洵ニ迷惑ヲセザルヲ得ナイ、數ガ少イ上ニソノ手間ガ掛ルト云フノデアリマスカラ、餘程此ノ點ニ付テハ農林商工兩省ノ間ニ——先ニ肥料ノ問題ニ付テ商工大臣ガ御話ナサレタ如クニ、モウドチラガ主管省、コチラガ主管省ト云ツタヤウナコトナシニ一體ニナツテ、何トカ之ヲ旨ク適切ナ機構ニナルヤウニ御考ヘ願ツタナラバ宜イノデナイカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス

以上ハ製造用ノ資材ニ付テ言フノデスガ、ソレカラ修理用ノ鐵鋼ノ如キモ是亦甚ダシキ減少デアリマシテ、鐵鋼減ツテモ中直セナイ、或ハ鋤先ガ磨滅シテモ容易ニソレヲ取替ヘルコトガ出來ナイ、是ガ作業能率ノ上ニ影響スルコトハ論ズルマデモアリマセヌ、斯ウ云フ狀態デアリマス、一方ニハ勤勞奉仕ヤ何カガ盛シニ行ハレル、ソレ等ノ人々ト雖モ何等カノ器具ハ持タシテヤラナケレバナナイガ、ソレニ使ハセル所ノ器具ノ供給モ並大抵ノ苦心努力デハ出來ヌト云フノガ現狀デアリマス、一方肥料ト同様ニ食糧ノ増産ハ愈、其ノ必要ヲ増大スル、而モ其ノ増産ニナクテナナイ所ノ農機具ノ供給並ニ其ノ修理ハ以上ノ如キ狀態デアアル、勞力ノ現狀ニ即スルガ爲ニ畜力ヲ

利用セヨト云フコトモ頻リニ言フ、ケレドモ畜力ト云フモノハ畜力ソレ自體ガ直チニ耕作能力化スルモノデハナイ、ソレニハ機械ヲ用ヒサセナケレバナラヌガ、其ノ機械モ供給ノ途ガナイ、斯ウ云フコトニナリマシタノデハ、モウ増産ドコロデハナイ、外

ノ方法ヲ以テシテモ此ノ一事カラシテ減産ノ途ヲ辿ルヨリ外ニ其ノ途ナシト云フガ如キ結果ニナリハセヌダラウカト云フ感ジモ多分ニアルノデアリマスカラ、是等ノ心配ヲ一掃スルコトガ出來ルヤウニ、農林商工兩省ニ於テ能ク研究調査サレ、サウシテ大量ニ出來、又供給モ殖エテ行クヤウニ御盡力ヲ願ヒタイ、之ヲ一ツ申上ゲマス同時ニ、寧ロ斯ウ云フコトニナルト今度企業整備ニ於テ農機具ノ製造工場モ若干其ノ整備ニ入ルトカ云フコトデアリマスガ、恐ラク資材ノ供給ハ少イシ、モウ迎モコンナコトデハ經營ハ出來ナイト云ツタヤウナコトカラ、自然起ツテ來ル、其ノ整理ヲ要望スルモノモアルノダラウト考ヘマスガ、ソレデハ又々農機具ノ供給力ガ減ツテ困ル、旁、致シマシテ寧ロ此ノ際現狀ハ現狀トシテ、ソレニ對應スル所ノ途ヲ講ズルト相並シタト云フカ、統一モヲカシイデスガ、一貫シタヤウナ何カ農機具ノ工廠ノ如キモノヲ造ツテ、其ノ地方々々ニ適應スル所ノモノヲ其ノ手カラ供給スルト云ツタヤウナ、且又是ハ今後ノ農業經營ニ對應スル一ツノ大キナ力ニモナツテ行ク、恐ラク農機具ノ上ニ於テモ幾多ノ改善ヲ加ヘナケレバナラヌ必要ガ今後出テ來ルモノト信ジマスカラ、ソレニ對應スルコトニモナル、旁、此ノ農機具工廠ノ如キモ政府ノ施設トデモシテヤ

ツテ行クヤウニシタラドウカ、之ヲ一ツ政府ニ於テ篤ト研究シテ貫ツタナラバドウダラウカト云フ考ヘガ致シマス

ソレカラ同時ニ又色々斯ウ云フ時局下デアリマスガ、發明考案ニ長ケタ人モアリマシテ、色々ノ農機具ニ付テ、鐵鋼ニ付テ或ハ脱穀機其ノ他ニ付テ、中々新シイ研究ヲシテ居ル天才的ナ人モアリマス、ソレ等ノ發明考案ニナルモノニハ、中々有效ナモノモ確カニアルコトヲ私承知シテ居リマスカラ、斯ウシタモノヲ採上ゲテ、折角農機具トシテノ能力ノ發揮ノ出來ルヤウニ扱ハレタイト云フ希望ヲ以チマシテ、少シ話ガ長クナリ過ぎマシタケレドモ、以上ノコトニ付テノ政府ノ御考ヘヲ御伺ヒシタイト思ツタ譯デアリマス

○岸國務大臣 農機具ノ問題ニ付キマシテハ、豫テカラ是ガ實際ノ需要方面カラ見て、中々需要ニ應ズルコトガ出來ナイ狀況ニアル旨モ聞イテ居ツタノデアリマス、更ニ最近ニ至リマシテ特ニ此ノ方面ノ實際ニ困ツテ居ラレル實情ヲ色々ナ方面カラ強ク聽カサレテ居リマシタ、政府ト致シマシテ此ノ農機具ノ供給ニ付テ格段ノ努力ヲシナケレバナラヌト云フ氣持ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、言フマデモナク此ノ問題ニ付キマシテハ、今御指摘ニナリマシタヤウニ、色々ナ問題ガ伏在致シテ居ルト思フノデアリマス、一ツハ何ト申シマシテモ資材ノ供給ノ問題ガ十分ニ行ツテ居ラナイト云フ所ニ大キナ原因ガアルノデアリマスガ、唯是ハ何カ若シサウ云フ誤解ガアリマストイケマセヌカラ申上ゲテ置ク譯デアリマスガ、別ニ物動ノ配給順位ガ五番目ノ部類ニ入ツテ居ル、隨テドウデモ宜イトカ、輕視サレタ

部類デ扱ツテ居ルト云フ事實ハナイノデアリマス、所謂「シー・ファイブ」ト云フモノニ入ツテ居リマス、是ハ國民ノ生活必需品ノ部門ヲ「シー・ファイブ」ト云フ符號デ扱ツテ居ルノデアツテ、「シー・ファイブ」デア

ルカラ五番目ダト云フ意味デナク、今日ニ於ケル生活必需ノ爲ニ是ダケノモノハ確保シナケレバナラヌト云フ數ガ割當テラレマスト、ソレハ絕對ニ確保スルコトニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ民需ノ重要ナモノデアル所ノモノノ一定ノ數量ガ確保サレル以上ハ、是ハ絕對ニ確保スルコトニナツテ居ル次第デアリマス、此ノ點ハ決シテ農機具ノ問題ヲ輕視シテ居ルト云フノデハアリマセヌ、唯全體ノ量ガ色々ナ關係デ私共非常ニ苦心ヲ致シテ居リマスガ、鐵鋼生産ノ量ニ限リガアリマス、而モ戰爭ノ必要カラ第一段ニ軍需ノ方面ノ需要ト云フモノハ愈、緊切ナモノガアリ、又ソレヲ直接ニ裏付ケル戰力ニ直グ繋ツテ居ル軍艦、兵器、其ノ他飛行機ヲ造ルヤウナ工場方面ノ使用ト云フモノモ相當ニ節約ハシテ貫ツテ居リマスケレドモ、マダ相當量要ルト云フ結果トシマシテ國民ノ必需品ト云フ部門ニ於ケル總體ノ量ガドウシテモ限ラレテ居ル、隨テ國民ハ色々ナ方面、例ヘバ衣料生活ノ部面ニ於キマシテモ兎ニ角現在ノモノデ何トカ濟マスト云フヤウナ所マデ考ヘナケレバナラナイト云フヤウナ事態ガアル譯デアリマス、隨ヒマシテ私共農機具ノ生産ニ對スル一定ノモノヲ確保シテ、農機具ノ方面ニ於テ食糧増産ニ支障ヲ生ゼシメルト云フヤウナコトガアツテハナラヌト考ヘテ居リマス、此ノ點ハ資材ノ確保ノ點ニ付テ尙ホ極力努力致シテ參ラナケレバナラヌト思ヒマス、

今モ御指摘ニナリマシタガ、實ハ私自身ガ此ノ製作ノ事柄ニ付テ能ク通ゼナイ所ガアリマスガ、從來農林、商工ノ間ニ於キマシテ、農機具ノ問題ニ付テ必ズシモ兩省ノ責任ノ範圍ガ明確デナイ爲ニ、事務ノ上ニ於キマシテ圓滑ニ行カナカッタト云フ歴史ガ相當長イ間アルノデアリマス、此ノ點ハ最近ニ至リマシテ明確ニシ、同時ニ兩方ノ協調スベキ事柄ニ關シテハ斯ウ云フ時局デモアリマスノデ、從來ノ行掛リ等ハ一掃シテ虛心坦懷ニ出來ルダケ協力スルト云フコトデ努力ハ致シテ居リマシテ、從來ノヤウナ關係ハ非常ニ改善ヲサレタト思ヒマスガ、尙ホ努力スベキコトハ努力シテ参リタイト思ヒマス、併シサウ云フコトガアリマシタ關係上、私モ多少此ノ問題ニ付テ取調ベテ見タリ致シタノデアリマスガ、ドウモ一口ニ農機具ト言ハレマスケレドモ、今御意見ノアリマシタ通り、果シテ是ガ各地各方面ノ需要ニ基礎ヲ置イテ、本當ニ計畫的ニ生産計畫ガ立テラレテ居ルカドウカト云フ點ニ付キマシテマシテハ、マダ十分ナ計畫性ヲ持ツテ居ラナイヤウニ私思ヒマス、殊ニ御話ガアリマシタガ、色々ナ考案發明等ノ部門ニ付キマシテモ、御承知ノ通り特許、實用新案ナドニ付テ見マシテモ、農機具ニ關スル特許發明ト云フモノハ非常ニ數ガ多イ、所ガソレガ本當ニ特許發明トシテ優秀デアリ、農民ニ本當ニ推廣出來ル優良ナ農機具デアルカドウカト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ或ル地方ニハ非常ニ適當デアルケレドモ、或ル地方デハ逆モ工合ノ惡イト云フモノモアルノデアリマシテ、是等ノ點ニ付テノ技術的ナ檢討ハ農林省ガ中心トナツテ優良ナ農機具ヲ選定セラレマシテ、計畫的ニ之ヲ製造セシメルト

云フ風ニ進ンデ居リマスガ、サウ云フ技術的ノ方面モ農機具ノ性能、色々ナ農法トノ關係モアリマシテ、色々適シタ農機具ヲ計畫的ニ生産ヲサセテ行カナケレバナラス、ソレニ必要ナ資材ノ確保ヲ計畫的ニシテ行クト云フコトガ一ツ、モウ一ツハ生産ノ方面ニ於ケル組織ナント云フモノハ是レ亦御承知ノ通り色々其ノ地方ノ野鍛冶ノヤウナ所デ鋤、鋤、鎌等ヲ作ツテ居ルカラ、最近進ンダ農業用ノ機具等ニ付キマシテハ相當大キナ工場デ生産サレテ居ルモノモアルヤウナ狀況デアリマス、是等ノモノガ實ハ工業組合等ニ結集ハサレテ居リマスケレドモ、組織ト連絡ト統制トノ關係ガマダ十分ニ出來テ居ラナイノデアリマス、是等ノ生産者ノ關係ト云フモノヲヤハリ整備致シマシテ——整備ト云フコトハ必ズシモ數ヲ削減シテ、之ヲ潰スト云フヤウナ考ヘ方デナシニ、眞ニ能率良ク、與ヘラレル資材ヲ以テ最モ效率的ニ、農具ヲ計畫的ニ生産スルト云フ點ニ重キヲ置イテ考ヘテ行ク必要ガアラウト思ヒマス、唯從來ノ自然ノ成行デ發達シ、自然ノ成行デ潰レテ行クト云フコトデアル現在ヲ其ノ儘基礎トシテ、其ノ儘是認シテ行ツタノデハ、斯ウ云フ資材ガ窮屈ニナツテ居ル所ヲ、資材ノ有効利用ヲ圖ツテ、必要ノ農具ヲ造ツテ行クト云フコトニハ適當デナイト思ヒマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ農機具ノ製造事業ニ付キマシテモ整備ヲ考ヘテ行ク必要ガアルト思ヒマス、サウシテ國家ガ與ヘタ計畫ニ基イテ一定ノ農具ト云フモノヲ計畫的ニ生産シテ行ク、サウシテ國家ハ之ニ對シテ指導監督ヲ加ヘテ行クト云フコトニナリマス、是ガ改善サレル、ソレヲ今度ハ配給スル部面デアリマスガ、今日ノ農林、

商工ノ關係ニ於キマシテハ、私ノ方デハ生産ヲ責任ヲ持ツテヤラウ、配給ノ問題ハ農林省ニ於テヤル、所ガ私ノ方ガ生産ヲ致シマス基礎ニナル生産計畫ニ付テハ、ドウモ私共ノ方デハドウ云フ農機具ヲドレダケ造ルト云フコトハ分ラナイ譯デアリマスカラ、是ハ農林省ニ御願ヒヲシテ其ノ方ニ計畫ヲ立ツテ貰ツテ、其ノ貰ツタ計畫ノモノヲ一定ノ與ヘラレタル資材ヲ以テ造リ上ゲルト云フコトヲ責任ヲ持ツテヤル、サウシテ出來上ツタモノハ農林省ノ所管ノ部面ニ渡シテ配給ヲ適正ナラシムル、斯ウ云フ措置ヲ執ツテ居ル譯デアリマス、是等ノ機構ニ付キマシテ、生産ノ部面ニ於キマシテ改善ヲスベキ問題ニ付キマシテハ、商工省ニ於テ十分ヤツテ行ク積リデアリマス、又配給ノ部面ニ於テ改善ヲ要スベキモノハ農林省ニ於テ責任ヲ持ツテヤツテ戴ク、兩省ノ關係ハ、從來此ノ問題ニ關聯シ色々ノ經緯ガアツタノデアリマスガ、最近ニ於テハ非常ニ明朗ニ兩方共協力シテ居ル、又斯ウ云フ事態デアリマスノデ、各省ノ間ニ若シモ狭イ「セクシヨナリズム」ノ考ヘガアリ、其ノ爲ニ事務ノ摩擦ガ生ジテ居ルト云フコトガアツテハ國家ノ爲ニ相濟マナイノデアリマス、私共十分此ノ事務ノ連絡ニ付キマシテハ、責任ヲ持ツテ兩大臣ニ於テ連絡ヲ執ツテ行クト云フコトデ進ンデ参リタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○村上委員 其ノ生産配給ニ關スル兩省間ノ機構ノ問題ニ付テハ、最近既ニ改善サレテ居ル譯ナンデスカ  
○岸國務大臣 兩方ノ配給機構、政府間ノ關係ハソコデ明確ニナリマシタガ、ソレノ下働キト申シマスカ、政府ノ指示ニ依ツテ動イテ居ルモノトシマシテ、私ノ方ニハ工業組合ガアルノデアリマス、ソレカラ農林省ノ所管ニ於キマシテハ體力配給統制會社ト産業組合ノ系統ト二ツアルヂヤナイカト思ヒマス、是等ノ機關ノ間ニ於ケル事務ノ分界等ニ付キマシテハ、尙ホ十分ナ調整ノ出來テ居ラナイ分ガアルヤウニ承知致シテ居ルノデアリマス、是等ノ關係ヲ調整スルコトニ付テハ、目下事務當局ニ命ジテ研究ヲサシテ居リマシテ、近ク農林、商工ノ一致シタ考ヘデ改善サセルコトニ相成ルト思ヒマス  
○村上委員 有難ウゴザイマシタ、折角此ノ改善ノ實現ニ一層御努力ヲ願ハナイト、此ノ狀態ヲ續ケラレテハ迎モタマリマセスカラ、ドウゾ御願ヒシテ置キマス  
○岸國務大臣 出來ルダケノコトハ致ス積リデアリマス  
○高橋委員長 村上サンニ申上ゲマスガ、農林次官ハ今直ダ來ルコトニナツテ居リマスカラ——一寸速記ヲ止メテ……速記中止  
○高橋委員長 木村君  
○木村(實)委員 供出ノ問題デアリマスガ、此ノ緊迫シタ食糧事情ヲ緩和スルノニハ澤山出シテ貰ハナケレバナラス、所ガ今年ノ供出ノ狀態カラ行キマシテ改善ヲシナケレバナラスト云フ事柄ハ大臣モ認メテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ改善ヲシナクチャナラヌ場合ニ於キマシテ當局ノ意見ヲ聽キタイノデアリマス、少クトモ是ハ作付統制令、ソレカラ食糧管理法ヲ改正スル所マデ行カヌト本當ニイカヌノヂヤナイカト云フヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレハ少クトモ農民ヲ本當ニ信賴シテ農民ノ赤誠ニ懇ヘテ此ノ増産スルト共ニ、賞罰ヲ明カニスルト

云フ根本的ナ建前カラ直シタイ、ソコデ作付統制デアリマスガ、私ハ少クトモ作付統制ト云フノハ目的デハナイト思ヒマス、一ツノモノヲ作ルト云フ手段デアリマシテ、供出ヲスル絶對ノ數量ガ目的ナノデアリマシテ、少クトモ此ノ作付統制ト云フモノヲ或ル程度マデ緩和シテ、出サセル數量ヲ責任ヲ以テ明示スル、其ノ範圍ニ於テ之ヲ出セバソレデ宜シト云フコトニ致シマスルナラバ、農家ハ其ノ範圍ニ於キマシテ限ラレタ面積ニ於テ自分ノ創意ト努力ヲ遺憾ナクソレニ投下シ、優秀ナ技術ヲコニ入レテ生産ヲシテ行ク、殘ツタ面積ト云フモノデ或ハ地カラ肥ヤス肥料ノ如キモノヲ作リマセウシ、或ハ自分ノ食糧ヲ餘計食ベラレルヤウナ所マデモ行ケルノデヤナイカト考ヘテ居リマスルガ、左様ナ意味カラ作付統制ト所謂出荷ノ數量ト云フモノヲ或ル程度マデ今後國ガ供出ヲサセル場合ニ於テ考ヘ方ヲ變ヘテ戴クノガ宜シイノデヤナイカト思ヒマス、ソレヲ最初御伺ヒシタイノデアリマス

○湯河政府委員 供出ノヤリ方ニ付キマシテハ先程農林大臣カラ御答ヘ致シマシタヤウニ、私達ト致シマシテハ實ハ眞劍ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、二、三年來ヤツテ參リマシタ色々ノ經驗モゴザイマスルシ、殊ニ今年ノ春以來ノ供出ノ實績ニ付キマシテ十分檢討致シマシテ、現ニ麥ノ供出カラハ改善スルコトノ出來マス所ハ片ツ端カラ改善シテ行ツタ積リデゴザイマス、只今仰セノ作付トノ關係ニ於テ供出ヲ目的トスルヤウナ作付ヲ初メカラ豫定サセルト云フヤウナ御趣旨ノ御意見デゴザイマスガ、各方面カラ同様ノ趣旨ノ御話モ承ツテ居リマス、唯ソレハ私達御趣旨トシテハドウモサウア

ルベキデハナイノデハナイカト云フ氣モスルノデアリマスガ、實ハ食糧ガ初メ米ダケデ固マツテ居リマシタ時ニハサウモ思ヒマセヌデシタガ、最近ノヤウニ麥、芋、玉蜀黍、色々ナモノヲ混ゼマシテ、ソレモ米ト思ツテ食ベテ貰フコトニナツテ居リマスカラ、生産ノ方ニ於キマシテモ同様ノ考ヘカラ、米ガ出來ナケレバ麥ヲ出シテ貰フコト云フコトニナルノデアリマスカラ、其ノソレゾレノ供出單位ノ部落、農村ニ於キマシテサウ云フ趣旨ノ作付ヲシテ貰ヘバ私ノ方モ此ノ位出荷、供出シテ貰フ、或ハ簡單ニ申セバ米ニ換算シテ是ダケノモノヲ作ツテ貰ヒタイ、斯ウ云フ風ニ持ツテ行キタイト思フノデアリマス、是ハ實ハ今マデ米、麥或ハ芋ト云フ風ニ別々ニヤツテ參ツテ來テ、ソレデヤツテ來テ居リマスカラ、ドウモ今直グソレヲ直スト云フコトモ難カシイカト思ヒマス、併シ御趣旨ノアル所ハ吾々トシテモ能ク理解出來マス、出來ルダケサウ云フ風ナコトノ實現出來マスヤウニ實ハ研究中デ居ルノデゴザイマス、暫ク其ノ研究、檢討ノ間ヲ御待チ願ヒタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○木村(實)委員 時間ガアリマセヌカラ繰返スコトハ致シマセスガ、今度ハ作付統制ノ方デナク食糧管理法ニ付テデアリマスガ、之ニ依ルト保有量ハ認メテ、アト皆出セト云フコトニナツテ居リマスガ、是デハ先程言ツタ通り幾ラ收穫シテモ取ラレテシマウト云フ氣持ガ起キテ來ル、ソコデ國ガ要請スル數量ヲ早ク明示シテ、ソレ以上ニ出荷スレバ工場労働ニ於テ報奨制度ガ採ラレテ居ルト同様ニ、別ノ方法ヲ以テ道義ニ懇ヘテ出サセルト云フコトニシタ方ガ農民トシテ喜ンデ

出セルデハナイカ、自由販賣ラセヌデモ喜ンデ國家ニ提供スルコトガ出來ルンデヤナイカト思ヒマス、サウ云フ意味ニ於テ食糧管理法ガ相當檢討サレテ宜インデヤナイカト思ヒマスガ、ソレニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○湯河政府委員 其ノ點ハ先程農林大臣カラモ申上ゲマシタヤウニ、今日食糧増産ガ非常ニ急務トサレテ居ル際、只今ノ食糧管理法ノ自家保有ノ建前ガ何ゾ生産者ノ氣分トシツクリシナイ所ガアツテ、謂ハバ作レドモ作レドモ取ラレテシマウト云フコトデハ困ルト云フコトヲ大分各方面デ仰セラレルノデアリマス、併シ又一面カラ申シマスルト、自家保有ノ制度ト申シマスノハ此ノ緊迫シタ狀態ニ於キマシテ、又今後統制經濟ヲ進メテ行ク上ニ於キマシテ、サウ輕々ニハ左右出來ナイモノダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ何ト申シマシテモ増産ガ大事ナ時ニ、色々ト議論サレテ居ル點ヲ吾等トシテ研究シナイト云フ積リデハ斷ジテナイノデアリマス、サウ云フ意味デ先程大臣カラモ御答辯ヲシテ戴イタノデアリマス、實ハ其ノ點ニ付テハ今折角研究シテ居ルノデアリマス、是ハ食糧管理法ソレ自身ヲ直シマセヌデモ、勅令以下ノ方法ニ依ツテ適宜ヤルコトモ出來ル、形式ハサウデアアルガ寧ろ實質ガ非常ニ難カシイ問題デアリマスガ、何ゾ其處ノ所ノ處置ヲ早ク付ケタイト思ツテ折角考ヘテ居リマス

○木村(實)委員 割當以上ニ出シタ場合ニ於テハ報奨制度ヲ採ツテ貰ヒタイト云フコトト、モウ一ツハ共同ノ責任ニ於テ町村ナリ或ハ農事實行組合ナリ、或ハ隣組ナリ、最低隣組ニ於テ是ガ責任ヲ持ツ、而モサウ

云ツタ形ヲ採ル場合ニ於テ優秀ノ指導者ガ居ル場所ニ於テ始メテ好イ結果ガ生ズル、而シテ優秀ヲ指導者ハ、現在ノ農村ノ立場カラ行ケバ實行組合ガ單位デアアル、然ルニ其ノ實行組合長ハ非常ニ公務ガ多クテ、爲ニ自分ノ經營ニ付テハ餘リ仕事ガ出來ナイ、隨テ要領ノ好イ人ハ都市ニ流レテ行ツテ、地方ニ殘ツタ人ハ常ニ苦勞シテ居ルト云フヤウナ狀況デアリマス、何處ヲ見テモ例外ナシニ優秀ヲ指導者ガ居ル所ハ成績ガ良イト云フコトカラ考ヘテモ、其ノ優秀ヲ指導者ヲ出來ルダケ優遇スル方途ガアツテ然ルベキデアルト思ヒマスガ、現在其ノ方途ガ徹底サレテ居ラヌヤウデアリマスガ、之ニ對スル御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○湯河政府委員 割當豫定數量以上ニ出シタモノニ對シテハ報奨的ノ措置ヲ採ルヤウニト云フ御希望デアリマシタガ、此ノ點ハ前議會以來ノ問題デアリマシテ、其ノ後價格報償制度等モ立テラレマシタノデ、實ハ私共ノ方ニ於キマシテモ、何カサウ云フコトガ旨ク行カナイカト色々考ヘテ見タノデアリマスガ、實情ニ於キマシテハ割當ノ基礎タルモノ、茲ニマダ相當考究スベキモノガアリ、果シテ報奨制度ヲ採ルニ適スルカドウカト云フコトニ疑問ガゴザイマス、此ノ生産量ナリ、或ハ割當基準ト云フ風ナモノナリガ、餘程世間ノ人ガ本當ニ満足シ、ソレニ信賴スル基礎ガ得ラレマセヌコトニハ、輕々ニ報奨的ノ措置ガ執リニクイノデゴザイマス、デスカラ報奨的ノ措置ガ惡イト云フノデハゴザイマセヌデ、其ノ前提タル條件ヲ——是ハ又報奨ダケデハナイノデアリマシテ、供出上ニ是非必要デゴザイマスカラ、其ノ整備ノ方ヲ先ツヤリタイト云フ

風ニ考ヘテ居リマス

ソレカラ供出ニ付キマシテハ全ク御話ノ通りデアリマシテ、部落組合、農事實行組合等ノ單位ニ、ソレ等ノ部落ノ共同ノ責任ニ依ツテ供出サセルト云フコトガ農村ノ醇風美俗デモゴザイマスシ、一番適切ダト思ツテ居リマス又サウ云フ風ニ致シマス時ニ、其ノ中ノ指導者ガシツカリシテ居リマス所ハ、現實ニ好イ成績ヲ擧ゲテ居リマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、私達トシテモ是非今後サウ云フ風ニシタイト思フ、モウ今年ノ春ノ米ニ付キマシテモ、此ノ夏ノ麥ニ付キマシテモ極力サウ云フ風ニ指導シテ参リ、尙ホ其ノ成績ヲ上ゲマシタ功績アル人ニ對シマシテハ、十分表彰ノ途モ執リマシテ今後一層ヤツテ貰フヤウニ致シタイト思ツテ居リマス、實ハ米ノ供出ニ或ル區切りヲ付ケタ後ニハ、是非サウ云フコトヲヤツテ見タイト思ヒマス

○木村(寅)委員 此ノ供出ノ關係デ陸稻デアリマスガ、今ノ狀態カラ参リマスルト、陸稻ヲ技術的ニ向上シテ行キマシテモ反當リ四俵位デアル、而モソレヲ今度ハ薩摩ニ轉換致シマシテ技術的ニ改善シテ行キマスト、千貫以上ニ穫レル今マデアツテモ薩摩ガ反當リ陸稻ノ約二倍ノ人口保有力ガアルニ拘ラズ、薩摩ヲ技術ヲ上ゲテ澤山穫ルト反當リ人口保持力ハ六倍ニモナル而モ危險率ガ少イト云フ關係カラ行キマシテ、モット陸稻ヲ薩摩ニ轉換シテ宜シイノデハナイカト考ヘテ居リマス、此ノ前ノ議會デモ相當轉換シテモ宜シイト云フコトニ相ナツテ居リマスガ、ソレニ對シマスル御意見ト、モウ一ツハ之ヲ澤山作ルト致シマスルナラバ、價格ノ改訂ノ問題ガ出テ來ルト同時ニ澤山

作レバ腐ル虞モ出マセウシ、之ヲ生デ食ベナイデ乾燥シテ食糧ニ持ツテ行ク場合モアリマセウガ、其ノ食糧ニ持ツテ行ク場合ニ於キマシテハ乾燥過程ニ於キマシテ、現在ノ價格ニ於テハ手間賃ガ出ナイト云フ關係ニ於テ、乾燥ヲヤリニクイヤウナ傾向モアリマスルノデ、少クトモ之ヲ食糧化スル場合ニ於キマシテハ、乾燥諸ノ價格ノ改訂ガ當然茲ニ起キテ來ルノデハナイカト思ヒマスガ、ソレニ付キマシテノ御意見ヲ承リタイト存ジマス

○石井政府委員 只今ノ陸稻ト甘藷トノ關係ハ收量ニ於キマシテ御説ノ通りノ關係ガゴザシマスノデ、既ニ今年ノ春各種ノ農作物ニ付テノ生産計畫ヲ各府縣ト相談ヲ致シマシタ場合ニ、積極的ニ陸稻ヲ甘藷ニ轉換スルト云フ方針デ甘藷ノ作付面積ヲ考ヘテ貴ヒタイト云フコトデ協議ヲ致シタ譯デアリマス、ソレデ相當ニ陸稻ガ甘藷ニ轉換サレテ居ルノデアリマス、唯各農家ノ食用米ノ關係等カラ致シマシテ、非常ニ大部分ヲ一舉ニ轉換ヲ致スト云フコトモ困難ナ云情ガゴザイマスルノデ、其ノ點ハ實情ニ即シテ進ンデ参リタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ甘藷ヲ主要食糧トシテノ效率ヲ發揮サセマスル爲ニハ、大體食用ノ爲メノ乾燥甘藷ト致シテ参ラナケレバナラス譯デアリマスガ、其ノ場合ニ此ノ乾燥加工ニ付テドウ云フ形態ノモノデヤツテ参ルカト云フコトニ付テハ、マダノ研究ノ餘地ガ殘ツテ居ルヤウデアリマス、只今折角色色ナ實驗試驗ニ基イテ、最モ廉價ニシテ優良ナルモノヲ發見シマスヤウニ努力ハシテ居ル譯デアリマス、何レニ致シマシテモ、極ク簡單ナ食用切干ニ致シマシテモ、只今

ハ原料用ノ切干ノ價格ハ設定サレテ居リマスケレドモ、食用ニ供スベキ切干甘藷ノ價格ハマダ設定サレテ居ラナイノデアリマス、ソコデ此ノ食用ノ切干甘藷ヲ相當ニ利用シテ參ルコトニ致シマスレバ、當然新タニ食用干甘藷ノ價格ノ設定ト云フ問題ヲ解決致サナケレバナラスト云フノデ、只今吾々ノ方トシテ準備研究ヲシテ居ル譯デアリマス

○木村(寅)委員 乾甘藷ノ問題デアリマスガ、私ハ「カロリ」カラ計算シ、今ノ米ノ値段カラ計算シテ見テ、一貫匁一圓ニシテモ安イノガラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、設定シテ戴ク場合ニ於テハ、「カロリ」其ノ他カラ計算シテオヤリヲ願ヒタイト思ヒマス

最後ニ此ノ供出ヲシ増産スル場合ニ於マシテ、農村デ今問題ニナツテ居リマスノハ、離農ノ問題デアリマス、此ノ資料ヲ戴イテ見マシテモ、非常ニ離農スル方ガ多イト云フコトハ事實デアリマス、而モ股販産業地帯ノ農村ニ於テ酷イノデアリマスルガ、是ハ少クトモ其ノ農家ニ經濟的ノ安定感ヲ與ヘルト同時ニ、工場生活者トノ色々ナ「バランス」ヲ調整シテ行クト共ニ、現在徵用ニ出テ参リマスル形ニ於キマシテ、現在ノヤウナ制度デ参リマス、折角專業農家トシテ其ノ土地ニ於テ立派ニヤツテ行カウトシテ居ル者デサヘモ徵用サレシマフヤウナ現狀デアリマス、是ハモット強イ法令ヲ以テ少クトモ專業農家デアル者ハ徵用出來ナイト云フ位マデニ行カネバйкаスト思ヒマス、是ハ又一面考ヘテ参リマス、土地制度ニ關聯シテ参リマシテ、世襲農地ト云フコトニモ相成ルカト思ヒマスガ、ソレハ別問題ト致シマシテ、現在ノヤウナ徵用

制度デヤツテ行キマス、非常ニ離農スル傾向ガ多分ニアルノデハナイカト思ヒマス、併シ私ハ現在ノ農村カラ考ヘテ見マシテ、少クトモ標準農村ヲ建設スル場合ニ於キマシテハ、過小農ヲ他ニ轉出サセルト云フ問題ハ是ハ當然デアリマス、併シ農村ニ於テ殘ラナケバナラス農家ヲ此處カラ出シテシマフト云フコトデハ、今後農村ガ壊滅スルト同時ニ、折角國ガ要請シテ居リマス食糧ノ増産モニ障礙ガアルト思ヒマスノデ、其ノ點ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、其ノコトト、今一ツハ標準農村ト云フ形デ農林省ガ非常ニ御努力ヲセラレマシタ今度ノ計畫モ大變有難イト思ツテ居リマスガ、實際之ヲヤツテ参リマスルト、或ハ自作農デアツテモ、オ互ヒノ道義ニ懇ヘテ之ヲ地主カラ買受ケル、或ハ耕地交換分合デアツテモ、之ヲ道義ニ懇ヘテ駄目ダト言ハバ已ムヲ得ナイ、或ハ加工過稅ニ於キマシテモ、現在最早色々設備モ出來ナイヤウナ時ニナツテ居リマスル關係ニ於キマシテ、少クトモ現在ノ法ノ許ス範圍ニ於テハ標準農村ノ建設ハ非常ニ無理デアルト同時ニ、動トモスルト、農村ガ却テ壊滅シテ行クヤウナ狀態ニアルト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ付キマシテモット力ヲ入レテ戴キマシテ、標準農村ノ建設ノ爲ニヤツテ戴カスト、食糧ノ増産ニモ相當影響ガアルノデヤナイカト考ヘテ居リマスノデ、其ノ點ヲ一ツ御意見ヲ承リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ二ツダケヲ御願ヒシマシテ、私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス

○石井政府委員 第一ノ徵用ノ關係ハ此ノ前ノ議會デモ申上ゲマシタガ、農林省ト厚生省トノ間ニ於キマシテ、或ル規模以上ノ農

家ニハ徵用ヲ致サナイト云フコトヲ取極メテ、ソレニ基イテ現在徵用ノ關係ハ規正ヲ致シテ居ル譯デアリマス、唯是ガ地方ニ於キマシテハ、往々ニシテ無視サレテ實行サレテ居ルト云フ御話ヲシテ伺フデアリマスガ、吾々ノ方トシテハサウ云フ事例ヲ伺ヒマシタ場合ニハ、直チニ厚生省並ニ地元府縣ニ照會ヲ致シテ、左様ナコトノナイヤウニ處置ヲ致シテ居ルデアリマス、其ノ方モ厚生省ノ方ト打合セマシテ、末端マデ其ノ趣旨ノ徹底シマスヤウニ豫テカラ努力ヲ致シテ居ル譯デアリマス、此ノ上トモ此ノ點ニ付テハ十分努力ヲ致シタイト考ヘマス、尙ホ只今ノ離農防止ノ問題ニ付テハ特色考ヘナケレバナラス問題ガゴザイマスノデ、標準農村ノ設定等トモ關聯致シマシテ、更ニ執ルベキ具體的ナ問題ヲ研究ヲ致シ考究ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○木村(寅)委員 私ノ質問ハ是デ終リマシタ

○高橋委員長 吉植君

○吉植委員 大臣ガ居リマセスカラ御質問ノ向キヲ變ヘテ、食糧管理局長官ガ御見エデスカラ管理局長官ニ御問ヒ致シマス、先程米穀事情ヲ詳細ニ御説明下サイマシタガ、七分搗五分搗ニスル、而シテ慥カ三十万石デシタカ節米スル、斯ウ云フ御話シガアリマシタ、此ノ點ニ見マシテモ食糧事情ガ如何ニ逼迫シテ居ルカ、餘程根本源泉的ノ計畫ヲ立デニナラスト、此ノ計畫デモマダ危イ、昨年ノ十一月ニ立テラレタ計畫ガ數百萬石ノ齟齬ヲ來シタ、サウスルト又今年立テタモノガ齟齬ヲ來スノデハナイカト云フ心配ガ生ジマス、ソコデ玄米食ニ

行ツテシマヘバ一番世話ハナイノデアリマスガ、其ノ問題ハ時間ガアリマセスカラ抜きニシマシテ、改善的ノ案トシマシテ農民ハ全國ニ於テ殆ド總テ白米ヲ今日食ベテ居リマス、農林省ノ御調査ニハドウ出テ居リマスカ、私共ガ地方ヲ歩キマス、農村デハ殆ド白米ヲ食ベテ居ル、國民ノ半分デアリマス消費層ニ向ツテ七分搗五分搗ニシテ三十万石ノ節約ヲスルト云フデアリマシタナラバ、國民ノ半數ヲ占メテ居リマス全農民ニ向ツテ五分ノ節米ヲサシタナラバ、コデモツト大キナ節米量ガ出テ來ル、是ハ最モ見易キ道理デアリマス、今日農村ニ於テ何ガ故ニ白イ米ガ食ベラレテ居リマスカト申シマス、是ハモウ今回ハ米ノ値段ガ改定ニナリマシタカラ、其ノ點ハ少クナリマシタガ、曾テハ米ノ値段ガ餘リニ安カツタ、モウ一ツハ米ノ搗精機構ト云フモノガ、今日ハ水車業者或ハ食糧營團ノ末端ニ居リマス米穀業者、是等ニ依ツテ精白米サレテ居リマスノガ、農村ノ大體ノ姿デアリマ

ス、サウシマス、此ノ精米業者ハ五分搗、七分搗ト云フヤウナ工合ニシマス、電力ヲ餘計食ツテ糠ガ出ナイ、然ルニ之ヲ十分ニ搗キ十二分ニ搗クト云フト、電力ガ少ク努力ガ少クテ澤山糠ガ取レル、斯ウ云フヤウナ譯デ、如何ニ七分搗ニシテ呉レ、半搗ニシテ呉レト頼ンデモ眞白ニスルノガ一般ノ風景デアリマス、此ノ點ニ關シテ何等カ農村ニ介在スル所ノ搗精業者ヲ絕對ニ政府ノ方針ニ副ハシムルヤウナ機構ガ整備シテ居リマセウカ、又之ニ背反シタル際ニ於ケル罰則其ノ他ガ十分ニ備ハツテ居リマセウカ、之ヲ御伺ヒシタイ

○湯河政府委員 御答ヘ致シマス前ニ、先

程申上ゲタ數字ヲ、申上ゲタカドウカト思ヒマスガ、今吉植サンノ仰シヤイマシタ三十万石ト云フノハ、計算上ハ六十万石位ニナツテ居リマス、若シ私申上ゲ違ツテ居ルトイケマセスカラ訂正シテ置キマス

折角都會ノ消費者ニ七分搗五分搗ニシテ黒イ飯ヲ食ハシテ置キナガラ、農村ノ生産者ガ白イ飯ヲ食ツテ居ルコトハ、消費規正ノ上カラ面白クナイト云フコトハ、其ノ點カラ申シマシテ御同感デゴザイマス、唯都會ノ消費者ニ向ヒマシテハ政府ガ配給米ヲ持ツテ居リマスノデ、之ヲ白クシテ渡サナケレバ宜イノデアリマスガ、農村ノ方ハ自發的ニ白クシテ貰ハナイヤウニ致シタイト思フノデアリマス、ソレニ付テモ精米業者ノ取締ガ徹底致シマスレバ餘程問題ガ違フト思ヒマス、規則ノ上カラ申シマス、只今御質問ノヤウニ取締ハ出來テ居リマシテ、其ノ罰則ガ附イテ居ルノデアリマス、此ノ厲行ガ徹底致シマスレバ餘程事態ガ變ツテ來ルト思ヒマス、只今ノ取締ハ、精米精白ヲ業トスル者ニ對シテ規則ガ出來テ居ルノデゴザイマス、デゴザイマスカラ若シ農家ガ自分デ水車ヲ持ツテ居ツテ搗クノハドウニモナラナイ、取締ノ客體デアル業者ヲ取締レバ是デモ餘程事態ガ違ツテ來マス、是ハ法律ノ厲行ノ問題デゴザイマスカラ、常々注意シテ居リマスガ、サウヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス、唯中々サウ思ヒマシテモ、經濟ノ實體ト云フモノハ、一片ノ法律デハ中々取締レナイノデゴザイマシテ、白イ米ガ欲シイ農家ノ人ニ黒イ米デ我慢シロト云フコトハ、中々申シニクイノデアリマス、是ハ飼料ノ對策ヲ吾々ノ手デ幾分ナリトモ整備シテ、少シデモソレガ満足出來ル

ヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ取締ヲ徹底致シマス一ツノ方針ト致シマシテ、精米業者ニ加工賃ヲ現物デ渡サナイヤウニスルノモノ一ツノ手デナイカト考ヘテ居リマス、サウ云フ取締ノ方針デ精米業者ニ糠ヲ持タセナイヤウニシテ行キタイト云フ取締ヲ始メテ居ル地方モゴザイマス、一ツノ試ミトシテハ意味ガアルノデハナイカト思ツテ居リマスガ、何ニセイ實體ガ少シ難カシイ問題デアリマス、取締モ其ノ實體ニ即應致シマシテ、十分考究致シタイト考ヘテ居リマス

○吉植委員 今食糧管理局長官ノ御答辯ガアリマシタガ、農村ガ糠ヲ飼料ニスル、其ノ點デ中々白イ米ニスルコトヲ一片ノ法ヲ以テ禁ズルト云フコトモ難カシイト云フ御話デアリマシタガ、糠ガ農村ノ手ニ渡リマスルノハ、東北地方、畜産ノ盛ンナ地方、或ハ關西ノ方デアリマス、關東邊リハ大體ニ於テ、糠ハ業者ニ取ラレマシテ、農村ニハ還元致シマセス、ソレデアリマスカラ或ル地方ニ於テ搗精業者ニハ賃金ヲ拂ツテ、糠ハ農民ノ手ニ持タス、斯ウ云フコトガ行ハレテ居ルト云フ話デアリマスガ、之ヲ一ツ本省ノ方カラ全國的ニ命令シテ貰フト云フコトハ出來マセウカ、先程來ノ米穀事情、其ノ他食糧事情ガ甚ダ逼迫致シテ居リマス所カラ考ヘマス、其ノ位ノコトハ出來ル出來ナイノ問題デハナイノデゴザイマシテ、是ハ政府ガ眞劍ニナリサヘスレバ、出來ルコトト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○湯河政府委員 法律ハ備ハツテ居リマスノデ、實體ヲ能ク見究メマシテ——今ノ食糧管理法ノ中ニハ、サウ云フコトノ取締ノ勅令ガ出セルヤウニ出來テ居リマス、能ク

實體ヲ見究メマシテ處置ヲ執リタイト思ツ  
テ居リマス

○吉植委員 農民ハ先程來ノ米穀事情ノヤ  
ウナ内容ヲ承リマス、決シテ自分一人白  
米ヲ食ベテ優越感ニ浸ツテ居ラウト云フ考  
ヘヲ持ツモノデハゴザイマセス、國ニ協力  
ヲシテヤハリ黒イ米ヲ喜ンデ食ベマス、是  
ガ農民道デゴザイマス、ドウカ此ノ點ハ御  
遠慮ナク徹底的ニ全國打ツテ一丸トナツ  
テ、五分搗ナラ五分搗ト云フ風ニシテ戴キ  
タイト思ヒマス

モウ一ツ御伺ヒ致シマスガ、昭和十八年  
産米カラハ生産農民カラ百五十「キロ」ヲ以  
テ供出セシムル米ヲ、食糧營團ノ手ニ依ツ  
テ百五十「キロ」デ國民ニ分ケル、是ガ四月  
二十九日ニ御決メニナツタノデゴザイマス  
カ、四月三十日ノ新聞ニ出テ居リマス、然ル  
ニ今日ハ吾々農民ニ百五十「キロ」デ供出セ  
シメタ米ヲ百四十「キロ」ヲ以テ國民ニ分ケテ  
居ル、甚ダシキニ至リマシテハ東京市ノ如  
キ玄米ノ配給ニ於テサヘ百四十「キロ」、千  
葉縣ニ於テモ百四十「キロ」、長野縣ニ於テ  
ハ百四十「キロ」、五、斯ウ云フヤウニ分ケ  
テ居ル、其ノ他ノ地方ハ調ベマセヌカラ分  
リマセヌガ、恐ラク全國區々マチノ「デア  
ラウト」思ヒマス、其ノ上ニ東京ノ食糧營團  
ニ於テハ、業者ニ配ル玄米配給ガ十「キロ」  
ヲ少クシタ上ニ二圓五十錢取ツテ居リマス、  
千葉縣ニ於テハ一圓、長野縣ニ於テハ一圓、  
是ハ只今承リマシタヤウナ食糧事情ガ逼迫  
致シテ居リマス時ニ、又生産農民ニ、飽ク  
マデモ國策ニ順應シテ自ラ喰フモノモ割イ  
テ國家ニ供出ラシロ、斯ウ云フヤウニシテ  
居リマス際ニ、甚ダ是ハ感心致シマセス、  
速カニ政府ニ此ノ事ヲ改メテ貰ヒタイト思

ヒマス、隨テ之ニ關シテ一ツ御尋ネヲ致シ  
タイノデアリマスガ、今日ノ百四十「キロ」  
ノ米ヲ國民ガ買ヒマス時ニ、一人當リ大體  
東京アタリノ標準ガ二合三勺、是ハ老幼婦女  
子、或ハ勞働者ト云フヤウナモノデ變リ  
ハアリマスガ、基本ハ慥カ二合三勺トナツテ  
居リマスガ、此ノ二合三勺ハ百四十「キロ」  
ヲ基本トシタ二合三勺デアリマセウカ、此  
ノ問題ハ重大デアリマシテ、十月一日カラ  
ノ昭和十八年度米ガ百五十「キロ」ヲ基本ト  
シタ二合三勺トナル筈デアリマスガ、今日  
ハ百四十「キロ」基本ノ二合三勺デアリマス  
カ、之ヲ承リタイト思ヒマス

○湯河政府委員 今日ノ二合三勺ノ基礎ニ  
ナツテ居リマス「グラム」ハ七分搗ノ精米ヲ  
以テ基礎トシテ居ルノデアリマス、七分搗  
ノ精米ト致シマシテ勘定シタ二合三勺デゴ  
ザイマス

○吉植委員 七分搗デハアリマスガ、二合  
三勺ト云フモノヲ計ル上ニ、一石ハ百四十  
「キロ」ト決マツテ居リマス以上ハ、此ノ  
一石ガ百四十「キロ」デアリマスカラ、一合  
ト云フモノハ幾ラニナリマスカ、〇・一四「キ  
ロ」デアリマスカ、其ノ計算ニナツテ居リ  
マスカ

○湯河政府委員 玄米ノ百五十「キロ」ト申  
シマスノデ政府ハ買ツテ居リマスガ、ソレ  
ヲ營團ニ拂下ゲマス時ニハ玄米デ拂下ゲマ  
ス、今營團ノ手ニ入リマス、ソレガ精白  
サレマシテ消費者ノ手ニ渡ル時ニハ精米ト  
シテ行クノデアリマスガ、其ノ時ニ二合三  
勺ト云フノハ實ハ吾々ノ口ニ言ヒ易イカラ  
サウ申シテ居リマスノデ、或ハ三百三十「グ  
ラム」トカ、「グラム」デ配給シテ居ルノデ  
ゴザイマシテ、今デハ米ハ全部重量建デ一

貫シテ居ルノデゴザイマス、ソレデ玄米ノ  
政府ノ買上値段ト申シマスノハ、玄米トシ  
テノ百五十「キロ」ニ對スル値段ガ決メテゴ  
ザイマス、精米小賣價格ノ方ハ精米トシテ  
ノ「グラム」建ノ値段ガ決マツテ居ルノデア  
リマス

○吉植委員 分リマシタ、詰リ百四十「キ  
ロ」建ノ二合三勺デアルト云フコトガ分リ  
マシタ、サウ致シマス、今度ハ來年ノ米  
穀事情ノ問題ニ移リマスガ、今日國民ハ四  
千万石食ベテ居ルト假定致シマシテ、實ハ  
四千万石食ベテ居ラナイノデアリマス、農  
民ガ出シマスル四千万石ハ四千万石デアリマ  
スガ、國民ガ食フ四千万石ハ百四十「キロ」  
建ノ四千万石デアリマスカラ、隨テ國民全  
體ガ食ベテ居リマス米ハ、二合三勺ニアラ  
ズ、二合一・五勺ヨリ食ベテ居リマセス、是  
ハ今日食糧事情ガ緊迫シテ居リマスル時  
ニ、容易ナラナイ政治上ノ責任ガ茲ニ生ジ  
マスト共ニ、來年度ノ米ノ計算ニ移リマス  
ト、大體ニ於テ一石ニ付テ十「キロ」、之ヲ四  
千万石供出スルト云フコトヲ土臺ニ致シ  
マス、慥カ二百六十万石カ茲ニ開キガ出  
來マス、本年ノ勘定ヲ以テ來年ノ米穀事情  
ノ推算ヲ致シマス時ニ於テハ、此ノ二百五、六  
十万石ガ穴ガ明クコトニナリマス、即チ今  
日ハ此ノ二百五、六十万石ト云フモノヲ食  
糧營團ガ食ベテ居ルノデアリマス、國民ハ喰  
ハナイノデアリマス、是ハ實ニ私ハ政治上  
由々シキ一大問題ト考ヘマス、今日國民ガ  
食ベテ居ルノナラ宜シイ、米ヲ食ベテ滿腹  
致シテ居ルノナラ宜シイノデゴザイマス  
ガ、二合三勺デハ足ラズシテ、子供ノアル  
家、或ハ輕工業、重工業其ノ他ノ勞働者、是  
等ガ食糧ノ不足ヲ懸ヘテ居リマス時ニ、食

糧營團ニ一・五勺ヲ奪ヒ去ラレテ居ツテ、國  
家ニ與ヘル二合三勺ハ實ハ二合一・五勺ナリ  
ト云フコトヲ知リマシタ時ニ、是ハ容易ナ  
ラザル政府ノ責任ト考ヘル、此ノ點ニ於キ  
マシテ、私ハ食糧増産ト云フモノハ聖業デ  
ゴザイマシテ、此ノ食糧増産ガ成ルカ成ラ  
ヌカハ國ノ浮沈ニ關スル今日ノ一大事デ  
ゴザイマス、食糧營團ノ一面目ト云フコト  
ハ問題デハゴザイマセス、實ハ農林大臣ノ  
御出席ヲ得テ此ノ話ハ申上ゲタイト思ヒマ  
シタガ、大臣ハ遅レルト云フ話デアリマスカ  
ラ、此ノ事ヲ此ノ席上デ御話申上ゲテ置キ  
マス、大臣ニ御傳ヘ下サイマシテ、文書ナ  
リ何ナリデ宜シウゴザイマスカラ、大臣ヨ  
リ御答辯ヲ御願ヒ致シマシテ、私ノ質問ヲ  
終リマス

○湯河政府委員 今日ノ吉植サンノ仰セ、非  
常ニ御熱心ナ主張デゴザイマスガ、吾々ト  
致シマシテハ配給ノ問題ハ、實ハ集荷カラ  
配給マデ一貫シテ「グラム」建、「キロ」建デヤ  
ツテ居ルノデアリマシテ、二合三勺ト申シ  
マスノハ會テ二合三勺ト稱シタノデアリマ  
ス、初メカラ是ハ「グラム」建デ配給ヲ致シ  
テ居ルノデアリマス、其ノ結果デゴザイマ  
ス、別ニ其ノ間ニ胡麻化シモ何モナイト思  
ツテ居リマス、併シ今ノ御話ヲ能ク伺ツテ  
見マス、食糧營團ガ何カ其ノ間ニ利益ヲ  
得テ居ルヤウナコトガアリハシナイカト云  
フ御趣旨デヤナイカトモ思ヒマス、其ノ點  
ニ付キマシテハ私達營團ノ監督ノ責任ヲ持  
ツテ居ル者ト致シマシテハ、御注意ヲ受ケ  
ルマデモナク十分ヤツテ居ル積リデアリマ  
ス、營團ノ經理等ハ吾々ノ方デ一々監督シ  
テ居リマスノデ、苟クモ世間ノ人カラ疑惑  
ヲ持タレルヤウナコトガゴザイマスレバ、

之ヲ嚴重ニ戒飭シテ参リタイト思ツテ居リマス、只今ノ精米ノ小賣價格ハ、是ハ法律ニ基キマシテ、正當ニ告示ラシタル價格ヲ取引シテ居ルノデアリマシテ、若シ營團ニサウ云フ風ナ「マージン」ガ殘ルト致シマスレバ、是ハ寧ロ價格ヲ自身ヲ改訂シテ、問題ヲ處置スベキモノト思ツテ居リマス、營團ガ配給上ニ於テ何カ不正ヲシテ居ルト云フヤウナコトハ、私ハ萬ナカラウト信ジテ居ル次第デアリマス

ラ、先程ノ答辯ヲ此ノ際願フコトニ致シマス、併シ是ハ數字ニ互リマスカラ、速記ヲ中止致シマス

〔速記中止〕

○吉植委員 オ終ヒニスル積リデアリマシタガ、一言申シ添ヘテ置キマス、兎ニ角百五十「キロ」デ國民ガ供出致シマシタモノガ、國民ノ半數デアリマス消費階級ノ手ニ渡ル時ハ百四十「キロ」、是ハ明カナ事實デゴザイマス、昭和十八年産米カラハ百五十「キロ」ハ百五十「キロ」ヲ以テ國民ノ手ニ入リマス、サウ致シマス「グラム」デ計算シヨウガ、何デ計算シヨウガ、俗ニ言フニ合三勺一人當リト云フコトニナリマス、昭和十八年産米カラハ本當ニ合三勺ニナル、是ハ「グラム」ニ換算シテ幾ラニナルカ私ハ知リマセスガ、是ハ百五十「キロ」建ノ二合三勺トナリマス、今日ハ百四十「キロ」建ノ二合三勺、ソコニ大キナ差ガ出來マシテ、四千百万石ヲ土臺ト致シマス、茲ニ約二百六十万石ノ差ガ出ルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、是ハモウ爭フコトノ出來ナイ事實デゴザイマス、此ノ點ニ付テ政府ハ慎重ニ一ツ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、而シテ大臣カラ御返事ヲ承リタイノデゴザイマス

○高田委員 大體分リマシタ、ソコデ私ニ、三一寸希望ヲ申上ゲマスガ、ソレハ斯ウ云フノデス、先程モ一寸御話ガアリマシタガ、斯ウ云フ時代ニナツテハ米穀移出管理特別會計ガ、一錢デモ農民ノ頭ヲ刎ネルヤウナコトハ止メテ戴キタイ、サウ云フコトガ私ノ眞ノ希望デス、農民ニ氣持好ク作ラセルヤウニスルニハ、一錢デモ一圓デモ取ルヤウナコトガアルトイケナイカラ、ソレヲナイヤウニスルコトト、ソレカラアナタノ方ノ主計課長カラ色々御話ガアリマシタガ、農家ノ手取りハ今度十八年度第二期米ニナツテ補給金ヲ出ス、サウスルトドウナルカト云フト、農家ノ手取りハ四十四圓五十錢デス、内地ノ自作農ハ六十一圓五十錢、ソコニ約十七圓ノ開キガアル、勿論事變前ヨリ色々ノ生産費ノ關係等カラ、内地ノ生産者ニ渡ル米ノ價格ト、臺灣ノ農民ノ手許ニ渡ル米ノ價格トハ多少ノ差ガアリマス、ソレハ生産費ガ安イト云フコトカラ、隨分生産費ノ問題デ私共臺灣ノ當局ト爭ツタコトガアル、併シ成程ソレハ生産費モ違フガ、兎モ角モ同ジ米デ、多少品質ハ違ヒマスガ、臺灣ノ農民ノ百姓ノ手ニ入ルト、内地ノ農民ニ入ルト、一石ニ付テ十七圓ノ開キガアルト云フコトハ、ドウシテモ私ハ臺灣ノ農民トスレバ好イ氣持デヤナイト思ヒマス、而シテソレハドチラカト云ヘバ、コチラニ入ツテ呉レバ臺灣ノ米ハ内地ノ米ト同ジ値デ賣ラレテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フコトモドウモ相當ニ臺灣ノ

島民ノ氣持ヲ害スルコトト私ハ信ジマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ今此處デ御答ヘヲ求メル譯デハゴザイマセスガ、兎モ角モ一石ノ米デモ餘計作リタイト云フ時代デアリマスカラ、在來ノ觀念ニ四ハレズシテ、思切ツテ私ハ元ノ産米デアレバ宜イガ、十七圓モ一石ニ付テ値開キガアルト云フ政策ハ、御考慮ノ必要ガアルト思ヒマス、是ガ第二點デアリマス、モウ一ツハ臺灣ニ産業組合ガ各町村ニ出來テ、産業組合聯合會モ出來テ居ル、然ルニ法律ニ依ラザル納入組合ト云フモノガアリマシテ、是ガ臺灣ノ米ヲ全部集荷シテ、之ヲ政府ノ手ニ渡スノデアリマスガ、是ノ利益ト云フカ經費ト云フカ、ソレハ相當ナモノデアリマシテ、兎ニ角ソレガ爲ニ一石二圓以上ニナツテ居リマス、是モ農民ノ心理ヲ非常ニ害シテ居ルヤウニ承ツテ居リマスカラ、産業組合ガ全島ニ互ツテ出來テ居ルガ、産業組合聯合會ガ出來タ以上ハ、法律上ノ根據ノナイ納入組合ナドハ廢メテ——アナタハ産業組合聯合會ノ會長ト云フコトデアルガ、サウ云フモノハ第一ニオ廢メニナツテ、産業組合ニズツト集荷サシテ、産業組合ガ集メタモノヲ産業組合聯合會ヲ通ジテ政府ニヤル、サウ云フコトニ依ツテ相當農民ノ搾取量モ減ル譯デアル、外ニモ二、三ゴザイマスケレドモ、私ハ此ノ三點ヲ要望シマス、是ハ臺灣ノ農民ヲシテ氣持ヨク米作農業ニ從事サセル爲ニハ執ルベキ適當ノ政策ト思フカラ申上ゲル次第デアリマス

部分ノ出席シタ人々ガ總テ認識サレマシテ、滿場一致ノ決議案ヲ得タノデアリマス、ソレヲ只今朗讀致シマスガ、議員全體ノ總意デアルト認識サレテ十分御返事サレシコトヲ望ミマス

「政府ハ決戰下食糧ノ自給確保上之ガ生産ニ要スル肥料及ビ農機具ニ付テハ戰時行政職權特例ニ定メラレタル五大重要産業ト同列ニ取扱ヒ速力ニ其ノ實現ヲ期スベシ」

肥料及ビ農機具ト同等ニ考ヘネバナラスモノハ人ノ問題デアリマス、今町村農會ヲ廻ツテ見テ、其ノ農會ノ指導者ガ優秀デアリ、又相當ニ人員ノ整ツテ居ル所ハ立派ナ成績ヲ擧ゲテ居リマス、然ラザル所ハサウ云フ風ニナツテ居ラスノデアリマス、ソレハ私共ガ第一線ノ指導ニ於テ一番感ズル所デアリマス、所ガ今日ノ狀態ハ、技術員モ一箇町村ニ二名ト云フコトニナツテ居ルガ、是ガ或ハ一名デアリ、或ハ應召等ニ依ツテ全然ナイ所モアリマス、殆ンド豫定ノ七、八割程度マデ人員ガ揃ツテ居ナイ、是デハ到底指導ガ旨ク行カスノデアリマス、事務的ノ色々ナ處理ニ追ハレテ、本當ノ指導ニ手が届カナイ、是デハドウシテモ増産ヲ期シ難イト思フ、要スルニ増産ノ秘訣ハ人デアリマス、併シ此ノ際人ヲ欲シイト云ツテモナイデアリマスカラ、現在各町村ニアリマス所ノ共勵員ヲ全面的ニ活用スル、所ガ今ノヤウニ共勵員ニ十圓又二十圓ノ金ヲ渡サレテモ駄目デアル、所謂共勵員ヲシテ十分ニ活動サセル爲ニハ、私ハ一ツ考ヘタノデアリマス、共勵員ノ查察隊ト言ヒマスカ、此ノ間企畫院デヤラレタヤウナ——甲ノ共勵員ハ乙ノ村ヘ行ツテ查察ラシテ指導スル、乙

○高橋委員長 ソレデハサウ云フコトニシテアナタノ質問ヲ打切ツテ戴キマス——高田サン、總務長官ガ見エテ居ラレマスカ

○成島委員 今日正午ニ有志代議士會ヲ開キマシテ、食糧増産ニ對スル肥料及ビ農機具ガ如何ニ重大デアルカト云フコトヲ、大

部分ノ出席シタ人々ガ總テ認識サレマシテ、滿場一致ノ決議案ヲ得タノデアリマス、ソレヲ只今朗讀致シマスガ、議員全體ノ總意デアルト認識サレテ十分御返事サレシコトヲ望ミマス

「政府ハ決戰下食糧ノ自給確保上之ガ生産ニ要スル肥料及ビ農機具ニ付テハ戰時行政職權特例ニ定メラレタル五大重要産業ト同列ニ取扱ヒ速力ニ其ノ實現ヲ期スベシ」

肥料及ビ農機具ト同等ニ考ヘネバナラスモノハ人ノ問題デアリマス、今町村農會ヲ廻ツテ見テ、其ノ農會ノ指導者ガ優秀デアリ、又相當ニ人員ノ整ツテ居ル所ハ立派ナ成績ヲ擧ゲテ居リマス、然ラザル所ハサウ云フ風ニナツテ居ラスノデアリマス、ソレハ私共ガ第一線ノ指導ニ於テ一番感ズル所デアリマス、所ガ今日ノ狀態ハ、技術員モ一箇町村ニ二名ト云フコトニナツテ居ルガ、是ガ或ハ一名デアリ、或ハ應召等ニ依ツテ全然ナイ所モアリマス、殆んど豫定ノ七、八割程度マデ人員ガ揃ツテ居ナイ、是デハ到底指導ガ旨ク行カスノデアリマス、事務的ノ色々ナ處理ニ追ハレテ、本當ノ指導ニ手が届カナイ、是デハドウシテモ増産ヲ期シ難イト思フ、要スルニ増産ノ秘訣ハ人デアリマス、併シ此ノ際人ヲ欲シイト云ツテモナイデアリマスカラ、現在各町村ニアリマス所ノ共勵員ヲ全面的ニ活用スル、所ガ今ノヤウニ共勵員ニ十圓又二十圓ノ金ヲ渡サレテモ駄目デアル、所謂共勵員ヲシテ十分ニ活動サセル爲ニハ、私ハ一ツ考ヘタノデアリマス、共勵員ノ查察隊ト言ヒマスカ、此ノ間企畫院デヤラレタヤウナ——甲ノ共勵員ハ乙ノ村ヘ行ツテ查察ラシテ指導スル、乙

部分ノ出席シタ人々ガ總テ認識サレマシテ、滿場一致ノ決議案ヲ得タノデアリマス、ソレヲ只今朗讀致シマスガ、議員全體ノ總意デアルト認識サレテ十分御返事サレシコトヲ望ミマス

「政府ハ決戰下食糧ノ自給確保上之ガ生産ニ要スル肥料及ビ農機具ニ付テハ戰時行政職權特例ニ定メラレタル五大重要産業ト同列ニ取扱ヒ速力ニ其ノ實現ヲ期スベシ」

肥料及ビ農機具ト同等ニ考ヘネバナラスモノハ人ノ問題デアリマス、今町村農會ヲ廻ツテ見テ、其ノ農會ノ指導者ガ優秀デアリ、又相當ニ人員ノ整ツテ居ル所ハ立派ナ成績ヲ擧ゲテ居リマス、然ラザル所ハサウ云フ風ニナツテ居ラスノデアリマス、ソレハ私共ガ第一線ノ指導ニ於テ一番感ズル所デアリマス、所ガ今日ノ狀態ハ、技術員モ一箇町村ニ二名ト云フコトニナツテ居ルガ、是ガ或ハ一名デアリ、或ハ應召等ニ依ツテ全然ナイ所モアリマス、殆んど豫定ノ七、八割程度マデ人員ガ揃ツテ居ナイ、是デハ到底指導ガ旨ク行カスノデアリマス、事務的ノ色々ナ處理ニ追ハレテ、本當ノ指導ニ手が届カナイ、是デハドウシテモ増産ヲ期シ難イト思フ、要スルニ増産ノ秘訣ハ人デアリマス、併シ此ノ際人ヲ欲シイト云ツテモナイデアリマスカラ、現在各町村ニアリマス所ノ共勵員ヲ全面的ニ活用スル、所ガ今ノヤウニ共勵員ニ十圓又二十圓ノ金ヲ渡サレテモ駄目デアル、所謂共勵員ヲシテ十分ニ活動サセル爲ニハ、私ハ一ツ考ヘタノデアリマス、共勵員ノ查察隊ト言ヒマスカ、此ノ間企畫院デヤラレタヤウナ——甲ノ共勵員ハ乙ノ村ヘ行ツテ查察ラシテ指導スル、乙

ノ共勵員ハ丙ノ村ヘ行ク、丙ノ共勵員ハ丁ノ村ヘ行ク、丁ノ共勵員ハ甲ノ村ヘ行ク、ソレニハ相當ノ經費ヲ與ヘテオ互ガ本當ニ協力シ合ツテ行ク、サウシナカッタナラバ現在ノ狀態ハドウモ指導ガ行届キマセヌ、私ハ試ミニ千葉縣ノ或ル郡デヤツテ見タガ非常ニ成績ガ好イ、併シ如何セン、ソレニ伴フ經費ガナクテ困ツテ居リマス、其ノ點ニ於テハ十分農林省ハ助成サレテ、共勵員ヲ全面的ニ活用サレ、増産ニ支障ノナイヤウニヤラレルカドウカ、一寸其ノ點ヲ承リタイ

○石黒政府委員 篤農家或ハ老農ノ技術ヲ活用シ、又ソレ等ノ人々ニ一般農家ノ指導ヲシテ戴クト云フコトニ付テハ、吾々ハ深クソレノ實現ヲ希望シテ居リマス、ソレニ付キマシテハ只今御話モゴザイマシタガ、例ヘバ共勵員ノ委託費ヲ直チニ増額スルト云フヤウナコトガ出來マスカドウカ、是ハ姑ク別ニシマシテ、兎ニモ角ニモ今御話ノヤウナ、サウ云フ人ガ實際ニ働キ易イヤウニ向フヤウニ、一ツ能ク皆方トモ御協議致シマシテ、出來ルダケノ處置ヲ執リタイト考ヘテ居リマス

○成島委員 今ノ共勵員ノ活用ノ問題ハ十分御考ヘ置キテ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ増産スル上ニ支障ヲ來スモノハ、ヤハリ第一線ニ於キマシテハ輸送ノ問題デアリマス、今日貨物自動車ガ統制サレマシテ皆統合サレタ結果、今マデ農村ニ於テ相當有效ニ働イテ居ツタ貨物自動車ガ其ノ通り行カナクナツタ、是ハ大キナ問題デアリマス、殊ニ停車場ニ遠イ町村ニ於テハ非常ナ問題デアリマス、其ノ爲ニ腐敗シタリ色々ナ支障ガ起ツテ來マス、ソコデ一ツ郡農會ナリ

郡ノ農會ナリニ、或ル程度ノ貨物自動車ヲ持タセルコトヲ政府ハ試ミタラドウカ、ソコニ二臺ナリ三臺ノ自動車ガアレバ相當運用ガ利クノデアリマス、何トカ其ノ方法ヲ考ヘラレテ、各郡農會ヲシテ輸送上ニ遺憾ナキヲ期スル爲ニ、貨物自動車ヲ所有サセルト云フ工合ニ指導スルコトハドウデゴザイマセウ、一ツ御所見ヲ伺ヒタイ

○石黒政府委員 實際農産物ノ集荷ノ上カラ見マシテ、サウ云フコトガ出來マスナラバ非常ニ結構ダト思ヒマス、唯果シテサウ云フコトガ今日ノ狀態ニ於テ出來ルカドウカ、此ノ點ハ其ノ方面ノ當局ニ能ク聽イテ見ナイト分リマセヌガ、或ハ資材關係カラ難カシイノデヤナイダラウカト云フコトヲ憂フル次第デアリマス

○成島委員 何モ新シイ自動車ヲ持ツ譯デナシ、現在アル自動車ヲ農會ニ相當運用出來ルヤウニシテ下サレバ宜イノデアリマス、ソレ位ノコトハ農林省ガ骨ヲ折ツテモ宜イト思ヒマスガ、ドウデスカ

○石黒政府委員 ソレハヤハリ鐵道省デ、古イモノデモ誰ニデモ讓ツテ呉レルト云フ譯ニハ中々イカヌヤウデアリマスガ、要スルニ物ガ果シテアルカドウカト云フコトガ一ツノ大キナ問題デアリマシテ、私ハ其ノ點カラ見ルト實ハ非常ニ悲觀的ニ考ヘテ居ルノデアリマス、古イ物デモ今相當色々ナコトニ使ツテ居リマスカラ……併シマダサウ云フコトハ當ツテ見タコトガアリマセヌノデ、一ツ鐵道次官アタリニ早速聽イテ見ルコトニ致シマス

○成島委員 今ノ輸送ノコトニ付テハ是ハ増産上離ルベカラザル關係ガアリマスカラ十分考ヘテ戴キタイ、自動車ハ郡或ハ警察

單位ニ統合サレテ居リマスガ、増産上車輛ヲ或ル程度郡農會ナリデ專用出來ルヤウナ工合ニ指導シテ貰ヒタイト思ヒマス

次ハ青果物ノ問題デスガ、是モドウモ輸送ノ問題ガハツキリシナイ、私ガ考ヘマスルニ、今日東京ニ青果物ノ荷受組合ガ出來テ居リマス、是ハ今マデ六ツカ七ツアツタノヲ、唯形式的ニ合同シタダケデアツテ、内容ハ少シモ合同ニナツテ居ラヌヤウニ思ハレル、私ハ此ノ荷受組合ト云フヤウナモノハモツト……社會性、公的性質ヲ持タナケレバナラヌト考ヘル、即チ七百万市民ニ如何ニシテ均等ニ少イ野菜ヲ配給スルカト云フコトヲ考ヘラレテ、本當ニ利益ヲ離レタ公的組合ニシタイノデアリマス、ドウモ現狀デハサウデナイヤウデアリマス、殊ニ吾々東京ノ附近デアリマスカラ始終ヤハリ今マデノ江東ノ組合トカ、神田ノ組合トカ云フヤウナ人々ガヤツテ來テ、折角農會ガ統制シテ居ル所ヲ攪亂シ、又今マデノ業者ト色々通謀シテ、ソレガ集荷統制ノ上ニ非常ニ妨ゲヲ來シテ居ル、之ヲ此ノ儘ニシテ置キマスナラバ到底計畫出荷ト云フモノハ不可能ニナツテ來マスカラ、此ノ點モ一ツ十分御考ヘ願ヒタイ、ソレカラ行商解消ノ問題、是モ隨分問題ニナツテ居リマス、速カニ何レカニ處置ヲ執ツテ貰ヒタイト思フ、行商ノ爲ニ闇ヲ起シ、又統制ヲ攪亂スル、行商ト共ニ惡イモノハ買出シ部隊デアアル、今輸送ガ非常ニ困難シテ居ルノニ、買出シ部隊ガ背中ニ背負ツタ荷ノ爲ニ一層混亂ヲ來シテ居ル、若シ是等ヲ是正シタナラバ、輸送ヲ緩和スルト同時ニ、町村ノ團藝出荷組合、郡團藝出荷協會ト云フモノガ能率ヲ上ゲルコトガ出來ルノデアリマスガ、其ノ爲ニ出來ナイ、是

等ニ付テドウ云フ御考ヘヲ持タレテ居リマスルカ、承リタイ

又青果物ノ一人當リノ搬出量ガ一日八貫目位ニ決マツテ居リマスガ、是モ改正サレルト聞イテ居リマスガ、未ダドウナツテ居ルカ分リマセヌケレドモ、是モコンナコトヲシテ居ツテハ到底仕樣ガナイ、何同モノモ持込メバ同ジコトデアリマス、是モ統制上非常ナ妨ゲヲシテ居リマスカラ、一日二貫目ナラ二貫目トシテ、町村農會ナリ町村長ノ許可ノ下ニ持ツテ來ルト云フ風ニシマシテ、是ハハツキリシナカッタナラバ、是ハ統制上困ルノデアリマス、殊ニ私ガ非常ニ憂ヘル所ハ、空襲デモアリマシタ場合ニ於テハ、青果物ノ配給所ハ困ツテ來ル、計畫ガ立たヌノデアリマス、各町村カラ勝手ニ持チ出シタラ、何處ノ村ニドウナツテ居ルカ分ラヌ、此ノ點ドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居リマスガ、一ツ御所見ヲ承リタイ

○石黒政府委員 行商ノ整理ノ問題ハ青果物ノ配給統制規則ニ依ツテ關係縣縣デ以テヤツテ戴クヤウニ私記憶致シテ居リマス、尙ホ豫ネテ御話ノヤウナコトハ承知致シテ居リマスノデ、主務局省ノ方ニ付キマシテ能ク調ベテ見タイト思ツテ居リマス、ソレニ關聯致シマシテ今ノ八貫目、五貫目ノ問題デアリマスガ、之ニ付キマシテハ實ハ先般農林省ト致シマシテ一應ノ考ヘヲ纏メマシテ、近頃ハ斯ウ云フコトハ總テ企畫院ヘヤハリ相談シテ、政府全體トシテ決メルコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、相談ヲ持掛ケテ居リマシタ所ガ、丁度大臣ノ御更迭ガアリマシタノデ、ソレデ又企畫院カラモウ一度吾々ノ部内ニ戻シテ參リマシテ、ソナナヤウナ關係デ實ハ少シ遅レテ居ルヤ

ウナ譯デアリマス、近ク改メテモウ一度企畫院へ持込ミマシテ、成ベク早急ニ纏メタイト考ヘテ居リマス

○成島委員 是ハ地方デ非常ニ困ツテ居ルヤウデアリマス、殊ニ都市ニ接近シタヤウナ處デ非常ニ困ツテ居リマス、早ク決定ヲ見スカト云フコトデ非常ニ困ツテ居ル、是ハ早急ニ決メル譯ニハ行キマセスカ

○石黒政府委員 是ハ農林大臣ノ責任ニ於テヤハリ御決メニナリマス、御承知ノヤウニ、是ハ打割ツタ話デアリマスガ、大臣御就任以來應急ノ主要食糧問題デ非常ニ問題ガアリマシタノデ、部内ニ於テモ多少速慮シテ斯ウ云フヤウナ問題ハ後廻シニシテ、持ツテ行カナカツタヤウナ關係モアリマス、旁、シマシテ遅クナツテ居リマスガ、早急ニ纏メマス

○成島委員 是ハ早急ニ一ツ決定サレテ、青果物ノ配給統制上遺憾ナクヤラレンコトヲ希望シテ私ノ質問ヲ打切りマス

○高橋委員 村上サン

○村上委員 宜シウゴザイマス

○高橋委員長 ソレデハ森口君、極ク簡單ニ願ヒマス

○森口委員 先程ノ質問デ一寸落シマシタカラ、一ツダケ御伺ヒシテ置キタイと思ヒマス、樋口君ノ質問ト木村君ノ質問カラ考ヘ付キマシタガ、主要食糧ノ供出ト云フ問題デアリマスガ、是ガ圓滑ニ行クト云フコトガドウモハツキリシナイ、是ハモウ簡單明瞭ナコトダト私ハ考ヘテ居リマス、各地方ヲ廻ツテ歩キマシテ、精農家ガ損ヲシテ情農家ガ得ヲスル、正直者ガ馬鹿ヲ見テ不正直者ガ得ヲスルト云フヤリ方デス、ソレハ現在ヤツテ居ル獲レ高ニ依ツテ供出ヲス

ルト、結局今言ツタヤウナ結果ニ陥ル、斯ウ云フノガ供出ニ對スル現在ノ間違ヒデアル、是ハドウシタツテ精農家ガ得ヲシテ情農家ガ損ヲスルト云フ行キ方デナケレバナラヌ、ソレデアリマスカラ、種蒔キ以前、植付ケ以前ニ町村部落ノ共同責任ヲ以テ供出量ヲ決定スル、即チ種蒔キ前、植付ケ前ニ供出ノ割當ヲスル、サウシテヤレバ農家ハソコニ計畫性ヲ持つテ來ル、自分ノ家ハ今年ノ麥ナラバ、飯米ニスルノハドレダケ、雖ノ飼料ハドレダケ、牛ノ飼料ハドレダケ、サウシテ總計ドレダケノモノガ要ル、供出ハ是ダケ、ダカラニ一反歩ナリニ一反五畝ナリ作ルト云フヤウニ計畫性ヲ持タセレバ、百姓ハ喜ンデ生産ニ邁進スル、色々ナ理窟ヲ付ケレバアリマスガ、事ノ大小輕重ト云フ問題カラ考ヘマス、理窟ヲ言ツテ居ル時デキナイ、ソレデアリマスカラ此ノ點ハモウ總テ理窟ヲ止メテ事前割當ヲスルト云フ方法ヲ執ラレンコトヲ私ハ切ニ希望致シマス、之ニ對スル農林大臣ノ御答辯ヲ戴キタイノデスガ、居リマセヌカラ、後カラ書面デモ結構デアリマスカラ、之ヲ希望シテ置キマス

○高橋委員長 一寸委員長カラ申上ガマス、先程吉植君カラ質問致シマシタ揚キ減リノ問題デスガ、是ハ先程ノ質疑應答ニ於キマシテハ書面ヲ以テ御答ヘフスルト云フコトニナツテ居ツタノデスガ、相當吉植君ノ疑點ハ深イラシイノデアリマシテ、モウ一應私カラ御質問申上ガマスカラ、此ノ際御答ヘガ出來マナラバ御答ヘラ願ヒタイ、七分搗米ハ歩留リガ九四%、特ニ現在東京ナドデハ歩留リガ九九%ニナツテ居ル、此ノ米ヲ配給シテ其ノ間ニ五%ノ餘剰ガ出來ルト想像スル、サウスルト、是ハ一石ニ付テ

約二圓五十錢ノ利益ト、搗精度定價ニ依ル費用ノ低減ダケ食糧營團ハ利益ヲ得ル、是ハ四千万石ノ數字ニ此ノ關係ヲ掛ケルト一億圓ト云フヤウナ巨大ナ數字ガ出テ來デ、是ガ中間搾取デアルヤノ疑ヒガアルノデアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテ御當局ハドウ云フ御考ヘデアリマスカ

○湯河政府委員 實ハ其ノ問題ハ結局精米小賣價格ノ決メ方ノ問題デゴザイマシテ、精米小賣價格ヲ決メマシタ時ハ丁度七分搗ヲ五分搗ニ直シマス前ニヤツタノデアリマス、五分搗ニナリマススト九六%——九六%ノ米ヲ基準ニ致シマシテ、ソレカラ九九%ノ米モ世間ニ出テ來ルカト思ヒマシテ、ソレヲ一々一%毎ニ値段ヲ付ケルト云フコトモ實情ニ於テ其ノ搗精度ノ違ヒニ依リマシテ、消費者ノ手ニ入ル米ノ價格ガ區々ニナルノデアリマスカラ、是モ定メシ御困リデアラウト思ヒマシテ、九六%カラ九九%マデニ米ノ價格ヲ一律ニ決メタノデアリマス、只今御質問ノ要點ハソコニアルノダラウト思フノデアリマス、九六%乃至九九%ニ搗上リノ米ヲ一律ニ決メタイト云フ所ニ何カ非常ニ暗イ所ガアルヤウニ御感ジ戴クノデゴザイマス、併シ此ノ點ハ公定價格ヲ付ケマスノニモ、ヤハリ「グルーブ」「グルーブ」ニ價格ヲ決メテ行クコトニナリマススト斯ウ云フモノガ出テ來ルコトニナルト思フノデアリマス、其ノ計算ノ基礎ニ取ツテ居リマス所ハ、私モ今ハツキリ記憶シテ居リマセスガ、九六%カラ九九%ノ間デ米ガ賣買サレルトシテ、或ル場合ニハ九九%ノコトモアリマセウシ、或ル場合ニハ九六%ノコトモアルノデゴザイマシテ、其ノ間ニ出テ來ル價格ト云フモノヲ豫想致シマシテ公定

價格ヲ決メテ居ルノデアリマス、其ノ結果ソレヲ極端ナ場合ヲ押ヘテ計算ナシマスト、只今高橋サンノ仰セノヤウナ計算ガ出ルノデハナイカト思ヒマス、是ハ公定價格ノ基礎ニ關スルコトデゴザイマスノデ、吾々トシテモ十分注意ヲシテ處置ヲ付ケテ積リデアリマス

○高橋委員長 大體小賣公定價格ヲ決メル時ノ標準ノ定メ方ガ此ノ問題ノ疑念ノ的ニナツタヤウニ伺ツタノデアリマスガ、何モヨ此ノ問題ハ農民ノ方モ眞劍ニ國家ノ爲ニ御奉公スル積リデ供出モシテ居ルノデアリマシテ、其ノ間ニ一錢一厘デモ暗キ影ガアル如キ感ジヲ持タセルコトハ重大問題デアルト存ジマス、而モ其ノ數量ハ四千万石ト云フ風ナ多額ノ數量ニ取扱數ガ上リマスル爲ニ、此ノ「パーセンテージ」ハ少ク聞エテモ、結果ノ數字ハ非常ニ大キナモノニナルノデアリマス、デアリマスルカラ今ノ御話ノヤウニ九六%カラ九九%ノ間ノ差額ガ中々決メニクイカラ、一應九六%ト九九%ノ「ノミナル」ノ價格ヲ決メタト云フヤウナ御話デアリマスガ、是ハ今申上ゲルヤウニ農民ニ少シデモ暗イ影ノアルヤノ如キ感ヲ持タセルコトハ、重大ナル結果ヲ招來スルノデアリマスカラ、出來ル限り農民ニ納得ノ行ケルヤウニ御工夫ヲ願ヒタイと思ヒマス

○三善委員 關聯シテ一寸伺ヒタイ、是ハ非常ニ重大ナ問題ノヤウデアリマス、私ガ今一寸計算致シマシテ、食糧管理局長官ノ言ハレルヤウニ九六%ト致シマス、四千万石ノ米ハ三千八百四十万石ニナツテ、百六十万石ノ搗減リニナリマス、然ルニ先程申サレタ通り百五十「キロ」ガ買上ダタモノヲ、百四十「キロ」ノ計算デ配給スルト致シマス

ト、玄米四千万石ニ對シテ二百八十五万七千石タケノ餘裕ガ出マス、隨テ百四十「キ」デ配給サレル場合ノ二百八十五万七千石ト先程ノ搗減リノ百六十万石ノ間ニハ、百二十五万七千石ノ相違ガアリマス、ソコニ非常ナ矛盾ガアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ餘程御研究下サツテ今後ノ價格ノ問題ヲ御決メニナラナイト、農村ニ於テ非常ナ疑惑ヲ生ジマスカラ、能ク御調ベ下サルコトガ必要ダト思ヒマス

○石黒政府委員 問題ハ簡單ナンデスカラ一ツ懇談會ニシテ戴イテ……

○高橋委員長 ソレデハ速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○高橋委員長 ソレデハ速記ヲ始メテ下サイ——東郷君

○東郷委員 今朝來内外地其ノ他共榮園内ニ於ケル食糧事情ノ説明ヲ伺ヒマシテ、又本委員會ニ御提案ニナツテ居ル諸案ノ審議ガ熱心ニ行ハレマシテ大體了解致シマシタ、唯其ノ間内外地ノ問題ハ可ナリ突込シタ研究ガ行ハレタノデアリマスガ、其ノ他ノ東亞共榮園内ニ於ケル諸地方ノ食糧ノ問題ニ付テハ、今朝程山本大官ガ現下ノ食糧事情ヲ一通リ御話下スツタ程度ニ止マツテ居ルノデゴザイマス、併シ今朝來熱心ニ論議サレマシタヤウニ、食糧ノ問題ハ大東亞戰爭完遂ノ根幹ヲナスベキ重大問題デ、政府其ノ他國民ヲ擧ゲテ努力シナケレバナラス重大問題デゴザイマス、サウ云フ際デゴザイマスカラ、今マデ取殘サレタ問題ト致シマシマシテ、共榮園ト云フ大キナ區域ヲ一ツノ範圍ト致シマシタ我ガ國ノ食糧政策ト申シマスカ、食糧對策ト申シマスカ、其ノ根本ノ方針ヲ一應此ノ際承ツテ置クコトガ

適當デヤナイカ、斯ウ考ヘマス、デアリマスカラ、其ノ根本ノ方針ヲ承リ、且ツ其ノ根本方針ニ決ツテ居リマスナラバ、其ノ根本方針ニ從ツテ如何ナル具體的ナ方策ヲ御考ヘニナリ、或ハ御立デニナリ、或ハソレヲ實行ニ移シテ居ラレルカ、サウ云ツタ點ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○青木國務大臣 私ヨリ大東亞共榮園全般ニ通ズル概略ノ考ヘ方ヲ申上ゲマス、大東亞戰爭遂行ノ上カラ申シマシテ、又大東亞建設ト云フ見地カラ見マシテモ、此ノ食糧問題ノ重要性ニ付キマシテハ只今御話ノ通りト存ジマス、大東亞共榮園ハ元來全體トシテ見マスレバ、食糧ノ自給ノ可能ナル地域ト思フノデアリマス、從來ノ統計モ左様ニ示シテ居ルト思ヒマス、問題ハ各地域間ノ交流ヲ圓滑ニスル輸送ノ問題ト云フモノガ、常ニ其ノ困難ノ一ツノ重點ト今マデナツテ居ルヤウニ存ズルノデアリマス、殊ニ此ノ戰爭下ニ於ケル此ノ問題ノ重要性ニ鑑ミマシテ、昨大東亞建設審議會ニ於キマシテモ、我ガ國ノ主要食糧ニ付キマシテハ、是非トモ日滿ヲ通ズル地域ニ於テ自給ヲ圖リタイ、斯ウ云フ答申ニナツテ居ルノデアリマシテ、政府ニ於キマシテモ其ノ答申ニ基イテ凡ニ施策ヲ講ジテ居リマス、日滿ト申シマシテモ、殊ニ國內ノ増産ニ依ツテ出來ル限リノ自給ヲ圖ルト云フコトガ先ヅ第一ニナル、更ニ之ヲ補フモノトシテ滿洲ニ於ケル食糧ノ増産計畫ニ重點ヲ置イテ居ル次第デアリマス、滿洲國ニ於キマシテモ此ノ我ガ國ノ方針ニ協力致シマシテ、殊ニ昨年第二次五箇年計畫ヲ確定スルニ當リマシテハ、石炭ノ増産ト並シテ農産物ノ増産計畫ニ非常ニ重點ヲ置イテ凡ニ努力

ヲ拂ツテ居リマス、昨年ノ如キハ農産物ノ收穫量ハサウ良好デナカツタノデアリマスガ、非常ナル集荷上ノ努力ニ依ツテ前年ヨリモ以上ノ食料品ノ集荷ニ成功シテ、之ニ依ツテ我ガ國ニ對スル大豆其ノ他ノ供給、或ハ朝鮮、北支等ニ對スル雜穀ノ相當ノ供出ニ貢獻サレテ居ルコトハ御存ジノ通りデアリマス、今後ニ於キマシテモ國內ノ對策ト相俟ツテ、滿洲ニ於キマシテハ滿洲國側ノ耕作地ノ増加、耕作方法ノ改良、或ハ拓植民ノ活動、其ノ他或ハ集荷上ノ改良、凡ニ方法ヲ講ジテ此ノ日滿ヲ通ズル食糧ノ解決ニ努力致シテ居ル次第デアリマス

中華民國ハ食糧ノ問題カラ申シマスルト相當困難ナル地位ニアル國デアリマス、是ハ大東亞戰爭前ニ於キマシテモ相當長イ間毎年少カラザル量ノ食料品、即チ小麥ヲ始メトシテ外米、或ハ雜穀ノ輸入ヲ見、之ニ依ツテ需給ガ成立ツテ居ツタヤウナ國デアリマス、今日中華民國ニ於キマシテモ、此ノ食糧ノ問題ハ民生ノ問題、或ハ重要ナル我ガ國ノ戰爭必需物資ノ供出ト云フヤウナ點カラ考ヘテ見マシテモ、大變急ヲ要スル問題デアリマスノデ、國民政府ニ於テモ凡ニ努力ヲ拂ツテ是ノ生産増加ニ當ツテ居リマス、又我ガ國モ人ゴトデハアリマセヌノデ、此ノ計畫ニハ凡ニ協力ヲシテ居ルノデアリマス、中支ニ於キマシテハ小麥ヲ全部此ノ中支地方デ使フト致シマスレバ、大體自給ガ出來ルト思フノデアリマスガ、北支ニ相當ノ部分ヲ廻シテ居ル關係上、上海其ノ他ノ大都市ニ於テ必要トスル米ヲ現在ノ所ハドウシテモ南方地域ヨリ輸入セネバ需給ノ計畫ガ立タナイ狀況ニア

北支ハ從來カラモ最モ多ク不足シテ居ル地域デアリマスガ、殊ニ北支ニ於テハ我ガ國ノ立場カラ見マシテモ鐵、石炭、棉花、鹽其ノ他ノ重要物資ヲ此ノ地方ニ期待シテ居ル所ガ非常ニ大キイノデアリマシテ、是等ノ物資獲得ノ見地ノミカラ見マシテモ、北支ノ食糧問題ヲ解決スル爲ニハ、我ガ方トシテモ出來ルダケノ協力ヲ與ヘル必要ガアルノデアリマス、サウ云フ見地ニ於キマシテ北支自體ノ増産計畫ニ協力スル外、先程申シタ通り中支ヨリ小麥ヲ入レ、又滿洲ヨリ相當ノ雜穀ヲ入レ、更ニ南方地域カラモ或ル程度ノ外米ヲ入レルコトニ依ツテ、只今ノ所需給計畫ニ努メテ居ルノデアリマス、唯從來カラ「ストック」ガ段々ナクナツテ來テ居ルト云フヤウナ關係、或ハ昨年ノ或ル地方ニ於ケル旱魃ト云フヤウナ關係デ、一時相當窮迫ノ狀態モ呈シテ居ツタヤウデアリマスガ、最近ニ於テハ各方面ノ努力、又各政務委員會ノ方ノ取締ノ強化其ノ他ノ效果ニ依ツテ食糧關係モ稍安定ヲ見ツツアルヤウニナリマシタコトハ仕合セデアリマス

南支ニ於キマシテハ現在我ガ方、或ハ國民政府側ノ勢力範圍内ノ地域ハ消費都市ヲ中心トシテ居リマシテ、農産地方ヲ多ク持ツテ居リマセヌ爲ニ、ドウシテモ或ル程度南方ノ米ヲ入レテヤラナケレバ需給計畫ガ立タナイヤウナ狀況デアリマス、要スルニ支那ハ將來極力自給ニ努メルト致シマシテモ、現在ノ所中々其ノ域ニハ達シマセヌ、殊ニ我ガ國ト致シマシテモ先程申シタ通り棉花ノ栽培其ノ他ノ政策ヲ實行スル上カラ見マスルト、或ル期間ハドウシテモ他ノ地域カラ食糧ヲ補フト云フ政策ヲ併用スルニアラズンバ目的ヲ達シ難イヤウナ狀況ニア

ルト思フノデアリマス、茲ニヤハリ先程申シマシタ輸送ノ問題ニ付テモ考慮スル必要ガ生ジテ參ルノデアリマス、南方地域ハ勿論全體トシテ米ノ餘ル地域デアリマシテ、殊ニ佛印「タイ」「ビルマ」、此ノ三地方ハ相當ノ輸出餘力ヲ從來カラ持つテ居ルノデアリマス、現ニ佛印、「タイ」トモ其ノ餘力ヲ擧ゲテ我が國ノ必要、或ハ支那其ノ他ノ必要ニ之ヲ喜ンデ提供スルト云フ方針ニ話ガ進ンデ居ルノデアリマス

隨テ問題ハ是等ノ地方ノ米ノ運ビ出シニ必要ナル輸送關係、或ハソレ等ノ地域ノ港カラ我が國或ハ支那ニ持つテ來ル所ノ輸送問題、サウ云フ問題ガ殘ツテ居ルノデアリマス、軍政地域ニ付キマシテハ、只今ノ所極力各地域ノ自給ニ努メテ居リマス、是ハ先程申シマシタ通り、出來得ルガケ此ノ輸送ト云フ問題ノ負擔ヲ輕クスル爲ニ各地域トモ自給ニ努メテ居ルノデアリマス、但シ「マライ」ノ如キハ如何ニ努力致シマシテモ、近キ將來ニ於テノ自給ハ難カシト思ヒマス、是ハ直グ近イ所ノ「タイ」其ノ他ヨリ補給ヲスルコトニナツテ居リマス、勿論其ノ他ノ地域モ若干足りナイ、例ヘバ「ボルネオ」ノ如キハ今ノ所ハ直グハ足りナイノデ、之ヲ他ノ地域ヨリ補フト云フ交流ハ行ツテ居リマスガ、大體ニ於テ先程申シタ通り各地域ノ自給ニ努メテ居ルノデアリマス、問題ハ「ビルマ」デアリマシテ、是非常ニ餘力ノ多イ地域デアリマスガ、輸送關係等ニ於テ他ノ地域ノ不足ヲ補フコトハ中難カシイ、サリトテ之ヲ減ラスコトハ、民生ノ上カラ云ツテモ或ハ將來ノ計畫カラ見テモ好マシクナイノデ、是ハ出來ルダケ繼續サセル、已ムヲ得ザル部分ハ他ノ作物ニ轉換スルト云フヤウナ指導ヲサレテ居ル

ヤウデアリマス、要スルニ南方地域カラ支那、滿洲、我が國ヲ通ジテ見マシテ、此ノ自給ヲ圖ルト云フコトハ數字的ニハ可能デアリマスガ、輸送ノ問題ヲ加味シテ考ヘル場合ニハ、成ルベク我が國トシテハ國內、又國內ニ近イ滿洲其ノ他ニ於テ出來ルダケ補充シテ役目ヲ果ス、遠イ所ノ輸送ハ出來ルダケ少クスルト云フ方法ヲ進ムベク考ヘ、只今施策致シテ居リマス、但シ我が國ノ米ノ問題、或ハ支那ノ問題モ中々早急ニハ此ノ自給ノ實現ニハ至リマセズ、之ヲ如何ニシテ實現スルカト云フコトニ付キマシテハ相當ノ研究ヲ要シ、ソコニ考案ヲ要シマスノデ、只今モ大東亞建設審議會ノ特別部會ニ於テ、是等ノ具體案ニ付テ専門ノ皆樣ノ御協力ヲ得テ、銳意具體案ノ考究ニ進ンデ居ル次第デアリマシテ、成ベク早ク此ノ成案ヲ得テ之ヲ實行ニ移シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○東郷委員 只今ノ御説明デ大體ノ根本ノ御方針ハ分リマシタ、或ル點ニ於テハ今朝諸君カラ御伺ヒシタ米穀事情ガ主ヲナシテ居ルヤウデアリマシタケレドモ、兎モ角共榮園ト云フ大キナモノヲ擱マヘテ見テモ、食糧ノ問題ハヤハリ内地ニ重キヲ置ク、而シテ更ニ是ト近イ外地、滿洲等ニ中心ヲ置イテ、我が國トシテハ遺憾ナキ食糧國策ヲ樹立シテ行ク、斯ウ云フ御方針ハ明瞭ニナツタノデゴザイマス、兎モスルト南方ニ非常ナ米產地ガ出來タト云フノデ、此ノ根本ノ方針ヲ輕ンズルヤウナ考ヘヲ持つテ居ル人ガナキニシモアラズデアリマスガ、是ハ私ガ説明申上ゲルマデモナク非常ニ容易ナラス問題デゴザイマスカラ、殊ニ此ノ戰時ニ於テ斯ノ如キ意味ニ於テ、我が國ノ食糧問題ヲ樂觀スルガ如キハ非常ニ禁物デゴザ

イマスカラ、特ニ此ノ點ハ申上ゲテ置キタイト存ジマス  
ソコデ時間ガアリマセズカラ私モウ質問ハ申上ゲマセズ、其ノ根本方針ヲ承レバソレ宜シイノデアリマス、唯最後ニ本日ノ今マデノ質問應答等ヲ拜聴致シマシテ、感ジタ結果トシテ一言希望ヲ申上ゲテ置キタイト存ジマス、今回政府ガ應急對策トシテ御計畫ニナリマシタ計畫ハ洵ニ結構ナコトデ、私ハサウナクテハナラスコトト存ジマス、併シ先刻農林大臣モ御話ニナリマシタガ、是ハ謂ハバ本年度ノ食糧事情等カラ見テ、急ニ出來ルダケノ努力ヲシナケレバナラスト云フ所謂應急對策トシテ御計畫ニナツタノデアリマシテ、我が國ノ食糧ノ大局カラ見レバ極メテ是ハ小サナ問題デアルト存ジマス、私ガ不遠慮ニ申上ゲルト、アノ計畫、及ビ朝鮮、臺灣等ニ於ケル今度ノ法案等ニ於テ急ニ浮ンダノハ、丁度「落穂拾ヒ」ミタイイナモノデナイイカト云フ感ジガシタノデアリマス、併シ現下ノ此ノ食糧事情カラ言ヘバ、一粒ノ米、一塊ノ芋ト雖モ粗末ニシテハイケナイ時代デアリマスカラ、出來ル限り落穂拾ヒモ拾ツテ行クト云フ所ニ、國ヲ擧ゲテ全力ヲ盡スコトハ當然ノコトデアリマシテ、吾々大イニ努力シナケレバナラスト思ヒマス、ソレト同時ニ餘計ナコトヲ申シマスケレドモ、私ハアノ「ミレー」ノ描イタ有名ナ「落穂拾ヒ」ノ繪ヲ思ヒ出シタノデアリマス、非常ニ名畫デアリマス、併シ名畫デハアルガ、アノ繪ヲ見テ農村ノ平和ノ氣分ヲ味フコトハ出來ルケレドモ、吾々ガ生命懸ケデ努力シナケレバナラスト云フヤウナ氣分ハ、アノ「ミレー」ノ「落穂拾ヒ」ノ繪デハ出ナイヤウデアリマス、ソコデ今回御出シニナツタノハ、アノ「ミ

レー」ノ「落穂拾ヒ」ノ名畫ニモ比スベキモノト私ハ思ヒマスガ、併シ此ノ次ニ御計畫ニナル食糧ノ對策ハ、ドウカ政府ノ各關係ノ方々ノ全力ヲ御盡シニナツテ、本當ニ吾國國民ガ其ノ畫ヲ見レバ、奮ヒ起ツテ増産ニ進ム力ヲ示スヤウナ名畫ヲ一ツ描上ゲテ吾々ニ御示シテ願ヒタイ、其ノ下ニ此ノ大切ナ食糧増産ノ大キナ使命ヲ國ヲ擧ゲテ達成シテ行キタイ、斯ウ云フ感ジガシマシタカラ、此ノ點ヲ特ニ最後ニ御希望申上ゲテ置キマス

午後六時三十八分休憩  
午後八時二十八分開議

○高橋委員長 是ヨリ休憩前ニ引續キ開會致シマス、朝鮮食糧管理特別會計法案外二件ヲ一括議題トシテ討論ニ付シマス  
○馬場委員 討論ヲ省略シテ直チニ採決ニ入ラレントノ動議ヲ提出致シマス  
〔異議ナシ〕贊成〔ト呼ブ者アリ〕

○高橋委員長 馬場君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、是ヨリ採決ヲ致シマス、各案トモ原案ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス  
〔總員起立〕

○高橋委員長 起立總員、仍テ各案ハ何レモ原案ノ通り可決致シマシタ〔拍手〕  
早朝カラ委員會ヲ開キマシテ各位ノ熱誠溢ルル御質疑ニ對シマシテ政府モ亦眞摯ナル態度デ御答辯下サイマシテ洵ニ國家ノ爲メ御同慶ニ堪ヘナイ結果ヲ得タノデアリマシテ、此ノ段委員長トシテ謹ンデ御禮ヲ申上ゲマス〔拍手〕本日ハ是ニテ散會致シマス  
午後八時三十分散會